

● 口腔外科 Oral & Maxillofacial Surgery

1. 所属構成員等

教 授 小林隆太郎
准 教 授 足立 雅利, 石垣 佳希, 莊司 洋文
講 師 藤城 建樹, 柳下 秀郎, 山下 憲昭, 吉田 和正
助 教 山田 幸, 岡村 尚, 北詰 栄里, 猪俣 徹
非常勤歯科医師 伊藤 有希, 阪本 まり, 武田 宗矩, 谷内 美紀, 嶋田真由美,
丹野 咲貴, 南郷 孝徳, 松野 翠, 麻生 真希, 飯田 昌志,
結城百合子
臨床准教授 林 健博, 荻野 靖人, 増淵 達夫
臨床講師 岩重 洋介, 勝山 直彦, 柿崎 真一, 河津 徳敏, 岩田 親子,
新井 康仁, 小笠原健文, 鈴木 茂, 長谷川 功

2. 研究テーマ

- 1) 口腔がんの診断と治療成績の向上および患者の QOL を支える Improvement of diagnosis and treatment grades for oral cancer and supportment for QOL of the oral cancer patients.
- 2) 有病者に対するリスクマネージメント Risk management for medically compromised patient.
- 3) 金属アレルギー患者の診断ならびに治療法に関する研究 Studies on the diagnosis and treatment of patients with metal allergy.
- 4) 顎矯正手術における骨片固定材料に関する臨床的検討 Clinical evaluation of osteosynthesis used in orthognathic surgery.
- 5) 神経再生誘導チューブによる下歯槽神経再建 Inferior alveolar nerve reconstruction with nerve regeneration induction tube.
- 6) 反復処置法による歯原性腫瘍の治療 Treatment of odontogenic tumor by dredging technique.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 日本歯科大学・東京歯科大学口腔外科懇話会, 東京, 平成 28 年 12 月 8 日, 小林隆太郎, 莊司洋文.

6. 国際交流状況

- 1) 吉田和正: 2016 年 11 月 11 日~13 日の 3 日間, インド・ニューデリー市内にて口腔インプラント学を通じた学際的国際交流を深める活動として 10th world congress for oral implantology & American academy of implant dentistry global conference 2016 に Task Force として開催・運営に携わった.

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本歯科医学会平成 27 年度プロジェクト研究（継続），2015 年 7 月 1 日～2017 年 3 月 31 日，口腔疾患に対する禁煙の効果，多施設共同研究：口腔 9 学会脱タバコ社会実現委員会，長尾 徹（代表），石垣佳希（分担），2,500,000 円。
- 2) 日本歯科医学会連合平成 28 年度医療問題関連事業（新規），2017 年 2 月 1 日～2017 年 2 月 28 日，歯科臨床における禁煙支援・治療の推進，口腔 9 学会脱タバコ社会実現委員会，長尾 徹（代表），石垣佳希（分担），100,000 円。

8. 研究業績

A. 著 書

記載事項なし

B. 原 著

1. 石垣佳希：下顎左側中切歯欠損部に対してインプラント治療を行った 1 例，○日口腔インプラント誌，2016；29（3）：E221-222。
Ishigaki Y：A case of implant treatment for mandibular left molar missing，○J. Jpn. Soc. Oral Implant., 2016；29（3）：E221-222.
2. 石垣佳希：金属アレルギー患者に対する当院の取り組み，○日メタルフリー誌，2016；1（1）：5-11。
Ishigaki Y：Initiatives for patients with metal allergies at our hospital，○Japanese Journal of Metal-Free Dentistry, 2016；1（1）：5-11.
3. 川村浩樹，中村美保，内藤 明，五島順子，松村和洋，内田和雅，石垣佳希：各種金属系およびレジン系歯科材料にアレルギーのある患者の 1 症例，○日メタルフリー誌，2016；1（1）：12-19。
Kawamura H, Nakamura M, Naitou A, Goshima J, Matsumura K, Uchida K, Ishigaki Y：Allergies to a wide variety of dental metals and resin-based materials：A case study，○Japanese Journal of Metal-Free Dentistry, 2016；1（1）：12-19.
4. 秋本陽介，秋本 清，石垣佳希，白川正順：根分岐部病変を有するブリッジ支台歯救済のためダミー部に HA インプラントを植立した 1 例，○日先進インプラント医療会誌，2016；7（1）：35-38。
Akimoto Y, Akimoto K, Ishigaki Y, Shirakawa M：A case of placement of a HA implant into the dummy area for rescue of the bridge abutment tooth with furcation involvement，○Jpn J. Adv Imp Med. Admin, 2016；7（1）：35-38.
5. 飯山俊浩，石垣佳希，白川正順：撤去を余儀なくされ再植立した HA ワンピースインプラントの臨床的検討，○日先進インプラント医療会誌，2016；7（1）：39-44。
Iiyama T, Ishigaki Y, Shirakawa M：Clinical study in the HA 1piece-implant of which implant removal due to mobility was followed by replacement，○Jpn J. Adv Imp Med. Admin, 2016；7（1）：39-44.
6. 秋本 清，秋本陽介，石垣佳希，白川正順：下顎遊離端欠損に対して HA コーティングインプラントを用いて咬合改善を図った 2 症例，○日先進インプラント医療会誌，2016；7（1）：53-58。
Akimoto K, Akimoto Y, Ishigaki Y, Shirakawa M：Two cases of occlusal improvement with HA-coated implants in mandibular free end tooth missing，○Jpn J. Adv Imp Med. Admin, 2016；7（1）：53-58.
7. 尾上 宏，石垣佳希，白川正順：1 ピースタイプ HA インプラント 14 年長期経過症例の検討，○日先進インプラント医療会誌，2016；7（1）：59-63.

- Onoue H, Ishigaki Y, Shirakawa M : A case report of one-piece type HA-coated implant followed up for 14 years, ○Jpn J. Adv Imp Med. Admin, 2016 ; 7 (1) : 59-63.
8. 安藤文人, 小林清佳, 小林さくら子, 石垣佳希, 大津光寛, 北 大樹, 三代冬彦, 内川喜盛 : 歯科診療における異物の誤飲・誤嚥—13年間にわたる日本歯科大学附属病院インシデントレポートの調査—, ○日歯医療管誌, 2017 ; 51 (4) : 186-193.
- Ando F, Kobayashi S, Kobayashi S, Ishigaki Y, Ootsu M, Kita D (8 authors) : An investigation of accidental ingestion and aspiration in dental practice at Nippon Dental University Hospital —A 13-years institutional review of incident reports—, ○Jpn J. Dent. Prac. Admin., 2017 ; 51 (4) : 186-193.
9. 滝口昌親, 吉田和正, 白川正順 : ブラキサーにショートインプラントを使用し自然脱落した1例, ○日先進インプラント医療会誌, 2016 ; 7 (1) : 12-17.
- Takiguchi M, Yoshida K, Shirakawa M : A case of failure with short implant after delivery for Bruxer, ○Jpn J. Adv Imp Med. Admin, 2016 ; 7 (1) : 12-17.
10. 渡邊尚子, 宇塚 聡, 宮下 渉, 藤城建樹, 荘司洋文, 原 節宏, 小森 成 : 骨格性開咬患者における顎矯正手術前後の舌骨位置と気道形態の変化について, ○日本顎変形症学会雑誌, 2016 ; 26 (3) : 189-194.
- Watanabe N, Uzuka S, Miyashita W, Fujishiro T, Shoji H, Hara S, Komori A (7th) (7 authors) : Evaluation of hyoid bone position and pharyngeal airway morphology before and after orthognathic surgery for skeletal open bite, ○Jpn. J. Jaw Deform, 2016 ; 26 (3) : 189-194.
11. 小川智久, 角田憲祐, 岩田 洋, 石井通勇, 小倉 晋, 山下憲昭 : インプラントアバットメントに残存したセメントの検査と除去効果について, ○日本歯科人間ドック学会誌, 2016 ; 11 (1) : 5-13.
- Ogawa T, Tsunoda N, Iwata H, Ishii M, Ogura S, Yamashita N : Examination of the Removal Effect of Remaining Cement around Implant Abutment, ○Journal of the Japan Academy of Oral Human Dock, 2016 ; 11 (1) : 5-13.
12. Fushimi C, Tada Y, Inomata T, Kanno C, Kurosaka M, Hirai E, Yamamoto K : A case of very elderly patient with multiple cervical metastasis of salivary duct carcinoma successfully treated by anti-androgen and proton beam therapies, ○Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, 2017 ; 29 : 56-60.
13. 松木 崇, 三浦弘規, 多田雄一郎, 増淵達夫, 伏見千宙, 金子哲治, 猪俣 徹, 高橋秀聡, 田中太邦, 黒坂正生 : 喉頭全摘出術後の咽頭皮膚瘻に対する V.A.C.[®]治療システムの使用経験, ○頭頸部癌, 2016 ; 42 (3) : 355-358.
- Matsuki T, Miura K, Tada Y, Masubuchi T, Fushimi C, Kaneko T, Inomata T, Takahashi H, Tanaka T, Kurosaka M : Use V.A.C.[®] therapy system for pharyngocutaneous fistula after total Laryngectomy, ○Japan Society for Head and Neck Cancer, 2016 ; 42 (3) : 355-358.
14. Morita M, Asoda S, Tsunoda K, Soma T, Nakagawa T, Shirakawa M, Shoji H, Yagishita H, Nishikawa T, Kawana H : The onset risk of carcinoma in patients continuing tacrolimus topical treatment for oral lichen planus : a case report, Odontology, 2016 Jul 1. [Epub ahead of print]

C. 総説・解説

1. 足立雅利 : 口腔白板症マネジメントの EBM 的解説, 都耳鼻会報, 150 : 35-40, 2016.
2. 吉田和正 : ワークショップ 舌痛への対処 口腔外科・心療歯科診療センターにおける舌痛患者の対応, 歯科薬物療法, 35 (1) : 68-70, 2016.

3. 小森 成, 佐藤瑤子, 吉屋慶章, 吉田陽子, 山下憲昭: 症例と対応 医学的対応としてのベッグ装置, 歯学, 104 (秋季特集): 29-34, 2016.

D. 報告(臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 荘司洋文: 口腔内環境の改善ががん治療の第一歩, 統合医療でがんを克つ, VOL.100:25-28, 2016.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 小林清佳, 安藤文人, 宗村 治, 石垣佳希, 斉藤佳奈美, 下山真奈美, 高山里絵, 中原 貫, 三代冬彦, 内川喜盛: 日本歯科大学附属病院における患者「ご意見記入用紙」と投書からの検討, 第66回日本病院学会プログラム・抄録集, 285, 2016.
2. 中村美保, 内藤 明, 石垣佳希: 歯科材料に起因するアレルギー症例への対応, 一般社団法人日本歯科技工学会第38回学術大会プログラム・抄録集, 179, 2016.
3. 北詰栄里, 石垣佳希, 吉田和正, 岩崎てるみ, 荘司洋文, 白瀬敏臣, 楊 秀慶: 自閉症スペクトラム児に対し、多科連携で埋伏乳歯を抜歯した1例, 第26回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会抄録集, 193, 2017.
4. 宮澤利明, 喜瀬信一郎, 鳥居春人, 吉田和正, 藤井泰行, 近津大地, 白川正順: 多数歯欠損症例におけるインプラント治療の臨床的検討(第2報)上顎無歯顎患者にロケーターを適応した症例, 日本先進インプラント医療学会誌, 7 (2): 61, 2016.
5. 滝口昌親, 吉田和正, 白川正順: 異なるインプラントシステムを下顎に埋入した長期症例, 日本先進インプラント学会誌, 7 (2): 51, 2016.
6. Yoshida K, Shoji M: Clinical study of accidental displacement of dental implant into maxillary sinus, 10th world congress for oral implantology & American academy of implant dentistry global conference, 95, 2016.
7. Takiguchi M, Fujita K, Yoshida K: Occlusal reconstruction of a tooth row containing teeth and Implants 10th world congress for oral implantology & American academy of implant dentistry global conference, 95, 2016.
8. Matumura T, Shirakawa M, Yoshida K, Takiguchi M: Examination of cases with peri-implantitis in our clinic, 10th world congress for oral implantology & American academy of implant dentistry global conference, 95, 2016.
9. 松野 翠, 荘司洋文, 岡村 尚, 藤城建樹: 根管治療が原因で皮下気腫を起こした1例, 第70回日本口腔科学会総会(福岡)プログラム・抄録号, 169, 2016.
10. 嶋田真由美, 荘司洋文, 町田智正, 柳下秀郎, 藤城建樹, 小林隆太郎: 顎変形症術後に著しい腫脹にて挿管管理を行った1例, 第26回日本顎変形症学会総会プログラム・抄録号, 173, 2016.
11. 大塚絵里佳, 小林さくら子, 栗原綾子, 安藤文人, 小森 成, 藤城建樹: 上顎切歯に著しい歯根吸収を伴う骨格性下顎前突症例, 第26回日本顎変形症学会総会プログラム・抄録号, 173, 2016.
12. 土持 宇, 小林さくら子, 片岡彩乃, 早乙女美緒, 佐藤瑤子, 水谷匡佑, 安藤文人, 小森 成, 柳下秀郎, 藤城建樹, 荘司洋文, 五井貴大, 今井智明, 幸田隆史, 新井一仁: 顎矯正手術における術後の知覚障害に関する臨床統計的調査, 第75回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録号, 223, 2016.
13. 藤井 崇, 鈴木伸治, 沖永康一, 安西 翔, 宍戸華子, 間淵一嘉, 片岡幹統, 田中 求, 池田佳史, 北島政樹, 猪俣 徹, 松木 崇, 伏見千宙, 増淵達夫, 多田雄一郎, 三浦弘規, 渡辺 守:

- 咽頭血管腫に対し内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) により切除した 1 例, 日本消化器病学会雑誌, 113 (臨時増刊号) : 238, 2016.
14. 三浦弘樹, 多田雄一郎, 増淵達夫, 伏見千宙, 松木 崇, 猪俣 徹, 菅野千敬, 岡田卓郎 : 副咽頭間隙腫瘍—診断についての検討 216 例—, 頭頸部癌, 42 (2) : 192, 2016.
 15. 菅野千敬, 多田雄一郎, 増淵達夫, 伏見千宙, 松木 崇, 猪俣 徹, 岡田拓郎, 三浦弘規 : TPS 化学療法におけるペグフィルグラスチム使用の有用性, 頭頸部癌, 42 (2) : 198, 2016.
 16. 伏見千宙, 多田雄一郎, 増淵達夫, 松木 崇, 猪俣 徹, 菅野千敬, 岡田拓郎, 三浦弘規, 黒坂正生, 後藤俊行, 鎌田信悦 : 口腔がん二次症例における救済手術の検討, 頭頸部癌, 42 (2) : 205, 2016.
 17. 渡部恵子, 草野修輔, 我妻 恵, 菅野倫子, 板倉天子, 山口 望, 遠藤望美, 多田雄一郎, 増淵達夫, 伏見千宙, 松木 崇, 岡田拓郎, 猪俣 徹, 菅野千敬, 三浦弘規 : 皮弁再建を伴う舌癌術後の咀嚼障害に対し咀嚼補助床を装用し普通食レベルの食事摂取が可能となった 2 症例, 頭頸部癌, 42 (2) : 215, 2016.
 18. 黒坂正生, 後藤俊行, 伏見千宙, 猪俣 徹, 鎌田信悦 : 頬部に生じたエクリン汗孔癌の 1 例, 頭頸部癌, 42 (2) : 259, 2016.
 19. 黒坂正生, 伏見千宙, 後藤俊行, 猪俣 徹 : 耳下腺に発生したリンパ上皮癌の 1 例, 口腔腫瘍, 総会・学術大会プログラム・抄録集, 176, 2017.
 20. 岩重洋介, 今井須美子, 井染 洋, 足立雅利 : 上顎正中部に発生した顎骨中心性血管腫の 1 例, 日口外誌, 62 (総会特集号) : 202, 2016.
 21. 丹野咲貴, 猪俣 徹, 荘司洋文, 阪本まり, 柳下寿郎 : 反復処置法を行った下顎歯原性腫瘍の 4 例, 日口外誌, 62 (総会特別号) : 203, 2016.
 22. 麻生真希, 柳井智恵, 北詰栄里, 荘司洋文, 柳下寿郎 : 短期間で著明な歯根吸収を来し増生したセメント芽細胞腫の 1 例, 日口外誌, 62 (総会特別号) : 201, 2016.
 23. 飯田昌志, 荘司洋文, 柳下秀郎, 北詰栄里, 柳下寿郎 : 舌に発生した結節性筋膜炎の 1 例, 日口外誌, 62 (総会特別号) : 200, 2016.
 24. 滑川初枝, 青木春美, 田中とも子, 横澤 茂, 富永徳子, 沼部幸博, 松野智宣, 千葉忠成, 田谷雄二, 松岡孝典, 中西生美, 大津光寛, 仲谷 寛, 石田鉄光, 荘司洋文 : 日本歯科大学学生命歯学部第 1 学年 PBL テュートリアル教育における意識調査第 35 回日本歯科教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 112, 2016.
 25. 荘司洋文, 岡村 尚, 北詰栄里, 浅野一成, 岡部貞夫, 柳下寿郎 : 当科における舌白板症に関する臨床病理学的検討, 頭頸部癌, 42 (2) : 102, 2016.
 26. 岡部貞夫, 柳下寿郎, 荘司洋文 : ワークショップ 81 : 頭頸・口腔 5 : 頭頸部がんの集学的治療 : 3. 舌白板症に対する粘膜切除は舌癌の早期診断・早期治療に有用か?, 日癌, 51 (1) : 207, 2016.
 27. 浅野一成, 岡部貞夫, 荘司洋文, 辺見卓男, 柳下寿郎 : ワークショップ 5 : 表在癌を考える : 3. 舌白板症を経過観察としますか、あるいは積極的に切除しますか?—当院の舌白板症切除症における臨床病理学的検討から考えられること—, 口腔腫瘍, 28 (4) : 306, 2016.
 28. 荘司洋文, 浅野一成, 辺見卓男, 柳下寿郎, 岡部貞夫 : 舌白板症症例における臨床病理学的検討, 口腔腫瘍, 28 (4) : 338, 2016.
 29. 柳下寿郎, 児玉重明, 矢島正隆, 岡 和雄, 荘司洋文, 岡部貞夫 : 麻布赤坂・芝歯科医師会における口腔がん検診の取り組みとその現状, 口腔腫瘍, 28 (4) : 344, 2016.
 30. 岡部貞夫, 柳下寿郎, 荘司洋文 : 頭頸・口腔 頭頸部がんの集学的治療 舌白板症に対する粘膜切除は舌癌の早期診断・早期治療に有用か?, 第 54 回日本癌治療学会学術集会抄録集, Page WS81-

3, 2016.

31. 岩田 洋, 林 宗廣, 柳下秀郎, 莊司洋文, 柳下寿郎: 舌部に発生した結節性筋膜炎の画像所見, 第 21 回臨床画像大会プログラム・抄録集, 38, 2017.
32. 岡村 尚, 莊司洋文, 猪俣 徹, 北詰栄里, 柳下寿郎, 岡部貞夫: 当院における舌癌 stage 0 症例の検討, 第 35 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 プログラム・抄録集, 136, 2017.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 吉田和正: 有病者に対するインプラント治療の適応を再考する 有病者に対するインプラント手術前の対応, 第 19 回日本先進インプラント医療学会総会学術大会, シンポジウム, 千代田区, 2016 年 9 月 4 日.
2. 吉田和正: 一若手口腔外科医向け小外科基本手術 (抜歯からインプラントまで) トラブルを事前に回避するためのコツ—第 61 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会, ミニレクチャー, 千葉市, 2016 年 10 月 12 日.
3. 莊司洋文: よくわかる顎矯正手術—安全、確実に行うために—第 61 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会, ビデオレクチャー, 千葉市, 2016 年 10 月 12 日.
4. 石垣佳希: 「本学会員の非喫煙化」学会員資格と喫煙, 第 61 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会, シンポジウム, 千葉市, 2016 年 11 月 26 日.
5. 莊司洋文: 私たちが行っている肩甲骨骨筋上頸部郭清, 第 35 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, ビデオセッション, 福岡市, 2017 年 1 月 26 日.
6. 岡部貞夫, 柳下寿郎, 莊司洋文: シンポジウム 2: 高齢者口腔癌治療の実際と今後の方向性: 特別発言: 口腔癌の早期発見・早期治療のために, 第 35 回日本口腔腫瘍学会総会, 福岡, 2017 年 1 月 26 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 小林隆太郎: 国民健康増進への貢献, 日本歯科大学医療保険問題研究会講演会, 中野区, 2016 年 4 月 9 日.
2. 足立雅利: 日本口腔外科学会, 日本顎関節学会診療ガイドライン作成ワークショップ, 東京 (2016 年 5 月 15 日), 大阪 (2016 年 9 月 18 日).
3. 小林隆太郎: 口腔がんを見落とさない—歯科の現状そして展望—, 医療法人鉄蕉会亀田総合病院講演会, 鴨川市, 2016 年 5 月 18 日.
4. 石垣佳希: 吸引シミュレータを用いた口腔内分泌物吸引手技の実技研修, (一社) 日本有病者歯科医療学会・(一社) 新潟県歯科医師会共催, (公社) 日本歯科医師会・日本歯科医学会後援スキルアップセミナー, 新潟県新潟市, 2016 年 5 月 29 日.
5. 足立雅利: 口腔粘膜病変の診断と治療, 東京都耳鼻咽喉科医会学術講演会, 東京, 2016 年 6 月 11 日.
6. 小林隆太郎: 「よい歯のための集い」色でわかるお口の病気, 武蔵野市歯科医師会講演会, 武蔵野市, 2016 年 6 月 18 日.
7. 小林隆太郎: 平成 30 年度診療報酬改定に向けて「保険収載のために出来る事」, 東京都私募基金講演会, 豊島区, 2016 年 7 月 27 日.
8. 北詰栄里, 莊司洋文, 岡村 尚, 猪俣 徹, 柳下寿郎, 岡部貞夫: 異時性 4 重複癌の治療経験, 第 16 回関東地区口腔腫瘍研究会, 東京, 2016 年 7 月 31 日.

9. 石垣佳希：緊急時の対応，（一社）日本有病者歯科医療学会・（一社）京都府歯科医師会共催，（公社）日本歯科医師会・日本歯科医学会後援スキルアップセミナー，京都府京都市，2016年9月10日。
10. 荘司洋文：当院における口腔外科臨床，平成28年度第一回日本歯科大学附属病院医療連携学術講演会，千代田区，2016年9月29日。
11. 小林隆太郎：歯科医学の基礎知識，社会保険診療報酬支払基金エキスパート研修講演会（1），千葉市（2016年10月27日），千葉市（2016年11月30日）。
12. 石垣佳希：歯科における対応事例グループワーク，（公社）日本歯科医師会医療事故調査制度研修会，東京都千代田区（2016年10月29日），大阪府大阪市（2016年10月30日）。
13. 石垣佳希：保険診療の理解のために一診療録記載の要点一，昭和大学歯科病院保険講習会，東京都品川区，2016年11月2日。
14. 小林隆太郎：ご存知ですかお口の中にも「がん」ができること，日本歯科大学附属病院公開講座講演会，千代田区，2016年11月17日。
15. 丹野咲貴，猪俣 徹，荘司洋文，阪本まり，柳下寿郎：反復処置法を行った下顎歯原腫瘍の4例，第4回日本歯科大学・東京歯科大学口腔外科懇話会，東京，2016年12月8日。
16. 佐藤英明，中原 貴，豊村順子，大山晃弘，荘司洋文，吉田和正，石川 博：日本歯科大学・セントラルクリニック歯髓細胞バンクの現状と将来展望2016（第2報），平成28年度日本歯科大学歯学会第3回ウインターミーティング，新潟生命歯学部，2016年12月10日。
17. 足立雅利：口腔粘膜疾患に遭遇したら～口腔外科の基本的診察手技を交えて～，平成28年度医療連携協力医研修会、東京、2017年1月19日。
18. 岩田 洋，林 宗廣，又賀 泉，浅野一成，荘司洋文，猪俣 徹，代居 敬，河合泰輔，浅海利恵子，浅井まどか，柳下寿郎：著明な嚢胞形成を伴った Warthin 腫瘍の一例，日本歯科放射線学会第224回関東地方会，2017年1月21日。
19. 小林隆太郎：すぐわかる「色からみる口腔粘膜病変」，日本歯科大学校友会学術フォーラム講演会，千代田区，2017年2月26日。
20. 中原 貴，豊村順子，大山晃弘，吉田和正，荘司洋文，佐藤英明，石川 博：歯髓細胞バンクの現状と将来展望，日本歯科大学校友会学術フォーラム2017，生命歯学部，2017年2月26日。
21. 小林隆太郎：歯科界の潮流，江戸川区歯科医師会講演会，江戸川区，2017年3月1日。
22. 荘司洋文：神経再生誘導チューブ・ナーブリッジ®による下歯槽神経再建，SET研究会，港区，2017年3月11日。
23. 荘司洋文：日本歯科大学附属病院口腔外科の現状，日本歯科大学口腔外科同門会学術講演，千代田区，2017年3月12日。
24. 石垣佳希：救急救命処置について（一次救命処置など），神奈川歯科医師会平成28年度在宅歯科医療中央連携室第6回専門研修会，神奈川県横浜市，2017年3月19日。
25. 石垣佳希：窒息の解除・在宅医療の注意点，（一社）日本有病者歯科医療学会・（一社）神奈川県歯科医師会共催，スキルアップセミナー，神奈川県横浜市，2017年3月19日。

● 小児歯科 Pediatric Dentistry

1. 所属構成員等

教 授 内川 喜盛
准 教 授 白瀬 敏臣
講 師 梅津糸由子, 楊 秀慶, 村松 健司, 山崎 (岩崎) てるみ
助 教 波多野宏美, 松崎 祐樹, 新見 嘉邦
臨 床 助 手 鈴木 紘子 (1月まで), 芦澤みなみ, 亀岡 亮, 宮山 友紀
臨 床 教 授 小方 清和, 米山 博巳, 上原 正美, 倉治 七重
臨 床 講 師 三浦みつ子, 浜地 宏哉, 辻 裕子, 大出リエ子, 荻原 栄和,
鈴木 淳子, 三井 園子, 三宅 真帆, 黒田 暁洋
レ ジ デ ント 甲田彩理沙, 西村 歩, 高橋 紗耶, 卷 竜也, 吉田 陽佳

2. 研究テーマ

- 1) 小児の唾液中フッ化物がミュータンス連鎖球菌に及ぼす影響 Influence of fluoride in saliva on mutans streptococci in children.
- 2) 唾液中における低濃度フッ化物イオンの動態について Changes in the salivary fluoride concentration after adding low-concentrated Fluoride.
- 3) 頭蓋顎顔面の先天奇形症候群における特徴とその対応について Feature and management of patients with craniofacial anomalies.
- 4) 乳前歯ならびに永久前歯の外傷に関する研究 Dental traumatology for primary and permanent incisors.
- 5) 障害児における歯科治療時の対応法に対する保護者の認識 Desire of caretakers of disabled individuals for behavior management techniques.
- 6) 摂食嚥下機能障害児・者に対して用いた可撤式装置の有効性 Effect of removal type appliance for dysphagia.
- 7) 被虐待小児の臨床調査 Clinical studies of abused children.
- 8) 抗てんかん薬の歯肉増殖に対する影響 The effect of antiepileptic drugs on gingival overgrowth.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得

- 1) 山崎 (岩崎) てるみ, Salivary-free fluoride ion concentration measured using a flow-injection analysis device and oral environment in 4-6-year-old children, 2016年9月27日, 岩手医科大学.

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著書

1. 内川喜盛 (分担執筆) : 1. 小児歯技工概説, 2. 歯・顎・顔面の成長発育, 3. 小児の歯冠修復, 4. 咬合誘導装置の種類, 5. 保隙装置, 1-60, 全国歯科技工士教育協議会, 最新歯科技工士教本小児歯科技工学, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2017, ISBN : 978-4-263-43164-1.
2. 白瀬敏臣 (分担執筆) : 2. 歯・顎・顔面の成長発育, 5. 保隙装置, 6-33, 40-60, 全国歯科技工士教育協議会, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2017, ISBN : 978-4-263-43164-1.
3. 内川喜盛 (分担執筆) : 9. コミュニケーション, 118-131, 最新歯科技工士教本 歯科技工管理学, 全国歯科技工士教育協議会, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2017, ISBN : 978-4-263-43170-2.
4. 内川喜盛 (分担執筆) : 4-1. 各施設への大規模なアンケート結果から見えてきたもの, 23-42, 乳幼児から考える学校歯科保健活動～0歳から20歳になるまで継続的な航空保険支援を目指して～, 一般社団法人東京都学校歯科医会, 東京, 2017.

B. 原著

1. Iwasaki T, Uchikawa Y, Shirase T : Salivary-free fluoride ion concentration measured using a flow-injection analysis device and oral environment in 4-6-year-old children, ©Odontology, 2016 ; 104 : 372-379, doi : 10.1007/s10266-015-0224-3.
2. Iwasaki T, Uchikawa Y : Changes in Salivary Free Fluoride Ion Concentration after Adding Low-Concentration Fluoride, JSM Dentistry, 2016 ; 4 (2) : 1060, <https://www.jscedcentral.com/Dentistry/dentistry-4-1060.pdf>. (cited 2017-9-20)
3. 安藤文人, 小林清香, 小林さくら子, 石垣佳希, 大津光寛, 北大樹, 三代冬彦, 内川喜盛 : 歯科診療における異物の誤飲・誤嚥—13年間にわたる日本歯科大学附属病院インシデントレポートの調査—, 日歯医療管理誌, 2017 ; 51 (4) : 186-193.
Ando F, Kobayashi S, Kobayashi S, Ishigaki Y, Ootsu M, Kita D, Mishiro F (7th), Uchikawa Y (8th) : An investigation of accidental ingestion and aspiration in dental practice at Nippon Dental University Hospital : A 13-year institutional review of incident reports, ○Jpn J Dent Prac Admin, 2017 ; 51 (4) : 186-193.

C. 総説・解説

1. 楊 秀慶 : 障がいのある子どものフィジカルアセスメント～複雑で多様なヘルスケアニーズをもつ子どもと家族に対して看護師ができること～【知っておきたい知識】成長・発達にともなう口腔内の変化と観察 正常な発育を妨げる要因について知っておきたいこと, 小児看護, 39 (5) : 558-563, 2016.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 1) 内川 喜盛 (分担執筆) : これで安心「小児歯科アップデート」かかりつけ歯科医のための最新トピック 乳歯列期における口腔の特徴と歯科的対応, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 42 (2) : 36-37, 2016.
2) 白瀬 敏臣 (分担執筆) : これで安心「小児歯科アップデート」かかりつけ歯科医のための最新

- トピック 混合歯列期の咬合誘導・模型分析, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 42 (2) : 37-38, 2016.
- 3) 村松 健司 (分担執筆) : これで安心「小児歯科アップデート」かかりつけ歯科医のための最新トピック 混合歯列期の咬合誘導・模型分析, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 42 (2) : 37-38, 2016.
 - 4) 梅津糸由子 (分担執筆) : これで安心「小児歯科アップデート」かかりつけ歯科医のための最新トピック 小児患者の歯科的対応法, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 42 (2) : 38, 2016.
 - 5) 山崎(岩崎)てるみ (分担執筆) : これで安心「小児歯科アップデート」かかりつけ歯科医のための最新トピック 最近のトピック 最新 フッ化物の応用, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 42 (2) : 38, 2016.
 - 6) 松崎祐樹 (分担執筆) : これで安心「小児歯科アップデート」かかりつけ歯科医のための最新トピック 最近のトピック 幼若永久歯の歯内療法, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 42 (2) : 38, 2016.
 - 7) 楊 秀慶 (分担執筆) : これで安心「小児歯科アップデート」かかりつけ歯科医のための最新トピック 歯の外傷への対応 重要なポイント, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 42 (2) : 39, 2016.
2. 内川 喜盛 : 噛むだけじゃない歯の役割, 子育てハガキ通信, のびのび子どものお口・すこやか相談室 4月号, 株式会社アソオ, 東京, 2016.
 3. 内川 喜盛 : むし歯はこうしてできる, 子育てハガキ通信, のびのび子どものお口・すこやか相談室 5月号, 株式会社アソオ, 東京, 2016.
 4. 内川 喜盛 : むし歯をつくらない上手な食べ方, 子育てハガキ通信, のびのび子どものお口・すこやか相談室 6月号, 株式会社アソオ, 東京, 2016.
 5. 内川 喜盛 : フッ素を上手に使う上手な虫歯予防, 子育てハガキ通信, のびのび子どものお口・すこやか相談室7月号, 東京, 2016.
 6. 内川 喜盛 : 歯を溶かす「こわい飲み物」, 子育てハガキ通信, のびのび子どものお口・すこやか相談室8月号, 株式会社アソオ, 東京, 2016.
 7. 内川 喜盛 : 歯磨きっていつから? どうするの?, 子育てハガキ通信, のびのび子どものお口・すこやか相談室9月号, 東京, 2016.
 8. 内川 喜盛 : CO (シーオー) と言われたら, 子育てハガキ通信, のびのび子どものお口・すこやか相談室10月号, 株式会社アソオ, 東京, 2016.
 9. 内川 喜盛 : 歯磨きで歯肉炎を予防しよう, 子育てハガキ通信, のびのび子どものお口・すこやか相談室11月号, 株式会社アソオ, 東京, 2016.
 10. 内川 喜盛 : 歯をぶつけたら, 子育てハガキ通信, のびのび子どものお口・すこやか相談室12月号, 株式会社アソオ, 東京, 2016.
 11. 内川 喜盛 : 指しゃぶりとおしゃぶり, 子育てハガキ通信, のびのび子どものお口・すこやか相談室1月号, 株式会社アソオ, 東京, 2017.
 12. 内川 喜盛 : 気になる子どもの歯並び, 子育てハガキ通信, のびのび子どものお口・すこやか相談室2月号, 株式会社アソオ, 東京, 2017.
 13. 内川 喜盛 : 歯医者デビューはいつ?, 子育てハガキ通信, のびのび子どものお口・すこやか相談室3月号, 株式会社アソオ, 東京, 2017.
 14. 内川喜盛 : 子どものけがの正しい救急手当, kodomoe コドモエ 6月号, 白泉社, 4 (3) : 64-68, 2016.

15. 内川喜盛：子どもの“このクセ”大丈夫？，kodomoie コドモエ 8月号，白泉社，4（4）：74-75，2016.
16. 白瀬敏臣，臨床的にむずかしい子どもへの対応—上手に楽に治療ができるヒント—認知と口腔機能から紐解く小児の歯科的対応，小児歯科臨床，22（2）：36-40，2017.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載学会講演抄録

1. 高橋紗耶，白瀬敏臣，山崎（岩崎）てるみ，梅津糸由子，内川喜盛：本院小児歯科における口腔軟組織疾患を主訴とした初診患者の実態調査，小児保健研，75：220，2016.
2. 山崎（岩崎）てるみ，梅津糸由子，内川喜盛，白瀬敏臣：マカトンサインを良好な歯科診療環境作りに応用した発達障がい児の1例，小児保健研究，75（講演集）：99，2016.
3. 吉田陽佳，梅津糸由子，山崎（岩崎）てるみ，新見嘉邦，白瀬敏臣，内川喜盛：聴覚に過敏のある自閉症スペクトラム児（者）への歯科治療時のイヤーマフ応用効果，小児保健研究，75（講演集）：118，2016.
4. 卷 竜也，山崎（岩崎）てるみ，梅津糸由子，白瀬敏臣，内川喜盛：幼児期のミュータンスレンサ球菌定着に影響する生活習慣について，小児保健研究，75（講演集）：218，2016.
5. 高橋紗耶，白瀬敏臣，山崎（岩崎）てるみ，梅津糸由子，内川喜盛：本院小児歯科における口腔軟組織疾患を主訴とした初診患者の実態調査，小児保健研究，75（講演集）：220，2016.
6. 高橋紗耶，白瀬敏臣，宮山友紀，村松健司，梅津糸由子，内川喜盛：附属病院小児歯科における口腔軟組織疾患を主訴とした初診患者の臨床統計，小児歯誌，54：196，2016.
7. 白瀬敏臣，卷 竜也，亀岡 亮，三浦みつ子，上原正美，内川喜盛：根未完成上顎中切歯の外傷後に生じた歯根伸長を伴うアペキシフィケーションの1例，小児歯誌，54：199，2016.
8. 麻見千登世，大島依子，内川喜盛，三代冬彦：日本歯科大学附属病院における歯科衛生士新人教育の取り組み，日本歯科医学教育学会プログラム・抄録集，149，2016.
9. 宮坂孝弘，北原和樹，柴田 潔，佐藤 勉，内川喜盛，大津光寛，小川智久，筒井健夫，沼部幸博，羽村 章：生命歯学部，第2学年学生におけるチーム基盤型学習法（TBL）導入の試み 第2法，日本歯科医学教育学会プログラム・抄録集，157，2016.
10. 鈴木 恵，茂原宏美，浦野瑤子，小倉千幸，須田真理，関口洋子，市川順子，野村正子，合場千佳子，池田利恵，内川喜盛，北原和樹，佐藤 勉，小口春久：日本歯科医学教育学会プログラム・抄録集，118，2016.
11. 長井博昭，内川喜盛，三浦みつ子，久保和彦，横山いづみ，鈴木あい子，小川仲子，嘉部 暁，北村 新，澤田章司，牧野 寛，後藤有里，鈴木 博，末高英世，小嶋 憲，川本 強：東京都内認可保育園・認定こども園・公立幼稚園に対する歯科保健活動に関するアンケート調査，第80回全国学校歯科保健研究大会（大会要項），58，2016.
12. 小林清佳，安藤文人，宗村 治，石垣佳希，齋藤佳奈美，下山真奈美，高山里絵，中原 貫，三代冬彦，内川喜盛：日本歯科大学附属病院における患者「ご意見記入用紙」と投書からの検討，第66回日本病院学会プログラム・抄録，285，2016.
13. 安藤文人，小林清佳，平賀 泰，小林さくら子，大津光寛，星川結香，北 大樹，水谷香織，三代冬彦，内川喜盛：日本歯科大学附属病院の医療安全報告書にみるクレーム等の分析，第66回日本病院学会プログラム・抄録，371，2016.

14. 楊 秀慶, 白瀬敏臣, 内川喜盛: 可撤式装置を併用した摂食機能訓練と患者の QOL 向上の関連について, 日本歯科医療福祉学会雑誌, 21 (1): 18, 2016.
15. 藤田結子, 大津光寛, 岩田 洋, 大澤銀子, 石田鉄光, 山瀬 勝, 光安廣記, 代田あづさ, 山田幸, 松崎祐樹, 大西小雪, 小林さくら子, 羽村 章: 診療参加型臨床実習修了後の技能習熟度判定試験の実施について, 日本歯科医学教育学会総会, 35: 88, 2016.
16. 高橋紗耶, 白瀬敏臣, 宮山友紀, 村松健司, 梅津糸由子, 内川喜盛: 附属病院小児歯科における口腔軟組織疾患を主訴とした初診患者の臨床統計, 小児歯誌, 54 (2): 196, 2016.
17. 吉田陽佳, 山崎 (岩崎) てるみ, 芦澤みなみ, 梅津糸由子, 白瀬敏臣, 内川喜盛: Prader-Willi 症候群患児に空間認知能力を応用した口腔衛生習慣確立アイテムを使用した 1 例, 障害者歯科, 37 (3): 296, 2016.
18. 宮山友紀, 梅津糸由子, 児玉実穂, 岡山浩美, 新見嘉邦, 落合真美, 奈良輪智恵: 福祉センター歯科の最近 5 年間の初診患者の実態調査, 障歯誌, 37 (3): 281, 2016.
19. 小林邦枝, 楊 秀慶, 野杵明美, 福田恵里, 中村仁也, 阿部恵一, 小谷田貴之: 全身麻酔時に前投薬を使用した症例の歯科衛生士としての検討, 障歯誌, 37 (3): 299, 2016.
20. 松崎祐樹, 楊 秀慶, 塩谷友季子, 村松健司: 障害児のブラキシズムへの対応, 障害者歯科, 37 (3): 363, 2016.
21. 前田 亮, 横田祐司, 上田 豊, 石渡利幸, 船田淳子, 毛利 徹, 市川敬一, 佐藤和義, 田村昌平, 梅津糸由子, 山崎 (岩崎) てるみ, 篠塚 修, 湊 耕一: 当センターにおける患者の通院状況に関する調査, 障害者歯誌, 37 (3): 364, 2016.
22. 亀岡 亮, 梅津糸由子, 辻 裕子, 黒田暁洋, 卷 竜也, 白瀬敏臣, 内川喜盛: 本学附属病院小児歯科におけるユニット稼働状況, 小児歯誌, 55 (1): 96, 2017.
23. 梅津糸由子, 白瀬敏臣, 内川喜盛: 附属病院小児歯科における診療実態, 小児歯誌, 55 (1): 101-102, 2017.
24. Yoh H, Uchikawa Y, Matsuzaki Y, Karibe H: Impression of a required-program on pediatric dentistry for dental students, 2017 IADR General Session, #1429, San Francisco, USA, March, 2017.
25. 安藤文人, 内川喜盛, 宗村 治, 山田 幸, 山崎 (岩崎) てるみ, 宮下 渉, 塩谷伊毅, 高橋賢晃, 林 宗廣, 田村 智, 佐々木善朗, 鈴木洋一, 宇多美穂, 大西小雪, 三代冬彦: 歯科大学病院の医療連携についての歯科診療所を対象としたアンケート調査結果, 大学病院情報マネジメント部門連絡会議, 平成 28 年度抄録集, 32, 2017.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 甲田彩理沙, 西村 歩, 梅津糸由子, 白瀬敏臣, 内川喜盛: 日本歯科大学附属病院小児歯科研修コースについて, 平成 28 年度日本歯科大学歯学会大会・総会, 千代田区, 2016 年 6 月 4 日.
2. 内川喜盛: カリオロジー最前線「初期う蝕の診断とマネジメント」, 広島県校友会講演会, 広島県広島市 (2016 年 5 月 29 日), 山梨県校友会講演会, 山梨県甲府市 (2016 年 6 月 11 日).
3. 岩崎てるみ: 今がベストなタイミング 未来に向けて健康なお口を手に入れる方法, ありんこ保育園, 福生市, 東京, 2016 年 6 月 25 日.
4. 村松健司: 外傷歯に対する簡便かつ適切な固定方法, 島根県日本歯科大学校友会, 島根県, 2016

年7月9日.

5. 内川喜盛：これで安心「小児歯科アップデート」一かかりつけ歯科医のための最新トピックスー乳歯列期における口腔の特徴と歯科的対応, 平成 28 年度日本歯科大学校友会ポストグラデュエート・コース, 千代田区, 2016 年 7 月 28 日.
6. 内川喜盛：これで安心「小児歯科アップデート」一かかりつけ歯科医のための最新トピックスー混合歯列期における口腔の変化と歯科的対応, 平成 28 年度日本歯科大学校友会ポストグラデュエート・コース, 千代田区, 2016 年 7 月 28 日.
7. 白瀬敏臣, 村松健司：これで安心「小児歯科アップデート」一かかりつけ歯科医のための最新トピックスー混合歯列期の咬合誘導・模型分析, 平成 28 年度日本歯科大学校友会ポストグラデュエート・コース, 千代田区, 2016 年 7 月 28 日.
8. 梅津糸由子：これで安心「小児歯科アップデート」一かかりつけ歯科医のための最新トピックスー小児患者の対応法, 平成 28 年度日本歯科大学校友会ポストグラデュエート・コース, 千代田区, 2016 年 7 月 28 日.
9. 山崎（岩崎）てるみ：これで安心「小児歯科アップデート」一かかりつけ歯科医のための最新トピックスー最近のトピック 1. 最新 フッ化物の応用, 平成 28 年度日本歯科大学校友会ポストグラデュエート・コース, 千代田区, 2016 年 7 月 28 日.
10. 松崎祐樹：これで安心「小児歯科アップデート」一かかりつけ歯科医のための最新トピックスー最近のトピック 2. 幼若永久歯の歯内療法, 平成 28 年度日本歯科大学校友会ポストグラデュエート・コース, 千代田区, 2016 年 7 月 28 日.
11. 楊 秀慶：これで安心「小児歯科アップデート」一かかりつけ歯科医のための最新トピックスー最近のトピック 3. 歯の外傷への対応ー重要なポイントー, 平成 28 年度日本歯科大学校友会ポストグラデュエート・コース, 千代田区, 2016 年 7 月 28 日.
12. 宮山友紀, 白瀬敏臣, 梅津糸由子, 楊 秀慶, 内川喜盛：附属病院小児歯科に歯の外傷で来院した初診患者の臨床統計, 第 5 回日本小児診療多職種研究会, 横浜市, 2016 年 7 月 31 日.
13. 内川喜盛：小児の口の診方, 考え方, 広島あすなる会講演会, 広島市, 2016 年 9 月 10 日.
14. Iwasaki T, Kameoka R, Shionoya Y, Takahashi S, Yoshida H, Uchikawa Y : A Possibly Impacted Tooth in a Brain Hemorrhage Patient due to a Fall in Childhood, 日本歯科大学歯学会 平成 28 年度歯学会学内口頭発表会, 千代田区, 2016 年 9 月 16 日.
15. 吉田陽佳, 山崎（岩崎）てるみ, 芦澤みなみ, 梅津糸由子, 白瀬敏臣, 内川喜盛：Prader-Will 症候群患児：口腔衛生習慣確立に対する取り組みにパズルを使用した 1 例, 日本歯科大学歯学会 平成 28 年度歯学会学内口頭発表会, 千代田区, 2016 年 9 月 16 日.
16. 山崎（岩崎）てるみ, 吉田陽佳：親子で歯ッピータイム, 練馬区豊玉保健相談所, 練馬区, 東京, 2016 年 10 月 28 日.
17. 内川喜盛：健康なお口で健やかな成長を～お子様の歯を守るためにすること～, 板橋区歯科講演会, 東京都板橋区, 2016 年 11 月 13 日.
18. 山崎（岩崎）てるみ, 亀岡 亮, 甲田彩理沙, 高橋紗耶, 吉田陽佳：むし歯になりにくい？なりやすい？目で見てみよう！, 日本歯科大学附属病院市民公開講座, 千代田区, 東京, 2016 年 11 月 17 日.
19. 内川喜盛：きれいな歯で健やかな成長をーお子様の歯を守るために知っていただきたいことー, 日本女子大学附属豊明小学校歯科講演会, 東京都豊島区, 2017 年 1 月 11 日.
20. 吉田陽佳, 山崎（岩崎）てるみ, 芦澤みなみ, 梅津糸由子, 白瀬敏臣, 内川喜盛：Prader-Will 症候群患児の口腔衛生習慣改善アイテムとしてパズルを応用した 1 例, 日本歯科大学歯学会 平成

28年度日本歯科大学第3回ウインターミーティング，日本歯科大学新潟生命歯学部，新潟県新潟市，2016年12月10日。

21. 白瀬敏臣：小児の歯の外傷 こんな時にどう対応しますか？，江戸川区学校歯科医会学術講演会，江戸川区，2017年2月1日。
22. 楊 秀慶：歯の外傷への的確な対応～基本的な考えと簡単、速い固定法～，都筑区歯科医師会，神奈川，2017年2月8日。
23. 内川喜盛：子どもの歯の診かた，考え方，北区学校歯科保健協議会，歯科講演会，東京都北区，2017年2月23日。
24. 内川喜盛：小児の口の診方，考え方 乳歯列期と混合歯列期，富士見市歯科医師会学術大会，静岡県富士宮市，2017年2月25日。
25. 白瀬敏臣：小児の歯の外傷—治癒へ導くための環境整備—，荒川区学校歯科医会学術講演会，荒川区，2017年3月3日。
26. 梅津糸由子：歯科治療と構造化，足立区，東京，2017年3月25日。

● 矯正歯科 Orthodontics

1. 所属構成員等

教 授 小森 成
准 教 授 後藤 尚昭, 小林さくら子, 宇塚 聡, 安藤 文人
講 師 宮下 渉, 内田 裕子, 岩崎由香利
助 教 片岡 彩乃, 吉田 陽子, 大塚絵里佳
臨 床 助 手 土持 宇, 植木健次郎, 岡本 美結, 中野紗矢香, 宮下 佳子,
吉屋 慶章, 小池みづき, 鈴木みすず, 渡邊 尚子
非常勤准教授 宮脇 剛司, 井口 暁
非常勤講師 小林 慶介, 杉山 晶二, 上保 基, 渡邊 浩幸, 島田 達雄,
玉田 一敬, 田村 彰英, 箕浦 雄介, 仲谷 豊, 篠崎 圭太,
安藤 稔, 今野 喜文, 藤田由希子

2. 研究テーマ

- 1) 矯正材料の開発および研究 Research and development of orthodontic materials.
- 2) 口唇・口蓋裂の治療に関する集学的アプローチ Interdisciplinary approach to cleft lip and palate.
- 3) 歯科医学教育シミュレーションシステムの開発に関する研究 Development of simulation systems for dental education.
- 4) 現代人モンゴル人と日本人の正常咬合者の比較 Comparison of dental models in modern Mongolian and Japanese with normal occlusion.
- 5) 歯列弓・歯槽基底弓の三次元的分析 Three-dimensional morphometric analysis of dental and basal arch form.

3. 今年度の研究上特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) Workshop KommonBase (12th European Society of Lingual Orthodontics Congress), Athens, July 3, 2016, Akira Komori and Lionel Decker.
- 2) 平成 28 年度夏の口唇裂・口蓋裂矯正治療勉強会, 東京, 2016 年 8 月 25 日, 小森 成, 宇塚 聡.
- 3) 第 9 回日本健康医療学会学術大会, 東京, 2016 年 10 月 23 日, 宇塚 聡.

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 26~29 年度, 小児における睡眠時無呼吸症の病態解明へ向けた臨床的検証, 小森 成 (代表), 三ッ林裕巳 (分担),

大津光寛（分担），宇塚 聡（分担），4,160,000 円，平成 28 年度 1,040,000 円。

8. 研究業績

A. 著 書

1. 後藤尚昭（共著）：最新歯科技工教本 矯正歯科技工学，全国歯科技工士教育協議会，医歯薬出版株式会社，東京，2017，ISBN：978-4-263-43169-6.

B. 原 著

1. 中野紗矢香，宮下 渉，大塚絵里佳，光岡一行，小森 成：歯面処理剤のエナメル質表面に対する脱灰作用の定量評価，○東京矯歯誌，2016；26：3-8.
Nakano S, Miyashita W, Otsuka E, Mitsuoka K, Komori A：Quantitative evaluation of the decalcification action on enamel surface by pre-bonding acid agents，○J.Tokyo Orthod.soc，2016；26：3-8.
2. 渡邊尚子，宇塚 聡，宮下 渉，藤城建樹，莊司洋文，原 節宏，小森 成：骨格性開咬患者における顎矯正手術前後の舌骨位置と気道形態の変化について，○日顎変形誌，2016；26（3）：189-194.
Watanabe N, Uzuka S, Miyashita W, Fujishiro T, Shoji H, Hara S, Komori A (7th) (7 authors)：Evaluation of hyoid bone position and pharyngeal airway morphology before and after orthognathic surgery for skeletal open bite，○Jpn.J.Jaw Deform，2016；26（3）：189-194,
<http://doi.org/10.5927/jjdd.26.189>.
3. 安藤文人，小林清佳，小林さくら子，石垣佳希，大津光寛，北 大樹，三代冬彦，内川喜盛：歯科診療における異物の誤飲・誤嚥：13年間にわたる日本歯科大学附属病院インシデントレポートの調査，○日本歯科医療管理学会雑誌，2017，51（4）：186-193.
Ando F, Kobayashi S, Kobayashi S, Ishigaki Y, Ootsu M, Kita D, Mishihiro F (7th), Uchikawa Y (8th)：An investigation of accidental ingestion and aspiration in dental practice at Nippon Dental University Hospital：A 13-year institutional review，○Jpn J Dent Prac Admin，2017；51（4）：186-193.

C. 総説・解説

1. 原 節宏，片岡彩乃，岡本祐幸，北 大樹，神谷圭祐，義隆伸之，大内一登，小堀瑛一，滑川初枝，林 宗廣，宇塚 聡，宮下 渉，竹川本夫：顎関節症における生活指導と習癖の指導 寝姿勢と枕の指導，歯学，103（春季特集号）：83-89，2016.
2. 宮下 渉：矯正歯科の資料採取における基準とテクニック，日本成人矯正歯科学会雑誌，23：97-100，2016.
3. 小森 成，佐藤瑤子，吉屋慶章，吉田陽子，山下憲昭：医学的対応としてのベッグ装置，歯学，104（秋季特集号）：29-34，2016.

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 小森 成，鈴木晴香：口腔装置（OA）の効果と長期的作用，日本歯科大学校友会・歯学会会報，42（3）：6-11，2017.
2. 秋山仁志，宇塚 聡，宮下 渉，原 節宏，新田俊彦，三代冬彦，羽村 章：ヒト型患者ロボットシミュレーションシステム（SIMROID）を用いた歯科硬組織修復研修，日本シミュレーション医療教育学会雑誌，4：10-17，2016.
3. 宇塚 聡：LOT の理解を深めよう，Dental Diamond，42（1）：56-61，2017.
4. 宮下 渉：LOT に必要な診査・診断・カウンセリング，Dental Diamond，42（2）：52-57，2017.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Komori A, Mizutani K, Uchida Y, Nagashima K : A PROSPECTIVE RANDOMIZED CLINICAL TRIAL OF ORTHODONTIC BONDING AGENTS, The 92nd Congress of the European Orthodontic Society, 110 (SP219) , 2016, Sweden, June 12-16, 2016.
http://www.eos2016.org/uploads/SCIENTIFIC%20POSTERS%20May%2027_2016.pdf
(cited 2016-03-14)
2. Mizutani K , Morita A , Suda M , Komori A : CLINICAL SURVEY ON DENTOFACIAL CHARACTERISTICS OF JAPANESE ADULT PATIENTS WITH A CLASS II MALOCCLUSION, The 92nd Congress of the European Orthodontic Society, 133 (sp264) , 2016, Sweden, June 12-16, 2016.
http://www.eos2016.org/uploads/SCIENTIFIC%20POSTERS%20May%2027_2016.pdf
(cited 2016-03-14)
3. 大西小雪, 北村和夫, 磯田浩太, 四方田 拓, 片岡彩乃, 小森 成, 勝海一郎 : 埋伏した下顎第一大臼歯の施した外科的歯内療法, 平成 28 年度日本歯科大学歯学会大会・総会プログラム・抄録集, 28, 2016.
4. 北村和夫, 山崎孝子, 濱田康弘, 柳下寿郎, 内川喜盛, 小森 成, 勝海一郎 : 乳歯の外傷により歯根外部吸収が引き起こされた萌出前永久歯の一症例, 平成 28 年度日本歯科大学歯学会大会・総会プログラム・抄録集, 29, 2016.
5. 義隆伸之, 原 節宏, 片岡彩乃, 北 大樹, 神谷圭祐, 岡本祐幸, 大内一登, 小堀瑛一, 滑川初枝, 林 宗廣, 宇塚 聡, 宮下 渉, 竹川本夫 : 顎関節症における生活指導—医師指向型アプローチが増悪因子として働いた 1 例, 平成 28 年度日本歯科大学歯学会大会・総会プログラム・抄録集, 30, 2016.
6. 安藤文人, 小林清佳, 平賀 泰, 小林さくら子, 大津光寛, 星川結香, 北 大樹, 水谷香織, 三代冬彦, 内川喜盛 : 日本歯科大学附属病院の医療安全報告書にみるクレーム等の分析, 日本病院会学会プログラム・抄録集, 371, 2017.
7. 小林清佳, 安藤文人, 宗村 治, 石垣佳希, 斉藤佳奈美, 下山真奈美, 高山里絵, 中原 貫, 三代冬彦, 内川喜盛 : 日本歯科大学附属病院における患者「ご意見記入用紙」と投書からの検討, 日本病院会学会プログラム・抄録集, 285, 2017.
8. 藤田結子, 大津光寛, 岩田 洋, 大澤銀子, 石田鉄光, 山瀬 勝, 光安廣記, 代田あづさ, 山田幸, 松崎祐樹, 大西小雪, 小林さくら子, 羽村 章 : 診療参加型臨床実習修了後の技能習熟度判定試験の実施について, 第 35 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 35 : 88, 2016.
9. 小林さくら子, 菊池憲一郎, 筒井健夫, 小川智久, 沼部幸博, 羽村 章 : 歯科学生における喫煙状況と意識変化, 第 35 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 35 : 150, 2016.
10. 小川智久, 筒井健夫, 菊池憲一郎, 小林さくら子, 羽村 章 : 喫煙支援活動による学生の意識変化, 第 35 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 35 : 156, 2016.
11. 水谷匡佑, 内田裕子, 光岡一行, 宮城島笑, 小森 成 : 矯正歯科治療に起因する white spot の発現に関するランダム化比較試験による評価, 東京矯正歯科学会雑誌, 26 : 104, 2016.

12. 宮下 渉, 宇塚 聡, 秋山仁志, 原 節宏, 三代冬彦, 羽村 章: 歯科医学教育用シミュレーションシステム SIMROID®を用いた歯科臨床実習, 第4回日本シミュレーション医療教育学会学術大会プログラム・抄録集, 29, 2016.
13. 大塚絵里佳, 小林さくら子, 栗原綾子, 安藤文人, 小森 成, 藤城建樹: 上顎切歯に著しい歯根吸収を伴う骨格性下顎前突症例, 日本顎変形症学会雑誌プログラム・抄録号, 26: 173, 2016.
14. 佐藤瑤子, 宇塚 聡, 坂梨公亮, 鈴木晴香, 水谷匡佑, 吉田陽子, 宮下 渉, 小森 成: 片顎に局在する先天性欠如歯が顎顔面形態に与える影響, 第75回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 147, 2016.
15. 早乙女美緒, 藤巻 良, 佐藤瑤子, 宮城島笑, 小森 成: スマイルの分類と機能時における口唇の位置との関連, 第75回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 54: 150, 2016.
16. 土持 宇, 小林さくら子, 片岡彩乃, 早乙女美緒, 佐藤瑤子, 水谷匡佑, 安藤文人, 小森 成, 柳下秀郎, 藤城建樹, 荘司洋文, 五井貴大, 今井智明, 幸田隆史, 新井一仁: 顎矯正手術における術後の知覚障害に関する臨床統計的調査, 第75回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 223, 2016.
17. 坂梨公亮, 宇塚 聡, 内田裕子, 岩崎由香利, 片岡彩乃, 大塚絵里佳, 宮下 渉, 小森 成: 6歯以上の先天欠如が頭蓋顔面形態に与える影響, 第75回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 267, 2016.
18. 藤巻 良, 早乙女美緒, 水谷匡佑, 坂口由莉, 大塚絵里佳, 小森 成: 下顎第三大臼歯萌出に影響する要因の検討, 第75回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 275, 2016.
19. 安藤文人, 内川喜盛, 宗村 治, 山田 幸, 岩崎てるみ, 宮下 渉, 塩谷伊毅, 高橋賢晃, 林 宗廣, 田村 智, 佐々木善朗, 鈴木洋一, 宇多美穂, 大西小雪, 三代冬彦: 歯科大学病院の医療連携についての歯科診療所を対象としたアンケート調査結果, 大学病院情報マネジメント部門連絡会議 平成28年度抄録集, 32, 2017.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウムでの講演

1. Komori A: Controlled lingual orthodontics with KommonBase, 12th European Society of Lingual Orthodontics Congress, Athens, July 3, 2016.

(2) 講演会・研究会・研修会での講演

1. 宮下 渉: 矯正治療に何ができる, 平成28年度日本歯科大学歯科矯正学教室同門会新人歓迎会, 千代田区, 2016年4月14日.
2. 宇塚 聡: 検査と診断、特定非営利活動法人日本成人矯正歯科学会第Ⅱ期認定医研修プログラム, 東京, 第19回(2016年6月12-13日), 第20回(2016年7月10日).
3. 小林さくら子: 歯科医療とは—未来の歯科医師を目指して—, 東京家政学院高等学校, 2016年6月27日.
4. 小森 成: 矯正歯科における Peer Review と今日的対応, 長崎大学歯学部歯科矯正学講座講演会, 長崎, 2016年7月8日.
5. 宇塚 聡: 幼少期～学童期の治療(第一期治療と言語治療について), 平成28年度若手のための夏の口唇裂・口蓋裂矯正治療勉強会, 東京, 2016年8月25日.
6. 小森 成: 社会適応のための審美的配慮, 平成28年度若手のための夏の口唇裂・口蓋裂矯正治療勉強会, 東京, 2016年8月25日.

7. 小森 成：混合歯列期における早期矯正治療の適応条件と実際，大阪府歯科保険医協会講演会，大阪，2016年9月11日．
8. 小森 成：矯正歯科の適応拡大と将来，長崎大学歯学部同窓会記念講演会，長崎，2016年11月13日．
9. 小林さくら子：フッ素徐放性材料の矯正装置への応用，愛知県日本歯科大学校友会講演会，愛知県名古屋市，2016年11月26日．
10. 小森 成：確実性の高いLOT（限局矯正）のための治療戦略，姫路市歯科医師会学術講演会，岡山県姫路市，2016年12月10日．

H. その他

1. 宇塚 聡：社団法人東京都歯科医師会卒後研修「平成 28 年度歯科医師臨床研修指導歯科医講習会」，東京，2017年2月26日．
2. 宇塚 聡：「Longevityに繋がる LOT 活用法」年間エディター（全 12 回），デンタルダイヤモンド社．

● 歯科麻酔・全身管理科 Dental Anesthesia

1. 所属構成員等

教 授 三代 冬彦
准 教 授 中村 仁也
講 師 阿部 恵一, 今井 智明
助 教 小林 清佳, 小谷田貴之, 塩谷 伊毅, 笠間久美子, 安田 麻子
非常勤歯科医師 五井 貴大, 深見 隼人, 神賀 肇子, 小林 脩也, 中村 瑛史
非常勤講師 新崎 裕一, 岡本 順孝, 鹿島 雅彦, 桑原 靖, 関 慎太郎,
西田 麻子, 森谷 健一, 平林 幹貴, 三井 陽介

2. 研究テーマ

- 1) 口腔内局所麻酔の用法に関する研究 The Study of the use of Dental Local Anesthesia.
- 2) インプラント手術における疼痛管理の臨床的検討 Clinical Study on Pain Control in Dental Implant Surgery.
- 3) 静脈内鎮静法の安全性向上に関する研究 The Study of Safety Measures for Intravenous Sedation.
- 4) 新歯科医学教育技法 A New Approach for Dental Education.
- 5) 口腔内知覚異常の新しい客観的評価法の開発とその臨床応用について Development and clinical application of objective evaluation on oral sensory paralysis.
- 6) 局所麻酔薬使用時の循環動態の変動に関する研究 The study of Human Circulatory Dynamics in the Dental Local Anesthesia.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著 書

記載事項なし

B. 原 著

1. 安藤文人, 小林清佳, 小林さくら子, 石垣佳希, 大津光寛, 北 大樹, 三代冬彦, 内川喜盛: 歯科診療における異物の誤飲・誤嚥—13年にわたる日本歯科大学附属病院インシデントレポートの調査—, 日本歯科医療管理学会誌, 2017; 51 (4): 186-193.

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告(臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 高橋香央里, 宮澤典子, 大山奈美, 今井智明, 一戸達也: 多形性心室頻拍症の既往を有する 22q 部分テトラソミー患児の歯科治療における全身麻酔経験, 日本歯科麻酔学会雑誌, 44 (2): 153-155, 2016.
2. 石井彩里, 篠原健一郎, 酒井有沙, 村田奈保子, 中村仁也: 過換気後無呼吸を繰り返す患者の歯科治療に際してプロポフォールによる静脈内鎮静法が有効であった 1 例, 日本歯科麻酔学会雑誌, 44 (3): 321-323, 2016.
3. 秋山仁志, 宇塚 聡, 宮下 渉, 原 節宏, 新田俊彦, 三代冬彦, 羽村 章: ヒト型患者ロボットシミュレーションシステム (SIMROID) を用いた歯科硬組織修復研修, 日本シミュレーション医療教育学会雑誌, 4: 10-17, 2016.
4. 村田奈保子, 三井陽介, 塩谷伊毅, 中村仁也, 山城三喜子, 砂田勝久: 経鼻挿管の際の出血による凝血塊が気管チューブを閉塞し換気困難となった症例, 日本歯科麻酔学会雑誌, 45 (1): 41-43, 2017.
5. Yamashiro M, Hashimoto S, Yasuda A, Sunada K: Epinephrine Affects Pharmacokinetics of Ropivacaine Infiltrated Into Palate, ©Anesth Prog, 63 (2): 71-9, 2016.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 深見隼人, 小林清佳, 生駒久美子, 中村仁也: アムロジピン 10mg 服用患者に静脈内鎮静法を行い急激な血圧低下を経験した 1 症例, 第 33 回関東臨床歯科麻酔懇話会抄録集, 8, 2016.
2. 麻見千登世, 大嶋依子, 内川喜盛, 三代冬彦: 日本歯科大学附属病院における歯科衛生士新人教育の取り組み, 第 35 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 39, 2016.
3. 宮下 渉, 宇塚 聡, 秋山仁志, 原 節宏, 三代冬彦, 羽村 章: 歯科医学教育用シミュレーションシステム SIMROID®を用いた歯科臨床実習, 第 4 回日本シミュレーション医療教育学会学術大会プログラム・抄録集, 29, 2016.
4. 深見隼人, 生駒久美子, 中村瑛史, 神賀肇子, 五井貴大, 今井智明, 阿部恵一, 中村仁也: 強度の異常絞扼反射を有する患者に静脈内鎮静法にてフェンタニルが有用に奏効した 1 例, 日本歯科麻酔学会雑誌, 44 (4): 497, 2016.
5. 小谷田貴之, 小林脩也, 塩谷伊毅, 安田麻子, 小林清佳, 三代冬彦, 中村仁也: プラダー・ウィリ症候群患者の全身麻酔管理を経験した一症例, 日本歯科麻酔学会雑誌, 44 (4): 510, 2016.
6. 小林邦枝, 楊 秀慶, 野杵明美, 福田恵里, 中村仁也, 阿部恵一, 小谷田貴之: 全身麻酔時に前投薬を使用した症例の歯科衛生士としての検討, 障害者歯科, 37 (3): 299, 2016.

7. 井出正俊, 勝山直彦, 本間彰人, 阿部恵一, 柳下寿郎: テリパラチドにより著名な骨形成が得られた MRONJ の 1 例, 日口外誌, 62 (総会特別号): 185, 2016.
8. 土持 宇, 小林さくら子, 片岡彩乃, 早乙女美緒, 佐藤瑤子, 水谷匡佑, 安藤文人, 小森 成, 柳下秀郎, 藤城建樹, 荘司洋文, 五井貴大, 今井智明, 幸田隆史, 新井一仁: 手術における術後の知覚障害に関する臨床統計的調査, 第 75 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 223, 2016.
9. 小林清佳, 安藤文人, 宗村 治, 石垣佳希, 斉藤佳奈美, 下山真奈美, 高山里絵, 中原 貫, 三代冬彦, 内川喜盛: 日本歯科大学附属病院における患者「ご意見記入用紙」と投書からの検討, 第 66 回日本病院学会プログラム・抄録, 285, 2016.
10. 安藤文人, 小林清佳, 平賀 泰, 小林さくら子, 大津光寛, 星川結香, 北 大樹, 水谷香織, 三代冬彦, 内川喜盛: 日本歯科大学附属病院の医療安全報告書にみるクレーム等の分析, 第 66 回日本病院学会プログラム・抄録, 371, 2016.
11. 安藤文人, 内川喜盛, 宗村 治, 山田 幸, 岩崎てるみ, 宮下 渉, 塩谷伊毅, 高橋賢晃, 林 宗廣, 田村 智, 佐々木善朗, 鈴木洋一, 宇多美穂, 大西小雪, 三代冬彦: 歯科大学病院の医療連携についての歯科診療所を対象としたアンケート調査結果, 大学病院情報マネジメント部門連絡会議, 平成 28 年度抄録集, 32, 2017.
12. 森本恵子, 塩谷伊毅, 砂田勝久: 本態性高血圧を伴った眼筋型重症筋無力症の静脈内鎮静法をプロポフォールで行った 1 症例, 日本有病者歯科学会プログラム・抄録, 165, 2017.
13. 安田麻子, 今井智明, 塩谷伊毅, 小谷田貴之, 阿部恵一, 中村仁也: 日本歯科大学附属病院歯科麻酔全身管理科における先天性心疾患を有する患者の全身麻酔管理の臨床的検討, 日本有病者歯科学会プログラム・抄録, 106, 2017.
14. 中村陽介, 小谷田貴之, 今村 崇, 入江 功, 塩谷伊毅, 緒方理人, 植原 亮, 佐々木岳, 中村仁也, 小笠原健文: 突発性拡張型心筋症を有し、局所麻酔に強い恐怖心を持つ患者の静脈内鎮静法管理下抜歯症例, 日本有病者歯科学会プログラム・抄録, 107, 2017.

G. 講 演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 中村仁也: 緊急時の対応および救急薬品の使用, 埼玉県北足立歯科医師会, 北足立歯科医師会館, 2016 年 4 月 20 日.
2. 中村仁也: アンチドーピングについて 1. 事例から学ぶアンチドーピング, 第 71 回国民体育大会希望郷岩手国体 2016 国体セーリング競技監督会議, 宮古市リアスハーバー宮古, 2016 年 10 月 1 日.
3. 三代冬彦: 知覚異常の予防とその対応, 松戸歯科医師会医療管理講習会, 東京, 2017 年 1 月 28 日.
4. 三代冬彦: 歯科医療における医療水準とは, 荒川区歯科医師会学術講演会, 東京, 2017 年 3 月 17 日.

● 歯科放射線口腔病理診断科

Division of Oral Diagnosis, Dental and Maxillofacial Radiology and Oral Pathology Diagnostic Services

1. 所属構成員等

教 授 柳下 寿郎, 代居 敬 (併任)
准 教 授 佐藤 健児 (併任), 河合 泰輔 (併任)
講 師 林 宗廣, 岩田 洋, 浅海利恵子 (併任)
助 教 浅井まどか (併任)
客 員 教 授 岡部 貞夫

2. 研究テーマ

- 1) 口腔粘膜上皮内癌の病理組織学的診断基準 Histopathological criteria for diagnosis of carcinoma in situ oral mucosa.
- 2) 扁平上皮癌における浸潤様式と予後との関連 Association with mode of invasion and prognosis in squamous cell carcinoma.
- 3) 口腔がんの診断と治療成績の向上および患者の QOL を支える Improvement of diagnosis and treatment grades for oral cancer, and supportmentfor QOL of the oral cancer patients.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 口腔がんの診断と治療成績の向上および患者の QOL を支える舌白板症に対する粘膜切除が舌癌の早期発見・早期治療に有効かを確認めて、白板症の舌粘膜切除を推奨する。

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) NPO 法人日本歯科放射線学会 第 22 回コンピュータ応用・画像情報研究会, 大阪歯科大学附属病院・西館 7 階会員研修室 (大阪), 2016 年 6 月 17 日, 佐藤健児.
- 2) 全国公私立歯科大学 (歯学部) 歯科放射線担当者研修会, 穂高ビューホテル (長野県), 2016 年 8 月 19 日・20 日, 代居 敬, 金田 隆.

6. 国際交流状況

- 1) Prof. Maha Eshak Amer (Minia 大学, エジプト) が, 画像診断研修 (2016 年 8 月) を受けた.

7. 外部・学内研究費

- 1) 学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (新規), 平成 28~30 年度, 歯科用コーンビーム CT の患者線量推定プログラムの作成, 佐藤健児 (代表), 浅海利恵子 (分担), 496 万円, 平成 28 年度 286 万円.
- 2) 学術研究助成基金助成金, 研究活動スタート支援 (継続), 平成 28~30 年度, 上顎犬歯窩周囲への傾斜埋入のピットフォールは?—安全性・安定性向上への指針作成, 浅井まどか (代表), 260 万円, 平成 28 年度 117 万円.

8. 研究業績

A. 著書

1. 岩田 洋, 代居 敬: 第3章 診断と治療学 IV. 診察と検査 4. 画像検査, 89-95, 赤川安正, 松浦正朗, 矢谷博文, 渡邊文彦 編, よくわかる口腔インプラント学 第3版, 医歯薬出版, 東京, 2017, ISBN: 978-4-263-45800-6.
2. 代居 敬 (分担執筆): CASE1-1-1, 42-43, 52-53, 金田 隆ほか編, 顎口腔領域の疾患 読影ポイントから病理診断, 治療方針まで 第1版, 永末書店, 東京, 2017, ISBN: 978-4-8160-1324-9.
3. 河合泰輔, 飯久保正弘 (分担執筆): 1章 放射線とエックス線, 2-20, 有地榮一郎ほか監修, わかりやすい歯科放射線学 第3版, 学建書院, 東京, 2017, ISBN: 978-4-7624-2170-9.
4. 河合泰輔, 香川豊宏, 後藤真一 (分担執筆): 4章 エックス線画像の形成, 36-51, 有地榮一郎ほか監修, わかりやすい歯科放射線学 第3版, 学建書院, 東京, 2017, ISBN: 978-4-7624-2170-9.
5. 河合泰輔: 7章 フィルム処理, 128-3137, 有地榮一郎ほか監修, わかりやすい歯科放射線学 第3版, 学建書院, 東京, 2017, ISBN: 978-4-7624-2170-9.
6. 河合泰輔, 香川豊宏 (分担執筆): 8章 デジタルエックス線システム, 138-143, 有地榮一郎ほか監修, わかりやすい歯科放射線学 第3版, 学建書院, 東京, 2017, ISBN: 978-4-7624-2170-9.
7. 河合泰輔, 後藤真一 (分担執筆): 9章 正常なエックス線画像, 144-149, 有地榮一郎ほか監修, わかりやすい歯科放射線学 第3版, 学建書院, 東京, 2017, ISBN: 978-4-7624-2170-9.
8. 河合泰輔, 飯久保正弘, 香川豊宏, 後藤真一: 10章 病変の画像例, 150-161, 有地榮一郎ほか監修, わかりやすい歯科放射線学 第3版, 学建書院, 東京, 2017, ISBN: 978-4-7624-2170-9.

B. 原著

1. Okamura T, Izumo T, Yagishita H, Mori T, Sakamoto K, Harada K: Disordered arrangements of basal cells as a prognostic factor for oral epithelial dysplasia: a morphometric study of 96 cases, *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol*, 122 (3): 355-61, 2016, doi: 10.1016/j.oooo.2016.05.005.
2. 岡 和雄, 柳下寿郎, 山根源之: 東京都港区における口腔がん検診事業概要, *日本歯科人間ドック学会誌*, 11 (1): 21-28, 2016.
3. Mihara N, Chiba T, Yamaguchi K, Sudo H, Yagishita H, Imai K: Minimal essential region for *kruppel-like factor 5* expression and the regulation by specificity protein 3-GC box binding, *Gene*, 601: 36-43, 2017, doi: 10.1016/j.gene.2016.12.002.
4. 小川智久, 角田憲祐, 岩田 洋, 石井通勇, 小倉 晋, 山下憲昭: インプラントアバットメントに残存したセメントの検査と除去効果について, *日本歯科人間ドック学会誌*, 11 (1): 5-13, 2016.
5. *Kamigaki Y, Sato I, Yosue T: Histological and radiographic study of human edentulous and dentulous maxilla, *Anat Sci Int*, 2016 (April); doi: 10.107/s12565-016-0344-z. [Epub ahead of print] (学位論文)

C. 総説・解説

1. 佐藤健児 (分担執筆): 大学歯学部・歯科大学附属病院における歯科用コーンビーム CT 検査についてのアンケート調査, *歯科放射線*, 55 (1): 5-10, 2015. (2015年度記載漏れ)
2. 佐藤健児: 総説 線量測定の基本—診断参考レベルに用いられる線量—, *歯科放射線*, 55 (1): 30-34, 2015. (2015年度記載漏れ)
3. 佐藤健児: 歯科領域の医療放射線の利用と防護 講演5: 歯科エックス線防護の取り組みと課題, *医療放射線防護*, No.75: 41-46, 2016.

4. 佐藤健児：歯科用コーンビーム CT の診断参考レベル，全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会会誌，26 (2)：19-25，2016.
5. 佐藤健児：医療被ばくの正当化と最適化に向けて Part II：歯科用 X線検査の診断参考レベル (DRL) に対する活動と課題—口内法 X線撮影，パノラマ X線撮影，歯科用コーンビーム CT を中心に一，INNERVISION，31 (12)：15-17，2016.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. Morita M, Asoda S, Tsunoda K, Soma T, Nakagawa T, Shirakawa M, Shoji H, Yagishita H, Nishikawa T, Kawana H : The onset risk of carcinoma in patients continuing tacrolimus topical treatment for oral lichen planus : a case report, *Odontology*, 105 (2) : 262-266, 2017, doi : 10.1007/s10266-016-0255-4.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 八木原一博，石井純一，桂野美貴，土田絵梨，岡村武志，石川文隆，柳下寿郎，出雲俊之，岡部貞夫：まれな経過をとったT1舌扁平上皮癌の1例，*頭頸部癌*，42 (2)：228，2016.
2. 荘司洋文，岡村 尚，北詰栄里，浅野一成，岡部貞夫，柳下寿郎：当科における舌白板症に関する臨床病理学的検討，*頭頸部癌*，42 (2)：102，2016.
3. 八木原一博，石井純一，桂野美貴，土田絵梨，岡村武志，石川文隆，柳下寿郎，出雲俊之，岡部貞夫：切除+植皮を行った舌癌症例の予後—第2報，*日癌治*，51 (1)：102，2016.
4. 岡部貞夫，柳下寿郎，荘司洋文：ワークショップ81 頭頸・口腔 5：頭頸部がんの集学的治療—3. 舌白板症に対する粘膜切除は舌癌の早期診断・早期治療に有用か？，*日癌治*，51 (1)：207，2016.
5. 浅野一成，岡部貞夫，荘司洋文，辺見卓男，柳下寿郎：ワークショップ5 表在癌を考える—3. 舌白板症を経過観察としますか，あるいは積極的に切除しますか？—当院の舌白板症切除症例における臨床病理学的検討から考えられること—，*口腔腫瘍*，28 (4)：306，2016.
6. 荘司洋文，浅野一成，辺見卓男，柳下寿郎，岡部貞夫：舌白板症症例における臨床病理学的検討，*口腔腫瘍*，28 (4)：338，2016.
7. 柳下寿郎，児玉重明，矢島正隆，岡 和雄，荘司洋文，岡部貞夫：麻布赤坂・芝歯科医師会における口腔がん検診の取り組みとその現状，*口腔腫瘍*，28 (4)：344，2016.
8. 岡部貞夫，柳下寿郎，荘司洋文：頭頸・口腔 頭頸部がんの集学的治療 舌白板症に対する粘膜切除は舌癌の早期診断・早期治療に有用か？，第54回日本癌治療学会学術集会抄録集，WS81-3，2016.
9. 八木原一博，石井純一，桂野美貴，土田絵梨，岡村武志，原口美穂子，石川文隆，柳下寿郎，出雲俊之，岡部貞夫：切除+植皮を行った舌癌症例の予後 (第2報)，第54回日本癌治療学会学術集会抄録集，P1-1，2016.
10. 石川文隆，柳下寿郎，黒住昌史：口腔細胞診境界病変に対する病理学的アプローチパパニコロウでの Class III，ベセスダ分類での SIL，3段階での偽陽性をどう扱うか 病理組織像 (H/E・免疫染色) からみた細胞診の診断の現状と問題点，*日本臨床細胞学会雑誌*，55 (Suppl.2)：425，2016.
11. 添野雄一，辺見卓男，柳下寿郎：舌粘膜表在性病変における発癌 Field 解析，*Journal of Oral Biosciences*，2016 (Supplement)：199，2016.

12. 奥山 祐, 三島 章, 佐藤健児, 小林 馨 : デジタル口内法X線撮影における撮影条件の検討, 全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会誌, 26 (2) : 73-77, 2016.
13. 西川慶一, 浅海利恵子, 佐藤健児 : 歯科用コーンビーム CT 装置のための不変性試験用ボクセル値ファントムの開発, NPO 法人日本歯科放射線学会第 57 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 65, 2016.
14. 佐藤健児, 井澤真紀, 大林尚人, 後藤賢一, 境野利江, 杉原義人, 西川慶一, 野津雅和, 原田康雄, 丸橋一夫, 三島 章, 奥村泰彦, 本田和也, 金田 隆 : NPO 法人日本歯科放射線学会による線量測定研修会について, 第 23 回日本歯科医学会総会プログラム・抄録集, 143, 2016.
15. 浅井まどか, 河合泰輔, 浅海利恵子, 代居 敬 : 歯科用 CBCT における犬歯窩周囲の骨形態の検討, NPO 法人日本歯科放射線学会第 57 回学術大会・学術プログラム・抄録集, 65, 2016.
16. 奥山 祐, 三島 章, 佐藤健児, 五十嵐千浪, 若江五月, 杉崎正志, 小林 馨 : デジタル口内法エックス線撮影における撮影条件の検討, NPO 法人日本歯科放射線学会第 21 回臨床画像大会プログラム・抄録集, 21, 2016.
17. 岩田 洋, 柳下寿郎, 石川明子, 小川智久, 沼田光代, 大嶋依子 : 当院における外国人旅行者に対する歯科人間ドックおよび口腔がん検診, 日本歯科人間ドック学会第 19 回学術大会プログラム集, 19, 2016.
18. Kawai T, Kumazawa Y, Asami R, Mizutani M, Yamaguchi A, Yosue T : The location of the mandibular canal in the posterior mandible of the jaw deformity patients: observed with pre-surgical MDCT images, Int J CARS, 11 (Suppl. 1) : S281, 2016.
19. 熊澤康雄, 河合泰輔, 代居 敬, 山口 晃 : 顎変形症患者の下顎枝部における下顎管の頬舌的位置の検討—術前 CT による評価—, 日本口腔科学会雑誌, 65 (2) : 223, 2016.
20. Kawai T, Kumazawa Y, Mizutani M, Asami R, Yamaguchi A, Yosue T : The location of the mandibular canal in the ramus region of the jaw deformity patient, The 11th Asian Congress of Oral and Maxillofacial Radiology, Program and Abstract book, 220, 2016.
21. Asami R, Kawai T, Mizutani M, Nakagawa A, Yamaguchi A, Yosue T : Analysis of the morphological differences between mental region and mandibular condyle using MDCT images, The 11th Asian Congress of Oral and Maxillofacial Radiology, Program and Abstract book, 216, 2016.
22. Asami R, Kawai T, Sato I : Observation of the bone structures of the maxillary tuberosity and pterygomaxillary suture using cone beam CT images, Int J CARS, 11 (Suppl. 1) : S285, 2016.
23. 浅海利恵子, 河合泰輔, 水谷太尊, 熊澤康雄, 山口 晃, 代居 敬 : 顎変形症患者の術前 MDCT 画像を用いたオトガイ部の側面形態の検討, 日本口腔内科学会・日本口腔診断学会合同学術大会, プログラム・抄録集, 112, 2016.
24. 中島京樹, 柴原孝彦, 野村武史, 柳下寿郎, 小林 健, 中谷泰志 : 口腔粘膜蛍光観察装置を用いた口腔粘膜異常および疾患のトリアージへの試み, 日本歯科医師会雑誌, 69 (5) : 438, 2016.
25. 岩田 洋, 林 宗廣, 柳下秀郎, 荘司洋文, 柳下寿郎 : 舌部に発生した結節性筋膜炎の画像所見, 第 21 回臨床画像大会プログラム・抄録集, 38, 2017.
26. 岡村 尚, 荘司洋文, 猪俣 徹, 北詰栄里, 柳下寿郎, 岡部貞夫 : 当院における舌癌 stage 0 症例の検討, 第 35 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 136, 2017.
27. 八木原一博, 石井純一, 桂野美貴, 土田絵梨, 岡村武志, 原口美穂子, 石川文隆, 柳下寿郎, 出雲俊之, 岡部貞夫 : 原発性下顎骨中心性扁平上皮癌の検討, 第 35 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 165, 2017.
28. 安藤文人, 内川喜盛, 宗村 治, 山田 幸, 岩崎てるみ, 宮下 渉, 塩谷伊毅, 高橋賢晃, 林 宗

廣，田村 智，佐々木善朗，鈴木洋一，宇多美穂，大西小雪，三代冬彦：歯科大学病院の医療連携についての歯科診療所を対象としたアンケート調査結果，大学病院情報マネジメント部門連絡会議 平成 28 年度抄録集，32，2017.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 佐藤健児：歯科用コーンビーム CT の診断参考レベル，全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会主催，鶴見大会館 サブホール，2016 年 6 月 25 日.
2. 岡部貞夫，柳下寿郎，荘司洋文：シンポジウム 2 高齢者口腔癌治療の実際と今後の方向性，特別発言：口腔癌の早期発見・早期治療のために，第 35 回日本口腔腫瘍学会総会，福岡，2017 年 1 月 26 日.
3. 浅海利恵子：消化器系のライフステージと臨床一線を血管から考察する—歯科における唾液腺疾患と画像検査，第 122 回日本解剖学会総会，長崎大学坂本キャンパス，2017 年 3 月 30 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 代居 敬：インプラントの画像診断，北日本インプラント研究会，北海道歯科医師会館，札幌市（2016 年 4 月 3 日），日本歯科先端技術研究所，東京事務所（港区）（2016 年 4 月 10 日），埼玉インプラント研究会，ラフレ埼玉（さいたま市）（2016 年 7 月 24 日）.
2. 代居 敬：画像診断，新潟再生歯学研究会，日本歯科大学新潟生命歯学部（新潟市），2016 年 4 月 24 日.
3. 代居 敬：インプラントのエックス線診断，総合インプラント研究センター，住友化学参宮寮（新宿区），2015 年 5 月 14 日.
4. 浅海利恵子：デンタル・パノラマの診断を最新の三次元画像で検証する，和歌山県日本歯科大学校友会学術講演会，ホテルグランヴィア和歌山，和歌山市，2016 年 6 月 11 日.
5. 代居 敬：パノラマ撮影法の価値を高めるために，富山県日本歯科大学校友会学術講演会，富山第一ホテル（富山），2016 年 7 月 31 日.
6. 北詰栄里，荘司洋文，岡村 尚，猪俣 徹，柳下寿郎，岡部貞夫：異時性 4 重複癌の治療経験，第 16 回関東地区口腔腫瘍研究会，東京，2016 年 7 月 31 日.
7. 柳下寿郎：なぜ，今，口腔がん検診か！？，口腔がん及び口腔内検診システムセミナー，東京，2016 年 10 月 30 日.
8. 柳下寿郎：歯科衛生士が発見できる！口腔がん，太陽衛生士専門学校 向陽葵会講演会，東京，2016 年 11 月 6 日.
9. 柳下寿郎：口腔がん検診の目的を再確認する 新しいステージに向かって，口腔がん検診を取り組むために，千葉県市川市歯科医師会，市川，2016 年 12 月 5 日.
10. 佐藤健児：歯科用コーンビーム CT 装置の出力特性，NPO 法人 日本歯科放射線学会，第 3 回顎口腔領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修会，明海大学（埼玉），2017 年 1 月 8 日.
11. 河合泰輔：デンタル・パノラマから CBCT・MDCT・MRI へ進化する歯科の画像診断，立川市歯科医師会，学術講演会立川歯科医師会館，立川市，東京，2017 年 1 月 17 日.
12. 岩田 洋，林 宗廣，又賀 泉，浅野一成，荘司洋文，猪俣 徹，代居 敬，河合泰輔，浅海利恵子，浅井まどか，柳下寿郎：著明な嚢胞形成を伴った Warthin 腫瘍の一例，日本歯科放射線学会第 224 回関東地方会，2017 年 1 月 21 日.
13. 河合泰輔：日常臨床に必要な画像検査法と画像の読み方～デンタルから歯科用 CBCT まで～，那

- 須歯科医師会学術研修会, KATSUTAYA, 大田原市, 栃木, 2017年1月22日.
14. 柳下寿郎: なぜ, 口腔がん検診をするの? 臨床症例からみた動機づけ, 東京都荏原歯科医師会, 東京, 2017年2月28日.
 15. 佐藤健児: 線量測定の基本—線量と線質—, NPO 法人 日本歯科放射線学会, 第4回顎口腔領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修会, 坂戸グランドホテル WIN (埼玉), 2017年1月7日.
 16. 河合泰輔: 日常臨床に必要な画像検査法と画像の読み方~デンタルから歯科用 CBCT まで~, 那須歯科医師会学術研修会, KATSUTAYA, 大田原市, 栃木, 2017年1月22日.
 17. 佐藤健児: 放射線の影響, 防護および法的規制, NPO 法人 日本歯科放射線学会, 優良医ステップアップ講習会, 大阪歯科大学臨床講義室 (大阪), 2017年3月20日.

● 口腔インプラント診療科 Division of Oral Implant

1. 所属構成員等

教授：柳井 智恵
准 教授：平賀 泰，小倉 晋
講師：山田麻衣子
助教：石井 通勇，倉治 真夏
非常勤歯科医師：是澤 和人，三代 紗季，五木田 旬子
非常勤講師：石崎 勤，水木 信之，田外 貴弘，濱 仁隆，青木 護，
酒井 康雄，大島 正充，新崎 公子

2. 研究テーマ

- 1) 生体材料と成長因子による骨再生医療 Biomaterials and Growth-factor-based engineering of bone tissue.
- 2) 仮骨延長，骨膜延長による骨形成機序 Mechanics of new bone formation by distraction osteogenesis and periosteal distraction osteogenesis.
- 3) 口腔癌外科切除後にインプラント治療による口腔機能の評価に関する検討 Functional outcome of implant therapy after surgical resection of oral cancer.
- 4) インプラント治療に関係した顎骨の骨量（形態）と骨質について Quantity (Shape) and quality of jaw bone concerning to implant treatment.
- 5) インプラント治療の長期臨床的検討 A study on long term of dental implant treatment.
- 6) 下顎骨形態および下顎管についての放射線学的検討 Radiological examination of mandibular bone shape and mandibular canals.
- 7) インプラント治療前後の咀嚼機能の評価 Evaluation of a masticatory function after implant treatment.
- 8) 顎顔面領域の顎欠損に対する機能再建（骨造成およびインプラント治療） Functional reconstruction to a jaw deficit of maxillofacial. (Bone development and implant treatment)

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 平成 28 年度（公社）東京都歯科医師会卒後研修，インプラント手術，イロハのイー全身状態評価から麻酔，消毒，感染予防まで一，日本歯科大学附属病院牛込ホール，2016 年 9 月 4 日，柳井智恵（口腔インプラント診療科），砂田勝久（歯科麻酔学講座）。
- 2) Women Dental Academy for Implantology 第 1 回定例会，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，2017 年 10 月 23 日，Women Dental Academy for Implantology，会長：柳井智恵。

6. 国際交流状況

- 1) 柳井智恵：2016 年 6 月 6 日と 7 日の二日間，姉妹校のスイス・ベルン大学頭蓋顎顔面外科学講座

を表敬訪問し、飯塚建行主任教授と面談し情報交換を行った。その後、6月8日から13日までスペインの口腔外科学会からの招聘を受け、前日本口腔外科学会理事長・栗田賢一先生と共にスペイン・アリカンテの16 Congress of Oral Surgery and Implantologyに参加し講演を行い、両国の交流親睦や情報交換を図った。日本がスペインの口腔外科学会から招聘を受けるのは初めてである。

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著書

1. 小倉 晋 (分担) : 11 インプラント体埋入手術と周術期管理, 12 インプラント体の埋入時期・荷重時期, 13 骨組織, 軟組織のマネジメント, 17 インプラント治療におけるトラブルと合併症, 40-51, 65-69, 口腔インプラント治療指針 2016, 公益社団法人日本口腔インプラント学会編, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-45794-8.
2. 小倉 晋 : 第6章 リコールとメンテナンス, II 手術および上部構造に関するトラブルとその対応, 2 手術直後のトラブルと合併症, 267-271, 赤川安正, 松浦正朗, 矢谷博文, 渡邊文彦 (編集), よくわかる口腔インプラント学, 医歯薬出版, 東京, 2017, ISBN : 978-4-263-45800-6.

B. 原著

1. 小川智久, 角田憲祐, 岩田 洋, 石井通勇, 小倉 晋, 山下憲昭 : インプラントアバットメントに残存したセメントの検査と除去効果について, 日歯人間ドック会誌, 2016 ; 11 (1) : 5-13.
2. 柳井智恵 : 下顎両側臼歯部にインプラント治療を行った1症例, 日口腔インプラント誌, 2016 ; 29 (4) : E341-342.
Yanai C : A case of dental implant treatment for bilateral mandibular molar missing, J. Jpn. Soc. Oral implant, 2016 ; 29 (4) : E341-342.

C. 総説・解説

1. 山瀬 勝, 小倉 晋 : 『ここまで来た臨床検査機器』 Newton-1 適切なトルクコントロールを目指して, 日歯理工誌, 36 (1) : 21-24, 2017.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 柳井智恵 : 次世代を担う女性歯科臨床家の育成を目指す, 新聞 QUINT, 第248号 : 2, 2016.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌記載講演抄録

1. 石井通勇, 是澤和人, 濱 仁隆, 山瀬 勝, 小倉 晋 : インプラント治療における機械的および電気的トルクコントローラーのトルク値再現精度, 平成28年度日本歯科大学歯学会大会・総会プログラム・抄録集, 23, 2016.
2. Sakamoto M, Yanai C, Yamada M, Shoji H, Yagishita H, Okabe S : Pediatric Mucoepidermoid Carcinoma of the Buccal Mucosa, 平成28年度日本歯科大学歯学会大会・総会プログラム・抄録集, 28, 2016.

3. 安藤文人, 小林清佳, 平賀 泰, 小林さくら子, 大津光寛, 星川結香, 北 大樹, 水谷香織, 三代冬彦, 内川喜盛: 日本歯科大学附属病院の医療安全報告書にみるクレーム等の分析, 日病院誌, 一般社団法人日本病院学会第 66 回日本病院学会プログラム・抄録集, 371, 2016.
4. 山田麻衣子, 小倉 晋, 石井通勇, 是澤和人, 三代紗季, 石崎 勤, 柳井智恵, 高森 等: 陽極酸化処理されたインプラントの長期臨床的検討, 日口腔インプラント誌, 29 (特別号): 47, 2016.
5. 小倉 晋, 高森 等, 山田麻衣子, 平賀 泰, 石崎 勤: 下顎無歯顎症例に適応したインプラント治療の長期的経過, 日口腔インプラント誌, 29 (特別号): 49, 2016.
6. 倉治真夏, 小倉 晋, 山田麻衣子, 石井通勇, 是澤和人, 五木田句子, 柳井智恵: 新来患者におけるインプラント治療既往の検討, 日口腔インプラント誌, 29 (特別号): 50, 2016.
7. 安藤真紀, 小林邦枝, 重井亜紀, 谷口慶子, 渋沢美雪, 佐藤絵梨, 砂田勝久, 小倉 晋: インプラント手術時の全身管理に対する歯科衛生士へのアンケート調査, 日歯麻誌, 44 (4): 190, 2016.
8. 山田麻衣子, 小倉 晋, 倉治真夏, 石崎 勤, 柳井智恵, 高森 等: 術後 10 年以上経過したインプラント治療における臨床的検討, 日口外誌, 62 (特別号): 347, 2016.
9. 石崎 勤, 小倉 晋, 山田麻衣子, 平賀 泰, 五木田句子, 柳井智恵, 大島正充, 新崎公子, 水木信之, 高森 等: 手指障害者に対してインプラントオーバーデンチャーにより治療した 2 例, 顎顔面インプラント誌, 15 (3): 156, 2016.
10. Yanai C, Hiraga Y, Ogura S, Yamase M, Akiyama H: Functional Outcome of Implant Treatment in Edentulous Patients after Surgical Treatment of Oral Cancer, 40th World Congress of the International College of Surgeons, 62nd Annual Congress of the International College of Surgeons Japan Section Program & Abstracts, 349, 2016.
11. 三代紗季, 小倉 晋, 山田麻衣子, 平賀 泰, 石崎 勤, 高森 等: 上顎無歯顎症例に適応したインプラント治療の長期臨床経過, 日口腔インプラント誌, 公益社団法人日本口腔インプラント学会第 36 回関東・甲信越支部学術大会プログラム・抄録集, 63, 2017.

G. 講演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演
 1. Yanai C: Functional outcome of implant treatment after surgical resection of maxilla and mandible, 16 Congress of Oral Surgery and Implantology, シンポジウム, スペイン・アリカンテ, 2016 年 6 月 10 日.
- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演
 1. 柳井智恵: 困った症例への対応と医療連携のポイント, Straumann Forum 2016, 東京都, 2016 年 5 月 29 日.
 2. 柳井智恵: 女性から発信する歯科医療へ, Women Dental Academy for Implantology First Meeting, 東京都, 2016 年 7 月 3 日.
 3. 柳井智恵: 日本の女性歯科医師インプラントロジストを考える, ITI-SC 横浜, 横浜市, 2016 年 7 月 21 日.
 4. 柳井智恵: インプラント手術, イロハのイー全身状態評価から麻酔, 消毒, 感染予防まで一, 院内感染予防と手術環境の準備, 東京都歯科医師会卒後研修会, 東京都, 2016 年 9 月 4 日.
 5. 柳井智恵: 日本歯科大学における口腔がん治療の取り組む, 平成 28 年度島根大学がん医療従事者研修会, 出雲市, 2016 年 12 月 22 日.
 6. 柳井智恵: インプラント治療に必要な局所解剖, Women Dental Academy for Implantology Basic

Course, 東京都, 2017 年 1 月 28 日.

7. 柳井智恵：口腔がん術後の顎口腔機能再建とインプラント治療, 厚木市歯科医師会男女共同参画女性歯科医師就業・活動支援推進集会, 厚木市, 2017 年 2 月 26 日.

● 顎変形症診療センター Jaw Deformity Clinic

1. 所属構成員等

准 教 授 渡辺 昌司 (併任)

講 師 藤城 建樹 (併任), 今井 智明 (併任)

歯 科 衛 生 士 西口はづき (併任), 川邊 靖子 (併任), 今村安芸子 (併任),
小林千登世 (併任), 小林みなみ (併任)

2. 研究テーマ

- 1) 顎矯正手術における骨片固定材料に関する臨床的検討 Clinical evaluation of osteosynthesis used in orthognathic surgery.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著 書

記載事項なし

B. 原 著

1. 渡邊尚子, 宇塚 聡, 宮下 渉, 藤城建樹, 莊司洋文, 原 節宏, 小森 成 (著者7名): 骨格性開咬患者における顎矯正手術前後の舌骨位置と気道形態の変化について, ○日本顎変形症学会雑誌, 2016 ; 26 (3) : 189-194.

Watanabe N, Uzuka S, Miyashita W, Fujishiro T, Shoji H, Hara S, Komori A (7th) (7 authors) : Evaluation of hyoid bone position and pharyngeal airway morphology before and after orthognathic surgery for skeletal open bite, ○Jpn.J.Jaw Deform, 2016 ; 26 (3) : 189-194.

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

記載事項なし

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 嶋田真由美, 荘司洋文, 町田智正, 柳下秀郎, 藤城建樹, 小林隆太郎: 顎変形症術後に著しい腫脹にて挿管管理を行った 1 例, 第 26 回日本顎変形症学会総会 (一ツ橋) プログラム・抄録号, 176, 2016.
2. 大塚絵里佳, 小林さくら子, 栗原綾子, 安藤文人, 小森 成, 藤城建樹: 上顎切歯に著しい歯根吸収を伴う骨格性下顎前突症例, 第 26 回日本顎変形症学会総会 (一ツ橋) プログラム・抄録号, 173, 2016.
3. 土持 宇, 小林さくら子, 片岡彩乃, 早乙女美緒, 佐藤瑤子, 水谷匡佑, 安藤文人, 小森 成, 柳下秀郎, 藤城建樹, 荘司洋文, 五井貴大, 今井智明, 幸田隆史, 新井一仁: 顎矯正手術における術後の知覚障害に関する臨床統計的調査, 第 75 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録号, 223, 2016.

G. 講 演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 荘司洋文: よくわかる顎矯正手術—安全, 確実に行うために—, 第 61 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会, ビデオレクチャー, 千葉, 2016 年 10 月 12 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

記載事項なし

● 臨床検査室 Department of Clinical Laboratory

1. 所属構成員

医療職員 藤田 裕紀, 荒井 千明, 比留間 馨, 矢島 知美

2. 研究テーマ

記載事項なし

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著書

記載事項なし

B. 原著

記載事項なし

C. 総説・解説

記載項目なし

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 柴田 潔, 荒井千明: バイオフィルム形成阻害物質のスクリーニング 1. 海藻有機溶媒抽出物質への適用, 日本歯科大学紀要, 46 : 12-15, 2017, doi : 10.14083/00000785.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

記載事項なし

G. 講 演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演
記載事項なし

- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演
記載事項なし

● 臨床口腔機能学 Division of Clinical Oral Rehabilitation

1. 所属構成員等

教 授 菊谷 武

大 学 院 生 4 年 岡澤 仁志, 新藤 広基, 矢島 悠里

3 年 仲澤裕次郎

2 年 磯田 友子, 五十嵐公美, 光岡 一行

2. 研究テーマ

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション Dysphagia rehabilitation.
- 2) 口腔ケア Oral health Care.
- 3) 高齢者に対する歯科診療 Dental treatment for Elderly People.
- 4) 歯科訪問診療 Home Visiting Dental Care.
- 5) 咀嚼器官の運動障害が咀嚼機能に与える影響 Masticatory function affected by masticatory disorders with motor disorder.
- 6) レット症候群の摂食機能 Feeding of Rett syndrome.
- 7) コミュニケーション障害患者のリハビリテーション Speech and language therapy in communication disorders.
- 8) 高次脳機能障害患者の社会復帰支援 Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
- 9) 誤嚥性肺炎と口腔ケア Aspiration pneumonia and oral health care.
- 10) 障害児の摂食機能 Feeding function of disabled children.
- 11) 小児の摂食機能の発達と障害 Development and disabilities of feeding in children.
- 12) 子供の食の問題と母親の育児負担との関係 Relationship between children's eating problem and mother's parenting burden.
- 13) 原始反射の再出現が摂食機能に与える影響 Effects of reappearance of primitive reflexes on eating function and prognosis.
- 14) 口唇口蓋裂児の吸啜時の舌運動の解析 Analysis of tongue movements during sucking by infants with cleft lip and palate.
- 15) 地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成システムの構築 Development of cultivation program for dentist for the regional comprehension system.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

- 1) 新藤広基, 老人ホームにおける誤嚥性肺炎予防に関する研究, 平成 29 年 2 月 6 日, 日本歯科大学.
- 2) 矢島悠里, 高齢者の口腔機能がサルコペニアと生命予後に及ぼす影響, 平成 29 年 2 月 6 日, 日本歯科大学.
- 3) 岡澤仁志, 在宅療養高齢者家族の介護負担に関連する因子の検討, 平成 29 年 2 月 24 日, 日本歯科大学.

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション分野において世界的に有名なアメリカ レッドランズ大学のマイケル・グロハー教授の嚥下障害研修および症例検討会に参加するとともに、研究打ち合わせのため、アメリカ レッドランズ大学を訪問した、平成 28 年 7 月 30 日～8 月 5 日。
- 2) アメリカ レッドランズ大学のマイケル・グロハー教授を招聘し、摂食・嚥下障害コースの受講及び研究打ち合わせを金沢で行った（外国人招聘事業）、平成 28 年 6 月 8 日～6 月 10 日。

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本医療研究開発機構研究費，長寿科学総合研究事業（継続），平成 26～28 年度，地域包括ケアにおける摂食嚥下および栄養支援のための評価ツールの開発とその有用性に関する検討，菊谷 武（代表），神崎恒一，長島文夫，原 純也（分担），24,352,000 円，平成 28 年度 7,460,000 円。
- 2) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，基盤研究（C）（継続），平成 26～28 年度，口腔のサルコペニアに対する評価法および対応法に関する研究，高橋賢晃（代表），菊谷 武，田村文誉（分担），5,070,000 円，平成 28 年度 520,000 円。
- 3) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，基盤研究（C）（継続），平成 27～29 年度，経口摂取は胃瘻患者の認知機能および身体機能の改善に寄与できるか？，田村文誉（代表），八重垣健，菊谷 武，町田麗子，水上美樹（分担），4,680,000 円，平成 28 年度 910,000 円。
- 4) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，基盤研究（C）（継続），平成 27～29 年度，地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成システムの構築，須田牧夫（代表），菊谷 武，田村文誉，町田麗子（分担），4,810,000 円，平成 28 年度 780,000 円。
- 5) 厚生労働省老人保健健康増進等事業（新規），平成 28 年度，通所介護及び通所リハビリテーションを利用する要介護高齢者に対する効果的な栄養改善及び口腔機能向上サービス等に関する調査研究事業，菊谷 武（代表），大島克郎，渡邊 裕，杉山みち子，田中弥生，前田佳予子，高野直久，久保山裕子，鷺見よしみ，大野 彩（分担），13,082,000 円，平成 28 年度 13,082,000 円。

8. 研究業績

A. 著 書

1. 菊谷 武（分担執筆）：PART4 家族のお悩み相談室 Q&A，100-101，103，齋藤郁子 編著，おうちで作る介護食クッキング入門，日本医療企画，東京，2016，ISBN：978-4-86439-489-5。
2. 菊谷 武（分担執筆）：11 歯ぐきが腫れて歯がすこし動く，65-69，葛谷雅文，伴 信太郎 編著，加齢症状で悩む？！患者さんに応える医学，プリメド社，大阪，2016，ISBN：978-4-938866-56-3。
3. 1) 菊谷 武，田村文誉（共著）：Introduction なぜ，歯科診療室で口腔機能を見ることが重要なのか？，8-12，菊谷 武，田村文誉，水上美樹 編著，月刊デンタルハイジーン別冊 わかる・気づく・対応できる！診療室からはじめる口腔機能へのアプローチ，医歯薬出版，東京，2016。
- 2) 菊谷 武，尾関麻衣子（分担執筆）：Chapter 2 成人期以降（高齢者）の口腔機能を知ろう，45-91，菊谷 武，田村文誉，水上美樹 編著，月刊デンタルハイジーン別冊 わかる・気づく・対応できる！診療室からはじめる口腔機能へのアプローチ，医歯薬出版，東京，2016。
- 3) 菊谷 武（分担執筆）：Column 「薬が飲みにくい」と言われたら～薬は必ず“コップ一杯の水”で飲むもの？，90-91，菊谷 武，田村文誉，水上美樹 編著，月刊デンタルハイジーン別

- 冊 わかる・気づく・対応できる！診療室からはじめる口腔機能へのアプローチ, 医歯薬出版, 東京, 2016.
- 4) 菊谷 武, 水上美樹 (分担執筆): Chapter 3 いざ実践へ！診療室で口腔機能を見るためのシミュレーションをしよう, 93-101, 菊谷 武, 田村文誉, 水上美樹 編著, 月刊デンタルハイジーン別冊 わかる・気づく・対応できる！診療室からはじめる口腔機能へのアプローチ, 医歯薬出版, 東京, 2016.
 4. 田村文誉, 菊谷 武 (共著): 7 歯科が行う栄養管理, 44-52, 公益社団法人日本歯科衛生士会 監修, 歯科衛生士のための口腔機能管理マニュアル—高齢者編, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-42221-2.
 5. 1) 菊谷 武 (分担執筆): 臨床編Ⅱ 摂食・嚥下障害に対する歯科的対応 1 章 口腔領域からの摂食・嚥下障害への対応 1. 機能的補綴的対応 ②咀嚼機能・嚥下機能に着眼した補綴装置, 141, 向井美蕙, 山田好秋 編, 歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-45622-4.
 - 2) 菊谷 武 (分担執筆): 臨床編Ⅱ 摂食・嚥下障害に対する歯科的対応 1 章 口腔領域からの摂食・嚥下障害への対応 1. 機能的補綴的対応 ③PAP, PLP, 141-145, 向井美蕙, 山田好秋 編, 歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-45622-4.
 - 3) 菊谷 武 (分担執筆): 臨床編Ⅱ 摂食・嚥下障害に対する歯科的対応 1 章 口腔領域からの摂食・嚥下障害への対応 1. 機能的補綴的対応 ④Swalloid, 146, 向井美蕙, 山田好秋 編, 歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-45622-4.
 6. 菊谷 武 (共著): 実践！オーラルフレイル対応マニュアル, 平野浩彦, 飯島勝矢, 菊谷 武, 渡邊 裕, 戸原 玄 編, 平野浩彦 監修, 公益財団法人東京都福祉保健財団, 東京, 2016, ISBN : 978-4-902042-55-9.
 7. 菊谷 武 (分担執筆): 生活期 (施設) でのアプローチ, 364-365, 才藤栄一, 植田耕一郎 監修, 摂食嚥下リハビリテーション 第3版, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-44447-4.
 8. 1) 高橋賢晃, 菊谷 武 (分担執筆): 第2章—介護・入院時の制度としての対応 Q.11 口腔ケア・マネジメント (「口腔衛生管理体制加算」「口腔衛生管理加算」に基づく) について教えてください, 鴨井久和 菊谷 武 監修, 38-39, 多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50, 一世出版, 東京, 2016.
 - 2) 高橋賢晃, 菊谷 武 (分担執筆): 第2章—介護・入院時の制度としての対応 Q.12 介護保険施設における歯科的対応 (経口維持加算) について教えてください, 40-41, 鴨井久和 菊谷 武 監修, 多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50, 一世出版, 東京, 2016.
 - 3) 菊谷 武 (分担執筆): 第3章—口腔ケアにおける機能検査 Q.14 医療面接時にできる, 運動機能と口腔機能の評価 (体幹機能と構音機能) について教えてください, 46-47, 鴨井久和 菊谷 武 監修, 多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50, 一世出版, 東京, 2016.
 - 4) 菊谷 武 (分担執筆): 第3章—口腔ケアにおける機能検査 Q.15 チェアサイドで可能な嚥下機能検査について教えてください, 48-49, 鴨井久和 菊谷 武 監修, 多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50, 一世出版, 東京, 2016.
 - 5) 菊谷 武 (分担執筆): 第3章—口腔ケアにおける機能検査 Q.16 日常臨床でわかる, 頬・舌・口唇の評価法について教えてください, 50-51, 鴨井久和 菊谷 武 監修, 多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50, 一世出版, 東京, 2016.

- 6) 菊谷 武 (分担執筆) : 第4章—栄養評価と食環境指導 Q.21 嚥下障害患者に適した食形態について教えてください, 62-63, 鴨井久和 菊谷 武 監修, 多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50, 一世出版, 東京, 2016.
9. 高橋賢晃, 菊谷 武 (分担執筆) : 7 ミールラウンド—食事場面のチェックポイント ミールラウンドにおける評価ポイント, 167-172, 藤谷順子, 小城明子 編, 臨床栄養別冊 JCN セレクト 12 摂食嚥下障害の栄養食事指導マニュアル, 医歯薬出版, 東京, 2016.
10. 菊谷 武 (単著) : 「食べる」介護がまるごとわかる本, メディカ出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-8404-4154-4.
11. 菊谷 武 (分担執筆) : 常用歯科辞典, 中原 泉, 藤井一維 編集代表, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-45790-0.
12. 菊谷 武 (単著) : 図解 介護のための口腔ケア, 講談社, 東京, 2016, ISBN : 978-4-06-282413-2.
13. 菊谷 武 (分担執筆) : 第7章 高齢患者と口腔インプラント治療 1 高齢者へのインプラントの適用 1, 高齢者の特徴, 287-290, 赤川安正, 松浦正朗, 矢谷博文, 渡邊文彦 編集, よくわかる口腔インプラント学 第3版, 医歯薬出版, 東京, 2017, ISBN : 978-4-263-45800-6.
14. 菊谷 武 (共著) : 歯科衛生士講座 高齢者歯科学 第3版, 森戸光彦, 植田耕一郎, 柿木保明, 菊谷 武, 小正 裕, 佐藤裕二 編, 永末書店, 東京, 2017, ISBN : 978-4-8160-1312-6.
15. 菊谷 武, 鰐原賀子 (分担執筆) : chapter4 脳血管疾患 (脳卒中), 10-11, 生活習慣病 (NCDs) の予防・治療に役立つお口のケア, 公益財団法人 8020 推進財団, 東京, 2016.

B. 原 著

1. Tohara T, Kikutani T, Tamura F, Yoshida M, Kuboki T : Multicentered epidemiological study of factors associated with total bacterial count in the saliva of older people requiring nursing care, ©Geriatrics & Gerontology International, 2017 ; 17 : 219-225, doi : 10.1111/ggi.12695.
2. *矢島悠里, 菊谷 武, 田村文誉, 河合美佐子, 野沢与志津, 濱田美影 : 地域在住高齢者における摂取食品の変化と関連因子の検討, ○老年歯科, 2016 ; 31 (3) : 363-370. (学位論文)
3. *Shindo H, Kikutani T, Yoshida M, Yajima Y, Tamura F : Signs for identifying risk factors for aspiration pneumonia in elderly people needing nursing care, ○Medical Research Archives, 2016 ; 4 (7) : KEI-Journals, doi : <http://dx.doi.org/10.18103/mra.v4i7.754>. (学位論文)
4. *Furuya H, Tamura T, Yoshida M, Hirano H, Iijima K, Kikutani T : Tongue Muscle Mass and Strength Relate to Whole-Body Muscle in the Community-Dwelling Elderly, ○口腔リハビリ誌, 2016 ; 29 (1) : 1-8. (学位論文)
5. 戸原 雄, 菊谷 武, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田中康貴, 田村文誉 : 市販咀嚼訓練食品を用いた咀嚼能力評価, ○日摂食嚥下リハ会誌, 2017 ; 21 (1) : 3-10.
6. *Sagawa K, Kikutani T, Tamura F, Yoshida M : Factors related to skeletal muscle mass in the frail elderly, ©Odontology, 2017 ; 105 (1) : 91-95, doi : 10.1007/s10266-015-0231-4. (学位論文)
7. Mitsuoka K, Kikutani T, Sato I : Morphological relationship between the superior cervical ganglion and cervical nerves in Japanese cadaver donors, ©Brain Behav, 2016 ; 7 (2) : e00619, doi : 10.1002/brb3.619.
8. Watanabe Y, Hirano H, Arai H, Morishita S, Ohara Y, Edahiro A, Murakami M (7th), Shimada H (8th), Kikutani T (9th), Suzuki T (10th) (10 authors) : Relationship Between Frailty and Oral Function in Community-Dwelling Elderly Adults, ©J Am Geriatr Soc, 2017 ; 65 (1) : 66-76, doi : 10.1111/jgs.14355.
9. Okabe Y, Furuta M, Akifusa S, Takeuchi K, Adachi M, Kinoshita T, Kikutani T (7th), Nakamura S (8th), Yamashita Y (9th) (9 authors) : Swallowing Function and Nutritional Status in Japanese Elderly

- People Receiving Home-care Services : A 1-year Longitudinal Study, ◎J Nutr Health Aging, 2016 ; 20 (7) : 697-704, doi : 10.1007/s12603-015-0645-2.
10. Ohno T, Tamura F, Kikutani T, Morita T, Sumi Y : Change in Food Intake Status of Terminally Ill Cancer Patients during Last Two Weeks of Life : A Continuous Observation, ◎J Palliat Med, 2016 ; 19 (8) : 879-82, doi : 10.1089/jpm.2015.0495.
11. Htun NC, Ishikawa-Takata K, Kuroda A, Tanaka T, Kikutani T, Obuchi SP, Hirano H (7th), Iijima K (8th) (8 authors) : Screening for Malnutrition in Community Dwelling Older Japanese : Preliminary Development and Evaluation of the Japanese Nutritional Risk Screening Tool (NRST), ◎J Nutr Health Aging, 2016 ; 20 (2) : 114-20, doi : 10.1007/s12603-015-0555-3.

C. 総説・解説

1. 菊谷 武 : シリーズ 身近な臨床・これからの歯科医のための臨床講座 85 地域で“食べる”を支えるということ, 日本歯科医師会雑誌, 69 (4) : 43-49, 2016.
2. 水口俊介, 津賀一弘, 池邊一典, 上田貴之, 田村文誉, 永尾 寛, 古屋純一, 松尾浩一郎, 山本健, 金澤 学, 渡邊 裕, 平野浩彦, 菊谷 武, 櫻井 薫 : 高齢期における口腔機能低下—学会見解論文 2016 年度版—, 老年歯学, 31 (2) : 81-98, 2016.
3. 菊谷 武, 古屋裕康 : オーラルフレイルを知る 老年歯科学からの提言 3. 食べることの障害としてのオーラルフレイル, 日本老年医学会雑誌, 53 (4) : 341-346, 2016.
4. 菊谷 武 : 歯科診療室におけるオーラルフレイルへの対応, 老年歯学, 31 (4) : 412-416, 2017.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 菊谷 武 : 特別解説 各種補助床を有効活用するための歯科医師との連携, 歯科技工, 44 (5) : 605-609, 2016.
2. 町田麗子, 田村文誉, 児玉実穂, 高橋賢晃, 保母妃美子, 磯田友子, 元開早絵, 水上美樹, 菊谷武 : 在宅訪問における重症心身障害児の摂食機能療法の必要性, 障歯誌, 37 (1) : 61-65, 2016.
3. 菊谷 武, 須田牧夫, 関 (保母) 妃美子 : クリニカル・アドバンス PAP 臨床のヒントと舌圧測定的位置づけ, DENTAL DIAMOND, 41 (5) : 230-236, 2016.
4. 菊谷 武 : 「食べる」を支える訪問歯科 8 認知症と歯科—I 食べることや口腔ケアにこんなに影響する, 医療と介護 Next2, 2 (2) : 52-53, 2016.
5. 菊谷 武 : 「食べる」を支える訪問歯科 9 認知症と歯科—II 地域医療の最前線として早期発見も手厚いケアも, 医療と介護 Next3, 2 (3) : 50-51, 2016.
6. 菊谷 武 : 「食べる」を支える訪問歯科 10 認知症と歯科—III ステージに応じて適切な介助が必要になる, 医療と介護 Next4, 2 (4) : 56-57, 2016.
7. 菊谷 武 : 「食べる」を支える訪問歯科 11 摂食機能を正しく評価するポイント, 医療と介護 Next5, 2 (5) : 58-59, 2016.
8. 菊谷 武 : 「食べる」を支える訪問歯科 最終回 思い悩みながら「口から食べたい」を支える, 医療と介護 Next6, 2 (6) : 52-53, 2016.
9. 菊谷 武 : Part.4 特別インタビュー②誤嚥性肺炎予防と食べられる口づくりに向け歯科医師と管理栄養士が連携しよう, ヘルスケア・レストラン, 24 (5) : 24-25, 2016.
10. 菊谷 武 : 診療研究 お家に行こう! ~訪問歯科診療のススメ~ (1), 月刊保団連, 1219 : 44-47, 2016.
11. 菊谷 武 : Event report いろいろレストラン・キッズ, ヘルスケア・レストラン, 24 (7) : 86-87, 2016.

12. 菊谷 武：歯の数だけでは決まらない そしゃく障害，週刊朝日 MOOK いい歯医者 2016, 16-19, 2016.
13. 菊谷 武：特別鼎談 栄養食事指導が変わった今こそチャンス 嚥下調整食で在宅療養者への道を拓こう，ヘルスケア・レストラン，24 (8)：25-30, 2016.
14. 菊谷 武：医療界ヒット商品最前線 株式会社ジェイ・エム・エス「JMS 舌圧測定器 TPM-01」，MEDICAL QOL, 42-45, 2016.
15. 菊谷 武：歯医者さんの専門分野別 Q&A 訪問診療，本気で探す 頼りになるいい歯医者さん，114-115, 2016.
16. 菊谷 武：特集 オーラルフレイルの現状と課題 4. オーラルフレイル—要介護高齢者への評価と介入，PROGRESS IN MEDICINE, 31-35, 2016.
17. 菊谷 武：食べる力を取り戻そう，聖教新聞，12, 2016年9月21日付.
18. 菊谷 武：舌の筋トレ知ってますか？，日本経済新聞，7, 2016年10月1日付.
19. 菊谷 武：「口腔ケア」が認知症を防ぐ，週刊文春，126-128, 2016年11月17日号.
20. 菊谷 武：摂食嚥下障害，井艸恵美，酒井寛史，杉村 健，岡本直裡，加納さゆり 編，週刊朝日 MOOK 完全保存版新「名医」の最新治療 2017, 193-195, 2016.
21. 菊谷 武：舌を鍛えて「寝たきり」予防！，週刊文春，37-40, 2017年2月23日号.
22. 菊谷 武：特集 オーラルフレイル予防と健康づくり 高齢者支援におけるオーラルフレイルの位置づけ～要介護高齢者に対する食の支援～，介護福祉・健康づくり，3 (2)：91-95, 2017.
23. 菊谷 武：探る「口の周りの筋肉鍛える」，読売新聞，16, 2017年3月9日付.
24. 菊谷 武：“住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアシステムの現場から “食べる”を支える口腔リハビリテーション多摩クリニックの取り組み，DENTAL DIAMOND 1, 42 (1)：162-165, 2017.
25. 田村文誉，水上美樹，山田裕之，菊谷 武：“住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアシステムの現場から 小児の摂食外来，DENTAL DIAMOND 2, 42 (2)：2-6, 2017.
26. 佐川敬一朗，尾関麻衣子，戸原 雄，須田牧夫，菊谷 武：“住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアシステムの現場から 外来診療，DENTAL DIAMOND 3, 42 (4)：158-161, 2017.
27. 菊谷 武：多職種連携—衣食住を中心に：認知症患者さんの「食」と多職種連携— 2 認知症になったらまず歯科へ，認知症の最新医療，7 (1)：29-31, 2017.
28. 元開早絵，小川賀子，菊谷 武：在宅療養中胃瘻患者の経口摂取に対する意見の相違に関する検討—胃瘻患者，家族および担当介護支援専門員へのアンケート調査結果を通じて—，老年歯学，31 (4)：417-424, 2017.
29. 菊谷 武：たけしの健康エンターテイメント！みんなの家庭の医学，朝日放送，2016年9月25日。【テレビ出演】
30. 菊谷 武：あさいち，NHK 総合大阪，2016年10月26日。【テレビ出演】
31. 菊谷 武：中居正広のミになる図書館，テレビ朝日，2016年11月15日。【テレビ出演】
32. 菊谷 武：健康カプセル！ゲンキの時間，CBC (TBS 系列)，2017年3月12日。【テレビ出演】

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Sagawa K, Furuya H, Ohara Y, Yoshida M, Hirano H, Iijima K, Kikutani T: Tongue function is important

- for masticatory performance in the elderly people, 23rd iADH Congress in Conjunction with the SCDA 28th Annual Meeting, 2016.
2. Yajima Y, Yoshida M, Tamura F, Kikutani T : Relationship between tongue strength and life prognosis in elderly people needing at-home nursing care, 23rd iADH Congress in conjunction with the SCDA 28th Annual Meeting, 2016.
 3. Furuya H, Yajima Y, Sagawa K, Tamura F, Kikutani T : Approach to resuming oral food intake in patients receiving gastrostomy tube feeding at home, 23rd iADH Congress in Conjunction with the SCDA 28th Annual Meeting, 2016.
 4. 後藤優子, 勝部真由, 五味麻里, 戸原 雄, 五十嵐公美, 森光朋子 : 倫理的な意思決定を考える～摂食嚥下機能障害についての基礎知識とロールプレイを通して～, 日本精神看護学会第 26 回学術大会・総会プログラム・抄録集, 76, 2016.
 5. 橋本久美, 高島良代, 西脇恵子, 下嶋哲也, 須釜慎子, 水上美樹, 西澤加代子, 菊谷 武 : 特別支援学校との連携 : 3 年間の活動の経過と課題, 第 17 回日本語聴覚学会プログラム・抄録集, 17 : 235, 2016.
 6. 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武 : 当クリニックを受診した摂食嚥下障害患者における高齢者総合的機能評価, 日本老年医学会雑誌, 53 (臨時増刊号) : 95-96, 2016.
 7. 佐川敬一郎, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武 : 地域における嚥下調整食の実態調査, 老年歯学, 31 (2) : 153-154, 2016.
 8. 仲澤裕次郎, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田中祐子, 田村文誉, 菊谷 武 : 地域健康高齢者の口腔機能とフレイルとの関連について, 老年歯学, 31 (2) : 164-165, 2016.
 9. 元開早絵, 田村文誉, 菊谷 武 : 在宅療養中胃瘻患者の実態調査, 老年歯学, 31 (2) : 172-173, 2016.
 10. 白部麻樹, 平野浩彦, 小原由紀, 飯島勝矢, 菊谷 武, 本川佳子, 村上正治, 枝広あや子, 渡邊裕 : 地域在住高齢者の歯周疾患実態調査報告—口腔の状態と機能, および全身との関連—, 老年歯学, 31 (2) : 191, 2016.
 11. 森下志穂, 平野浩彦, 渡邊 裕, 枝広あや子, 小原由紀, 村上正治, 菊谷 武 : 軽度認知障害 (MCI) 高齢者の口腔機能低下に関する研究, 老年歯学, 31 (2) : 191-192, 2016.
 12. 辰野 隆, 鈴木健太郎, 宮原隆雄, 加島正浩, 田村文誉, 菊谷 武 : 口腔機能向上プログラムによる効果, 老年歯学, 31 (2) : 193-194, 2016.
 13. 高橋徳昭, 奥山秀樹, 三上隆浩, 占部秀徳, 木村年秀, 南 温, 高橋 健, 岡林志伸, 植田耕一郎, 菊谷 武, 平野浩彦 : 摂食嚥下障害を有する高齢者に対する地域支援体制の取組収集・分析に関する調査—第 1 報 個別事例調査—, 老年歯学, 31 (2) : 194, 2016.
 14. 三上隆浩, 奥山秀樹, 高橋徳昭, 占部秀徳, 木村年秀, 南 温, 高橋 健, 岡林志伸, 植田耕一郎, 菊谷 武, 平野浩彦 : 摂食嚥下障害を有する高齢者に対する地域支援体制の取組収集・分析に関する調査—第 2 報 全国アンケート調査—, 老年歯学, 31 (2) : 195, 2016.
 15. 葉山莉香, 上枝麻友, 菊谷 武, 松香芳三 : 経口摂取が可能となり, 胃瘻から脱却した一症例, 老年歯学, 31 (2) : 257-258, 2016.
 16. 関野 愉, 内山恵理, 菊谷 武, 田村文誉, 沼部幸博 : 介護老人福祉施設における口腔ケアの実際, 老年歯学, 31 (2) : 278-279, 2016.
 17. 菊谷 武 : 在宅訪問による摂食嚥下リハビリテーションにより腸瘻抜去に至った 1 例, 日本老年歯科医学術第 27 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 279, 2016.
 18. 菊谷 武 : 運動障害性咀嚼障害を伴う高齢者の食形態の決定, 日本補綴歯科学会誌, 8 (2) : 126-

- 131, 2016.
19. 田中祐子, 有友たかね, 水上美樹, 菊谷 武: 歯科訪問診療時における摂食嚥下障害患者に対する支援, 日本歯科衛生学会雑誌, 11 (1): 136, 2016.
 20. 戸原 雄, 田中康貴, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武: 市販咀嚼訓練食品を用いた咀嚼機能評価の試み, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム集, 56, 2016.
 21. 佐川敬一朗, 原 純也, 松野さおり, 田村文誉, 菊谷 武: 東京都北多摩南部医療圏における嚥下調整食の事態調査嚥下調整食の実態調査, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 86, 2016.
 22. 町田麗子, 児玉実穂, 高橋賢晃, 須釜慎子, 元開早絵, 礒田友子, 水上美樹, 田村文誉: 重症心身障害児に対する訪問摂食嚥下リハビリテーションの効果, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 98, 2016.
 23. 戸原 雄, 田中康貴, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武: 市販咀嚼訓練食品を用いた咀嚼機能評価の試み, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム集, 286, 2016.
 24. 松野さおり, 原 純也, 佐々木佳奈恵, 佐川敬一朗, 江藤美佳, 阿部久美子, 道脇幸博, 菊谷 武: 地域連携推進のための調査報告, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 346, 2016.
 25. 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武: EAT-10 を用いた地域在住高齢者における嚥下障害の実態調査, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 374, 2016.
 26. 佐川敬一朗, 原 純也, 松野さおり, 矢島悠里, 五十嵐公美, 蝦原賀子, 田村文誉, 菊谷 武: 東京都北多摩南部医療圏における嚥下調整食の実態調査, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 489, 2016.
 27. 有友たかね, 矢島悠里, 保母妃美子, 礒田友子, 佐川敬一朗, 田中祐子, 田村文誉, 菊谷 武: 口腔細菌数を指標とした口腔衛生指導が非経口摂取患者の経口摂取再開に奏功した一例, 第 23 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム集, 573, 2016.
 28. 町田麗子, 児玉実穂, 高橋賢晃, 須釜慎子, 元開早絵, 礒田友子, 水上美樹, 田村文誉: 重症心身障害児に対する訪問摂食嚥下リハビリテーションの効果, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 613, 2016.
 29. 川名弘剛, 高橋賢晃, 田村文誉, 菊谷 武: 精神疾患を有する咽頭・喉頭ジストニアにおける摂食嚥下機能障害の 1 症例, 障歯誌, 37 (3): 53, 2016.
 30. 礒田友子, 水上美樹, 田村文誉, 菊谷 武: ネマリンミオパチーの高口蓋に対する舌接触補助床の装着が有効であった一症例, 障歯誌, 37 (3): 339, 2016.
 31. 戸原 雄, 菊谷 武, 五十嵐公美: 摂食嚥下専門クリニックにおける ICT (Medical Care Station) を用いた多職種連携, 第 30 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, 41, 2016.
 32. 西澤加代子, 水上美樹, 須釜慎子, 高島良代, 橋本久美, 田村文誉, 菊谷 武: 知的障害特別支援学校における教育支援員指導のかかわり—第 1 報 歯科における 4 年間の指導について—, 第 80 回全国学校歯科保健研究大会大会要項, 53, 2016.
 33. 水上美樹, 西澤加代子, 須釜慎子, 高島良代, 橋本久美, 田村文誉, 菊谷 武: 知的障害特別支援学校における教育支援員指導のかかわり—第 2 報 初回摂食指導評価における実態—, 第 80 回全国学校歯科保健研究大会大会要項, 54, 2016.
 34. 大原寛之, 東口高志, 菊谷 武, 丸山道生, 葛谷雅文, 松岡政三, 真田弘美, 鎌倉やよい, 伊藤

- 彰博, 森 直治:「ワイプとひとくち栄養法」による誤嚥性肺炎予防の効果—日本医療開発機構科学研究費補助金事業より—, 第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 382, 2017.
35. 佐川敬一朗, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武:地域における嚥下調整食の実態調査および嚥下調整食支援ホームページの作成に関する報告, 第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 426, 2017.
36. 戸原 雄, 菊谷 武, 田村文誉, 五十嵐公美, 尾関麻衣子:在宅高齢者の安全な経口摂取を支えるための ICT を用いた多職種連携の有効性の検討, 第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 759, 2017.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 菊谷 武:地域で食べるを支えるということ～在宅で食べ続けるためにできる支援～, 第 10 回日本緩和医療学会年会, シンポジウム 17-3, 静岡県浜松市, 2016 年 6 月 5 日.
2. 菊谷 武:2. 口腔ケアを重視する, 第 58 回日本老年医学会学術集会, 高齢者のディベートセッション 9 くり返す高齢者の誤嚥性肺炎:予防のエビデンス, 石川県金沢市, 2016 年 6 月 10 日.
3. 菊谷 武:新しい咀嚼機能評価法と食形態の決定, 第 17 回日本言語聴覚学会, ランチョンセミナー 5, 京都府京都市, 2016 年 6 月 11 日.
4. 菊谷 武:歯科診療室からオーラルフレイルを考える, 日本老年歯科医学会第 27 回学術大会, シンポジウム 1, 徳島県徳島市, 2016 年 6 月 18 日.
5. 菅 武雄, 米山武義, 菊谷 武, 吉田光由, 渡邊 裕, 渡部芳彦, 花形哲夫, 猪原 光, 星野由美, 飯田良平:口腔管理の実際 2～口腔咽頭吸引の理論と実際～, 日本老年歯科医学会第 27 回学術大会, ハンズオンセミナー 2, 徳島県徳島市, 2016 年 6 月 19 日.
6. 菊谷 武:歯科医療として挑むオーラルフレイル, 第 11 回日本口腔ケア協会学術大会, 特別講演 1, 新潟県新潟市, 2016 年 8 月 21 日.
7. 菊谷 武:在宅訪問管理栄養士の現状と今後の期待について(歯科), 第 63 回日本栄養士改善学会学術総会, ワークショップ⑤, 青森県青森市, 2016 年 9 月 8 日.
8. 菊谷 武:口腔リハビリテーションについて, 2016 年 IDI 歯科学会, 特別講演 2, 東京都文京区, 2016 年 9 月 11 日.
9. 菊谷 武:住み慣れた地域で暮らし続けるために一食の支援からみた取り組み—, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, ランチョンセミナー 1, 新潟県新潟市, 2016 年 9 月 23 日.
10. 菊谷 武:新しい咀嚼機能法と食形態の決定, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, ランチョンセミナー 6, 新潟県新潟市, 2016 年 9 月 24 日.
11. 菊谷 武:スマイルケア食, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, シンポジウム 4, 新潟県新潟市, 2016 年 9 月 24 日.
12. 菊谷 武:認知症と歯科—認知症になったらすること, 認知症になる前にすること—, 第 33 回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 市民公開講座, 埼玉県さいたま市, 2016 年 10 月 2 日.
13. 菊谷 武:お家に行こう!—いま求められる, 食支援—, 第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会, 歯科衛生士シンポジウム, 新潟県新潟市, 2016 年 10 月 8 日.
14. 菊谷 武:地域で「食べる」を支えるということ, 第 23 回日本歯科医学会総会, シンポジウム 10, 福岡県福岡市, 2016 年 10 月 23 日.
15. 菊谷 武:地域で“食べる”を支えるということ, 第 61 回日本口腔外科学会, 教育講演 3, 千葉

県千葉市，2016年11月27日。

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 磯田友子：肢体不自由児の摂食指導，平成28年度東京都立八王子東特別支援学校新転任者研修会，東京都八王子市，2016年4月6日。
2. 菊谷 武：食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか，2016コサカ臨床医様向けセミナー<日本歯科医師会生涯研修事業認定研修会>，東京都練馬区（2016年4月21日），第25回ライオンNew Yearセミナー，大阪府大阪市（2016年4月24日），金沢歯科医師会学術講演会，石川県金沢市（2016年7月24日），日本口腔インプラント学会認定講習会研修会，東京都港区（2016年9月1日），第69回栃木県歯科医師学会，栃木県宇都宮市（2016年11月3日），沖縄県歯科医師会平成28年度歯科医療従事者技術向上支援研修会，沖縄県中頭郡（2017年2月26日）。
3. 田村文誉：「経管栄養時に家庭でできる摂食訓練～摂食指導リーフレットの活用法～」間接訓練，東京療育ネット摂食指導講習会，東京都国分寺市，2016年4月23日。
4. 菊谷 武：食べることに問題のある患者に歯科はなにができるのか，第25回ライオンNew Yearセミナー，大阪府大阪市，2016年4月24日。
5. 菊谷 武：食べることが困難になった高齢者に歯科は何ができるのか？，一般社団法人日本老年歯科医学会奈良支部共催セミナー「第3回在宅療養支援歯科診療所の施設基準講習会」，奈良県奈良市，2016年5月8日。
6. 菊谷 武：咀嚼機能が支える高齢長寿社会，第4回日本老年医学会プレスセミナー，東京都千代田区，2016年5月9日。
7. 菊谷 武：低栄養の評価と歯科医療，高輪会訪問部門歯科医師・歯科衛生士対象勉強会，東京都品川区，2016年5月26日。
8. 菊谷 武：嚥下食における地域連携，第3回東京都栄養士会，東京都世田谷区，2016年5月28日。
9. 磯田友子：食べる機能の発達，平成28年度東京都立小平特別支援学校全校研修会，東京都小平市，2016年5月31日。
10. 菊谷 武：「食べること」を支える，三鷹市医師会地域ケア会議，東京都三鷹市，2016年6月13日。
11. 菊谷 武：地域連携における食支援の必要性，品川・大田医療福祉栄養士の会講演会，東京都大田区，2016年6月21日。
12. 菊谷 武：ケースプレゼンテーションの進め方，東京都立心身障害者口腔保健センター評価医養成研修，東京都新宿区，2016年6月23日。
13. 菊谷 武：口から食べる，口のお手入れの重要性，多摩府中給食施設協議会フード展示会&市民公開講座，東京都調布市，2016年6月24日。
14. 菊谷 武：咀嚼嚥下の理解と食べる機能を引き出す栄養食事指導のポイント，ヘルスケア・レストラン特別セミナー，東京都新宿区（2016年6月25日），福岡県福岡市（2016年6月27日），大阪府大阪市（2016年7月23日）。
15. 菊谷 武：お家に行こう！～お家に行って行う事，お家に行く前に行う事～，2016モリタ友の会クリニックカルチャー講演会，東京都千代田区（2016年6月26日），平成28年度新潟県歯科医学会，新潟県新潟市（2016年11月6日）
16. 菊谷 武：地域における摂食支援～嚥下調整食連携の必要性～，さっぽろNST講演会，北海道札幌市，2016年6月26日。

17. 菊谷 武：食べ続けるために、宮城県大崎歯科医師会食をサポートするみなさまと共に「食べる」を考える講演会，宮城県大崎市，2016年7月3日。
18. 菊谷 武：美味しい食事のための「食べる」介護～食事の困った！にお答えします～，船橋市市民講演会，千葉県船橋市，2016年7月15日。
19. 菊谷 武：摂食・嚥下障害と栄養ケア，公益社団法人埼玉県栄養士会第1回生涯教育研修会，埼玉県さいたま市，2016年7月16日。
20. 菊谷 武：認知症と歯科～認知症になる前にすること，認知症になってからすること～，船橋市歯と口の健康に関する市民講演会，千葉県船橋市（2016年8月6日），石川県口腔インプラント研究会市民公開講座，石川県金沢市（2016年10月16日），東京都滝乃川歯科医師会口腔ケアサポートセミナー，東京都北区（2016年10月26日），小金井市市民公開講座，東京都小金井市（2016年11月3日），小平市市民公開講座，東京都小平市（2016年11月7日），平成28年度公益社団法人東京都八南歯科医師会八王子支部講演会，東京都八王子市（2017年1月8日，2017年3月18日）。
21. 菊谷 武：嚥下食における地域での食支援，東京都委託事業栄養指導従事者教育事業，東京都新宿区，2016年8月19日。
22. 菊谷 武：地域で食べるを支えるということ，日本精神医学会認定栄養士研修会，東京都港区（2016年8月22日），小笠掛川歯科医師会主催平成28年度多職種連携口腔機能研修会，静岡県掛川市（2016年9月10日），八尾市歯科医師会市民公開講座，大阪府八尾市（2017年2月4日）。
23. 菊谷 武：摂食嚥下障害摂食嚥下障害者への口腔管理と制度の理解，公益社団法人日本歯科衛生士会平成28年度認定歯科衛生士セミナー，東京都千代田区，2016年8月27日。
24. 菊谷 武：地域で食べるを支えるー歯科医院で取り組む対オーラルフレイル戦略ー，全国在宅療養支援歯科診療所連絡会，東京都文京区，2016年8月28日。
25. 菊谷 武：在宅訪問管理栄養士の現状と今後の期待について（歯科），第63回日本栄養改善学会学術総会，青森県青森市，2016年9月8日。
26. 菊谷 武：いつまでも口からおいしく食べるために，調布市歯科医師会主催介護予防講演会，東京都調布市，2016年9月9日。
27. 菊谷 武：お家へ行こう！ー地域における食支援，歯科医療情報推進機構学会，東京都文京区，2016年9月11日。
28. 菊谷 武：在宅における摂食嚥下障害への対応，北区歯科医師会 平成28年度北区摂食嚥下機能支援評価要請研修会，東京都北区，2016年9月25日。
29. 菊谷 武：認知症と歯科保健，町田市歯科保健研修会，東京都町田市，2016年9月26日。
30. 菊谷 武：地域で「食べる」を支えるということー地域における食支援連携の必要性ー，第146回実践栄養指導勉強会，東京都東村山市，2016年9月27日。
31. 菊谷 武：地域で行う食支援，フードシステムソリューション（F-SYS）2016病院・施設セミナー，東京都江東区，2016年9月28日。
32. 菊谷 武：摂食嚥下機能低下患者に対する栄養食事指導，平成28年度福祉保健局・病院経営本部専門性向上研修職種職務専門研修，東京都文京区，2016年9月30日。
33. 菊谷 武：認知症の人の食べるを支援する，関西看護ケア研究会，東京都大田区，2016年10月8日。
34. 菊谷 武：病態別摂食嚥下障害，平成28年度認定歯科衛生士セミナー摂食嚥下リハビリテーションコース，東京都千代田区，2016年10月9日。
35. 菊谷 武：オーラルフレイルを知り，多職種・住民に何を伝えるか，静岡県浜松市歯科医師会地

- 域歯科保健推進研修会，静岡県浜松市，2016年10月11日。
36. 磯田友子：咬まない・詰め込む，指しゃぶりなどへのアドバイス，「子どもの食べる機能を育てよう」，平成28年度国分寺市健康講座，東京都国分寺市，2016年10月13日。
 37. 菊谷 武：食べることで生きる力を与えたい～口腔ケア最前線，熊本県栄養士会 平成28年度秋季研修会，熊本県，2016年10月15日。
 38. 菊谷 武：認知症の摂食嚥下リハビリテーション，昭和大学スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門研究生研修会，東京都品川区，2016年10月20日。
 39. 菊谷 武：オーラルフレイルとは，小金井市委託事業，東京都小金井市，2016年10月25日。
 40. 菊谷 武：お家に行こう！—お家に行って行う事，お家に行く前に行う事—，平成28年度新潟県歯科医学会，新潟県新潟市，2016年11月6日。
 41. 菊谷 武：摂食嚥下について，NST研究会，東京都日野市，2016年11月6日。
 42. 菊谷 武：食形態連携の必要性，東京都多摩府中保健所 平成28年度摂食嚥下機能支援基盤整備事業摂食嚥下機能支援研修会，東京都府中市，2016年11月8日。
 43. 菊谷 武：「地域で“食べる”を支えるということ」～食形態連携による地域での取り組み～，第61回日本病院会東京支部栄養部会研究会，東京都港区，2016年11月8日。
 44. 菊谷 武：いつまでもおいしく食べられるために—いまできること，これからすること—，8020健康社会フォーラム2016，青森県青森市，2016年11月13日。
 45. 菊谷 武：嚥下専門医による食べる機能に関する相談，府中市摂食嚥下専門相談，東京都府中市，2016年11月17日。
 46. 菊谷 武：咀嚼機能評価から考える栄養管理，第7回「摂食・嚥下リハビリテーションと栄養ケアセミナー」，東京都品川区，2016年11月19日。
 47. 菊谷 武：介護予防事業の現状と課題，平成28年度第2回東京都介護予防推進会議，東京都板橋区，2016年11月21日。
 48. 菊谷 武：認知症と歯科，世田谷区歯科医師会会員向け講演会，東京都世田谷区，2016年11月22日。
 49. 菊谷 武：口腔ケア，平成28年度回復期リハビリテーション看護師認定コース第10期，東京都港区，2016年11月24日。
 50. 菊谷 武：摂食嚥下機能低下への介入，公益社団法人東京都栄養士会医療事業部 平成28年臨床栄養1日セミナー，東京都文京区，2016年11月26日。
 51. 菊谷 武：知らないではすまされない食支援の基礎知識，長野県歯科衛生士会第4回専門的口腔ケア研修会，長野県佐久市，2016年11月27日。
 52. 菊谷 武：「スマイルケア食」の現状と課題について，平成28年度地場食材活用栄養改善事業「スマイルケア食の普及・推進研修会」，東京都中央区，2016年11月30日。
 53. 菊谷 武：認知症の人の「食べる」を支援する，看護ケア研究会看護実践セミナー，東京都大田区，2016年12月3日。
 54. 菊谷 武：口腔機能向上・ケア研修ステップアップ講座，社会福祉法人品川区社会福祉協議会平成28年度品川福祉カレッジ，東京都品川区，2016年12月6日。
 55. 菊谷 武：地域で考える摂食嚥下機能支援シンポジウムシンポジスト専門クリニックの取り組み，平成28年度北多摩南部保健医療圏摂食嚥下機能支援連絡会シンポジウム，東京都武蔵野市，2016年12月8日。
 56. 菊谷 武：オーラルフレイル～その概念と歯科診療室での対応～，長野県歯科医師会有病者歯科保健推進研修事業，長野県長野市，2016年12月15日。

57. 菊谷 武：訪問歯科ガイダンス (5)「オーラルフレイル」について，兵庫県歯科医師会在宅歯科診療研修会，兵庫県神戸市，2016年12月18日。
58. 菊谷 武：おいしく安全に食べる，小金井市ヘルパー・介護職員向け研修会，東京都小金井市，2016年12月19日。
59. 菊谷 武：乳幼児の口腔の発達，高輪会訪問部門歯科医師・歯科衛生士対象勉強会，東京都品川区，2017年1月15日。
60. 菊谷 武：事例検討会まとめ，平成28年度北区摂食嚥下機能支援評価要請研修会，東京都北区，2017年1月17日。
61. 菊谷 武：摂食えん下障害患者に対する栄養指導，特別区職員研修所 平成28年度専門研修「栄養士」，東京都千代田区，2017年1月20日。
62. 菊谷 武：歯科診療室からオーラルフレイルを考える，香川デンタルスタディクラブ一日例会，香川県 (2017年1月22日)，TRAD デンタルフェア2017，神奈川県横浜市 (2017年2月11日)。
63. 菊谷 武：見る目を養う食べる機能の評価と対応法～多職種が連携した支援～，平成28年度愛知県瀬戸保健所歯科口腔保健推進研修会，愛知県瀬戸市，2017年1月26日。
64. 菊谷 武：オーラルフレイルを知り，多職種住民に何を伝えるか，静岡県歯科医師会地域歯科保健推進研修会，静岡県浜松市，(2017年1月26日，3月12日)。
65. 須田牧夫：第2回認知症高齢者の摂食嚥下障害に対する方策とは～現場で活かせる手技について～，平成28年高齢者における口腔リハビリテーションセミナーNPO 法人アイケア・ネット，北海道札幌市，2017年1月29日。
66. 菊谷 武：地域連携における摂食嚥下支援と誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアについて，平成28年度食生活・口腔ケア支援者研修，神奈川県鎌倉市，2017年2月2日。
67. 菊谷 武：地域で“食べる”を支えるということ，八尾市歯科医師会市民公開講座，大阪府八尾市，2017年2月4日。
68. 菊谷 武：「介護と歯科医療」「食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか」，厚生労働省後援歯科技工士生涯研修，東京都千代田区，2017年2月5日。
69. 菊谷 武：お家に行こう！～訪問診療へ行く前にすること，訪問診療に行ってからすること～，平成28年度第2回伊勢地区歯科医師会学術講演会，三重県伊勢市，2017年2月12日。
70. 菊谷 武：摂食嚥下機能に合わせた食形態の提案～地域における食支援を通して～，八王子集団給食協議会講演会，東京都八王子市，2017年2月13日。
71. 菊谷 武：オーラルフレイルって知ってますか？～歯科医療が挑むオーラルフレイル対策～，東久留米市三師会西東京市三師会共催三師会会員向け講演会，東京都東久留米市 (2017年2月15日)，栃木県下都賀歯科医師会栃木歯学研究会，東京都小金井市 (2017年3月9日)。
72. 菊谷 武：住み慣れた地域で暮らし続けるために～食の支援から見た取り組み～，東京都南多摩保健所平成28年度課題別地域保健医療推進プラン研修会，東京都多摩市 (2017年2月16日)，八王子市摂食・嚥下機能支援研修会，東京都八王子市 (2017年2月17日)，平成28年度多摩摂食支援歯科ネット第5回研修会，東京都小金井市 (2017年3月2日)。
73. 菊谷 武：住み慣れた地域で暮らし続けるために～食の支援から見た取り組み～，八王子市摂食・嚥下機能支援研修会，東京都八王子市，2017年2月17日。
74. 菊谷 武：口腔サルコペニアと PAP/PLP を用いた摂食嚥下機能改善について，福井県歯科医師会学術講演会，福井県福井市，2017年2月19日。
75. 菊谷 武：食べることの問題に対して歯科は何ができるのか？，沖縄県歯科医師会 平成28年度歯科医療従事者技術向上支援研修会，沖縄県中頭郡，2017年2月26日。

76. 菊谷 武：オーラルフレイルって知ってます？，岡崎げんき館市民会議市民フォーラム 2017，愛知県岡崎市，2017年3月4日。
77. 菊谷 武：地域で“食べる”を支えるということ～専門職が果たす役割，北海道医療大学障害学習事業同窓会コラボ☆講演会，北海道札幌市，2017年3月11日。
78. 菊谷 武：「オーラルフレイルを知り，多職種・住民に何を伝えるか」，静岡県浜松市歯科医師会地域歯科保健推進研修会，静岡県浜松市，2017年3月12日。
79. 菊谷 武：摂食・嚥下困難がある高齢者の『食べること』を支えるために，平成28年度歯及び口腔の健康づくり推進研修，神奈川県鎌倉市，2017年3月23日。
80. 菊谷 武：長寿の鍵は口にあり～オーラルフレイルってしってますか？，西東京市歯科医師会講演会，東京都西東京市，2017年3月24日。
81. 菊谷 武：医療「口腔リハビリテーション」，一般社団法人日本介護支援専門員協会 平成28年度会員レベルアップ研修会，東京都千代田区，2017年3月25日。
82. 菊谷 武：嚥下調整食の分類と課題，第21回東海嚥下食研究会，愛知県名古屋市，2017年3月26日。
83. 菊谷 武：歯科的アプローチの実際，第160回国治研セミナー嚥下障害基礎・入門編，神奈川県横浜市，2017年3月26日。

● NDU 生命科学講座 Department of NDU life sciences

1. 所属構成員等

准 教 授 大山 晃弘

助 教 豊村 順子

客員教授等 石川 博, 栗原 邦弘, 渡邊 美隆,

Kallapat Tansriratanawong (4月～3月)

非常勤講師 深澤見奈子, 畑 未有希

大学院生 渡邊 美穂 (新潟生命歯学部顎口腔全身関連治療学講座から再派遣)

2. 研究テーマ

- 1) 歯・歯周組織—複合体の再生メカニズムの解明 Cell and molecular biology of tooth / periodontal development and regeneration.
- 2) ヒト脂肪組織幹細胞の培養上清を用いた様々な疾病の治癒 Treatment of various diseases by conditioned medium of human adipose derived stem cells.
- 3) ヒト脂肪組織幹細胞, 歯髄細胞, 歯肉間葉系幹細胞を用いた骨再生 Bone regeneration from human adipose derived stem cells, dental pulp stem cells or gingival mesenchymal stem cells.
- 4) 脱分化脂肪細胞を用いたエピジェネティクス研究 Epigenetics of DFAT (de-differentiated fat) cell.
- 5) リンパ球細胞株の液性因子の腫瘍細胞への増殖抑制の検討 Growth inhibition of cancer cell by liquid factor of lymphocyte.
- 6) ヒト頬脂肪体幹細胞, 歯髄細胞, 歯肉間葉系幹細胞を細胞源とした唾液腺再生療法に関する検討 Regeneration medicine of salivary gland by adipose tissue stem cells from human buccal fat pad, dental pulp stem cells or gingival mesenchymal stem cells.
- 7) ヒト癌組織からの細胞株の樹立と抗癌剤感受性の研究 Establishment and characterization of cell lines derived from human cancer tissue, and research of anticancer drug sensitivity.
- 8) ポータブル型バイオ人工腎臓の開発 Development of a portable type bioartificial kidney.
- 9) 水頭症発症メカニズムの解明 Elucidation of the mechanism of hydrocephaly.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 日本ヒト細胞学会学術集会優秀演題賞, 高橋 悠, 2016年7月17日, ヒト頬脂肪体由来幹細胞より分化誘導した神経系細胞移植によるパーキンソン病治療.
- 2) 特許出願
 1. 学校法人日本歯科大学: 八重垣健, 石川 博, 平成28年6月13日, 出願番号2016-117367, 肝臓組織再生用組成物.
 2. 学校法人日本歯科大学: 八重垣健, 石川 博, 平成28年6月13日, 出願番号2016-117362, 非アルコール性脂肪性肝疾患の非ヒトモデル動物.
- 3) 外部共同研究
 1. 日立株式会社: 還流培養法, 歯の再生に関する共同研究.
 2. ハイデルベルグ大学 (ドイツ): ポータブル型バイオ人工腎臓の開発.
 3. Max Planck Institute (ドイツ): ポータブル型バイオ人工腎臓の開発.

4. 日本赤十字社：iPS 細胞を用いた輸血用血小板作製の実用化の研究.
5. 筑波大学附属病院歯科口腔外科：幹細胞による末梢神経再生.

4) 委員・役員など

1. 石川 博：日本ヒト細胞学会理事
2. 石川 博：医療法人社団天翁会監事
3. 石川 博：日本赤十字社管理医師
4. 石川 博：日本歯科大学特定認定再生医療等委員会（認定番号：NA8150007）委員
5. 大山晃弘：日本ヒト細胞学会評議員
6. 大山晃弘：日本歯科大学特定認定再生医療等委員会（認定番号：NA8150007）委員

5) メディア紹介記事

1. 石川 博, 大山晃弘, 豊村順子, 中原 貴：日本歯科大学・セントラルクリニック歯髄細胞バンクニュースレター, 1, 2017.
2. 石川 博, 大山晃弘, 豊村順子, 中原 貴：「歯髄や臍帯血 個人保管の現状は 再生医療の将来に期待, じわり増加」, 苫小牧日報, 2017年2月22日.
3. 石川 博, 大山晃弘, 豊村順子, 中原 貴：「歯髄や臍帯血 個人保管の現状は 再生医療の将来に期待, じわり増加」, 島根日日新聞, 2017年2月25日.
4. 石川 博, 大山晃弘, 豊村順子, 中原 貴：「再生医療の将来に期待 歯髄や臍帯血 増える個人用保管」, 東愛知新聞, 2017年2月27日.
5. 石川 博, 大山晃弘, 豊村順子, 中原 貴：「歯髄 再生医療へ個人向け保管進む」, 京都新聞, 2017年3月7日.
6. 石川 博, 大山晃弘, 豊村順子, 中原 貴：「歯髄の個人保管, じわり増加 再生医療の将来に期待」, 山口新聞, 2017年3月10日.

6) 細胞株樹立

1. 理研細胞バンクに SDR-P-1D5 clonal strain を寄託登録 (RCB3600). SDR-P-1D5 clonal strain は, GH 単独欠損ラットの下垂体から樹立したプロラクチン産生細胞株. Virus を導入せずに正常細胞から樹立した下垂体ホルモン産生株として世界初.

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成金, 若手研究 (B) (継続), 平成 26~28 年度, 臨床入手可能な細胞を用いた体外培養下における歯・歯周組織ユニットの再生, 豊村順子 (代表),

4,030,000 円, 平成 28 年度 650,000 円.

- 2) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B) (継続), 平成 27~29 年度, がん化リスクのない多能性幹細胞の医療応用~新規培養法によるバイオエナメル創製の創製~, 中原 貴 (代表), 井出吉昭, 石川 博, 橋本尚詞, 立花利公, 富永徳子 (分担), 17,160,000 円, 平成 28 年度 5,460,000 円.
- 3) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 27~29 年度, 放射線歯根形成障害メカニズム解明の基盤研究~新たな知見を創設可能な実験システム~, 井出吉昭 (代表), 中原 貴, 那須優則, 石川 博, 大山晃弘, 豊村順子 (分担), 4,810,000 円, 平成 28 年度 1,300,000 円.
- 4) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成金, 挑戦的萌芽研究 (新規), 平成 27~28 年度, ヌードラット末梢神経損傷に対するヒト歯髄幹細胞の神経再生効果, 武川寛樹 (代表), 石川 博 (分担), 3,510,000 円, 平成 28 年度 2,080,000 円.

8. 研究業績

A. 著書

記載事項なし

B. 原著

1. Ohyama A, Toyomura J, Tachibana T, Isonishi S, Takahashi H, Ishikawa H : Establishment and characterization of a clear cell carcinoma cell line, designated NOCC, derived from human ovary, ◎☆Hum Cell, 2016 ; 29 (4) : 188-96, doi : 10.1007/s13577-016-0142-x.
2. Kawakami M, Ishikawa H, Tanaka A, Mataga I : Induction and differentiation of adipose-derived stem cells from human buccal fat pads into salivary gland cells, ◎☆Hum Cell, 2016 ; 29 (3) : 101-10, doi : 10.1007/s13577-016-0132-z.
3. Takahashi H, Ishikawa H, Tanaka A : Regenerative medicine for Parkinson's disease using differentiated nerve cells derived from human buccal fat pad stem cells, ◎☆Hum Cell, 2017 ; 30 (2) : 60-71, doi : 10.1007/s13577-017-0160-3.
4. Reuss B, Asif AR, Almamy A, Schwerk C, Schrotten H, Ishikawa H, Drummer C, Behr R : Antisera against Neisseria gonorrhoeae cross-react with specific brain proteins of the common marmoset monkey and other nonhuman primate species, ◎☆Brain Res, 2016; 1653:23-38, doi: 10.1016/j.brainres.2016.10.012.
5. Dahm T, Frank F, Adams O, Lindner HA, Ishikawa H, Weiss C, Schwerk C, Schrotten H, Tenenbaum T, Rudolph H : Sequential transmigration of polymorphonuclear cells and naive CD3+ T lymphocytes across the blood-cerebrospinal-fluid barrier in vitro following infection with Echovirus 30, ◎☆Virus Research, 2017 ; 232 : 54-62, doi : 10.1016/j.virusres.2017.01.024.
6. Dinner S, Borkowski J, Stump-Guthier C, Ishikawa H, Tenenbaum T, Schrotten H, et al. : A Choroid Plexus Epithelial Cell-based Model of the Human Blood-Cerebrospinal Fluid Barrier to Study Bacterial Infection from the Basolateral Side, ◎☆J Vis Exp, 2016 ; 111, e54061, doi : 10.3791/54061.
7. Dinner S, Kaltschmidt J, Stump-Guthier C, Hetjens S, Ishikawa H, Tenenbaum T, Schrotten H, Schwerk C : Mitogen-activated protein kinases are required for effective infection of human choroid plexus epithelial cells by *Listeria monocytogenes*, ◎☆Microbes Infect, 2017 ; 19 (1) : 18-33, doi : 10.1016/j.micinf.2016.09.003.
8. de Buhr N, Reuner F, Neumann A, Stump-Guthier C, Tenenbaum T, Schrotten H, Ishikawa H, Muller

K, Beineke A, Hennig-Pauka I, Gutschmann T, Valentin-Weigand P, Baums CG, von Kockritz-Blickwede M : Neutrophil extracellular trap formation in the Streptococcus suis-infected cerebrospinal fluid compartment, ◎☆Cell Microbiol, 2017 ; 19 (2), e12649, doi : 10.1111/cmi.12649.

C. 総説・解説

1. 石川 博：歯科からみる再生医療の未来 本学で行われている再生医療のための基礎実験～細胞移植をしない新しい再生医療の試み～, 日本歯科大学校友会・歯学会会報, 41 (4) : 4-8, 2016.

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

記載事項なし

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 渡邊美穂, 大山晃弘, 石川 博, 田中 彰：ヒト歯髄幹細胞を用いた *in vitro* における微細血管網を含む緻密骨および海綿骨の再生, 日本口腔外科学会雑誌, 62 : 250, 2016.
2. 鈴木見奈子, 川上未有希, 大山晃弘, 中原 貴, 石川 博, 田中 彰：セロトニンを取り込む細胞株を用いた抗腫瘍効果促進のための新規治療法の開発, 日本口腔外科学会雑誌, 62 : 280, 2016.
3. 富永徳子, 豊村順子, 石川 博, 中原 貴：ミニブタ胎仔の乳臼歯歯冠由来エナメル芽細胞株におけるグリコーゲンの解析, 日本口腔外科学会雑誌, 62 : 289, 2016.
4. 大山晃弘, 豊村順子, 渡邊美穂, 田中 彰, 石川 博：歯髄幹細胞から培養下に作る再生骨の移植時期, 特に VEGF と HIF-1 α との関連, 日本口腔外科学会雑誌, 62 : 292, 2016.
5. 高橋 悠, 大山晃弘, 川上未有希, 石川 博, 中原 貴, 田中 彰：ヒト歯肉頬粘膜癌由来扁平上皮癌細胞株 NOCS-1 および移植癌由来細胞株 NOCS-1-xg の樹立, 日本口腔外科学会雑誌, 62 : 324, 2016.
6. 高橋 悠, 大山晃弘, 畑 - 川上未有希, 豊村順子, 石川 博, 田中 彰：外胚葉性間葉であるヒト頬脂肪体幹細胞から誘導分化させた神経系細胞によるパーキンソン病治療, 再生医療, 16 (suppl) : 437, 2017.
7. 渡邊美穂, 大山晃弘, 豊村順子, 石川 博, 田中 彰：ヒト歯髄細胞を用いた神経および微細血管網を含む 3 次元骨組織形成, 再生医療, 16 (suppl) : 414, 2017.

G. 講演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. Ishikawa M, Toyomura J, Taguchi Y, Tachibana T, Nakata T, Toyoshima Y, Minami S : Role of Growth Hormone to Maintain Islet Structure through Aging By Suppression of ER Stress, ENDO Annual Meeting, Boston, MA, 2016 年 4 月 1 日.
2. 石川 博：歯科から発信する再生医療, 静岡県校友会学術フォーラム, 静岡, 2016 年 5 月 28 日.
3. 大山晃弘, 豊村順子, 渡邊美穂, 深澤見奈子, 村上仁美, Kallapat Tansriratanawong, 中原 貴, 石

- 川 博:骨髄幹細胞を神経系細胞,骨細胞,軟骨細胞に分化誘導する際に産生される HIF-1 α と VEGF の経時的变化,平成 28 年度日本歯科大学歯学会大会・総会,日本歯科大学,東京,2016 年 6 月 4 日.
4. 中原 貴,富永徳子,豊村順子,立花利公,井出吉昭,石川 博:ミニブタ胎仔乳臼歯由来の胎生期エナメル芽細胞株の分離と同定,平成 28 年度日本歯科大学歯学会大会・総会,日本歯科大学,東京,2016 年 6 月 4 日.
 5. 中原 貴,豊村順子,大山晃弘,石川 博:日本歯科大学・セントラルクリニック歯髄細胞バンクの現状と将来展望 2016,平成 28 年度日本歯科大学歯学会大会・総会,日本歯科大学,東京,2016 年 6 月 4 日.
 6. 高橋 悠,大山晃弘,豊村順子,畑一川上未有希,石川 博,田中 彰:ヒト頬脂肪体由来幹細胞より分化誘導した神経系細胞移植によるパーキンソン病治療,第 34 回日本ヒト細胞学会学術集会,東大寺総合文化センター,奈良,2016 年 7 月 17 日.
 7. Kallapat Tansriratanawong,石川 博,佐藤 聡:ヒトの歯根膜細胞から得られた新しい上皮様細胞株の樹立と同定,第 34 回日本ヒト細胞学会学術集会,東大寺総合文化センター,奈良,2016 年 7 月 17 日.
 8. Kallapat Tansriratanawong,石川 博,中原 貴,Kanet Wongravee:歯周組織再生に向けてナノサイズの粒子状に合成した beta-CaHA,第 34 回日本ヒト細胞学会学術集会,東大寺総合文化センター,奈良,2016 年 7 月 17 日.
 9. 大山晃弘,豊村順子,渡邊美穂,石川 博:低酸素下と通常酸素下でヒト歯髄幹細胞を神経,骨,軟骨に分化誘導する際の HIF-1 α と VEGF の産生パターンの比較,第 34 回日本ヒト細胞学会学術集会,東大寺総合文化センター,奈良,2016 年 7 月 17 日.
 10. Yaegaki K, Ishikawa H: Regenerated liver tissues derived from human tooth treat swine liver failure induced by progressive nonalcoholic fatty liver disease, 5th International Conference on Tissue Engineering & Regenerative Medicine, Berlin, Germany, September 12-14, 2016.
 11. 栗原邦弘,佐々木優至,渡辺美隆:脂肪細胞(幹)培養による再生医療 基礎研究および臨床応用,第 25 回形成外科学会基礎学術集会,ナレッジキャピタル コングレ・コンベンションセンター,大阪,2016 年 9 月 16 日.
 12. 栗原邦弘,佐々木優至,渡辺美隆,石川 博:多能性をもつ adipo-cytokine による再生医療の可能性,第 133 回成医会総会,東京慈恵会医科大学,東京,2016 年 10 月 6 日.
 13. Yaegaki K, Ishikawa H: Liver tissues regenerated from human tooth treats liver failure caused by NAFLD in swine, EMBO/EMBL Symposium Organoids modeling organ development and disease in 3D culture, EMBL Advanced Training Center, Heidelberg, Germany, October 12-15, 2016.
 14. Yaegaki K, Ishikawa H: Regenerated Liver from Human Tooth Pulp Treats Swine Liver Failure Started by NASH, Global Congress on Tissue Engineering and Regenerative Medicine, San Antonio, USA, December 1-2, 2016.
 15. 高橋 悠,大山晃弘,豊村順子,畑一川上未有希,石川 博,中原 貴,田中 彰:ヒト歯肉頬粘膜癌細胞株 NOCS-1 ならびにその移植癌由来細胞株 NOCS-1-xg の樹立とその特徴,平成 28 年度日本歯科大学歯学会第 3 回ウインターミーティング,新潟,2016 年 12 月 10 日.
 16. 佐藤英明,中原 貴,豊村順子,大山晃弘,荘司洋文,吉田和正,石川 博:日本歯科大学・セントラルクリニック歯髄細胞バンクの現状と将来展望 2016 (第 2 報),平成 28 年度日本歯科大学歯学会第 3 回ウインターミーティング,新潟,2016 年 12 月 10 日.
 17. 渡邊美穂,大山晃弘,石川 博,田中 彰:骨の再生医療を目的とするヒト歯髄幹細胞による血

管を含む緻密骨および海綿骨の形成, 平成 28 年度日本歯科大学歯学会第 3 回ウインターミーティング, 新潟, 2016 年 12 月 10 日.

18. 渡邊美穂, 大山晃弘, 石川 博, 田中 彰: ヒト歯髄幹細胞を用いた微細血管網を含む 3 次元骨組織形成, 日本皮膚科学会新潟地方会総会, 新潟, 2016 年 12 月 17 日.
19. 中原 貴, 豊村順子, 大山晃弘, 吉田和正, 荘司洋文, 佐藤英明, 石川 博: 歯髄細胞バンクの現状と将来展望, 日本歯科大学校友会学術フォーラム 2017, 日本歯科大学生命歯学部 134 講堂, 東京, 2017 年 2 月 26 日.
20. Yagi H, Yokoyama T, Tanaka T, Toyomura J, Yaegaki K, Ishikawa H: Tooth-derived Hepatocytes Transplantation to Swine Liver Failure, IADR 95nd, General Session and Exhibition of the IADR, Special Issue B, San Francisco, USA, March 22-25, 2017.
21. Yokoyama T, Yagi H, Yaegaki K, Ishikawa H: Therapeutic effect of hepatocyte-like cells transplantation into cirrhosis rat model, IADR 95nd, General Session and Exhibition of the IADR, Special Issue B, San Francisco, USA, March 22-25, 2017.

● 口腔リハビリテーション科

Division of Rehabilitation for Speech and Swallowing Disorders

1. 所属構成員等

教 授 菊谷 武, 田村 文誉
講 師 児玉 実穂, 須田 牧夫, 高橋 賢晃, 町田 麗子
助 教 戸原 雄, 保母妃美子, 佐々木力丸
非常勤歯科医師 田代 晴基, 鰐原 賀子, 須釜 慎子, 元開 早絵, 佐川敬一郎,
古屋 裕康, 山田 裕之
レジデント 安藤亜奈美, 田中 康貴, 岩渕 信, 呉 一紗, 塩原裕一郎,
柴崎 育美, 永島 圭悟
臨床教授 Michael Groher, 鈴木 文晴, 松本 宜明, 米山 武義
臨床準教授 今井 庸子, 五島 朋幸, 花形 哲夫, 吉田 光由
臨床講師 鈴木 亮, 西方 浩一, 池田 登顕, 南雲 健吾, 三好 真人,
佐々木由香, 兵頭 洋子, 下嶋 哲也, 沼田 淳子, 喜屋武ちひろ

2. 研究テーマ

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション Dysphagia rehabilitation.
- 2) 口腔ケア Oral health Care.
- 3) 高齢者に対する歯科診療 Dental treatment for Elderly People.
- 4) 歯科訪問診療 Home Visiting Dental Care.
- 5) 咀嚼器官の運動障害が咀嚼機能に与える影響 Masticatory function affected by masticatory disorders with motor disorder.
- 6) レット症候群の摂食機能 Feeding of Rett syndrome.
- 7) コミュニケーション障害患者のリハビリテーション Speech and language therapy in communication disorders.
- 8) 高次脳機能障害患者の社会復帰支援 Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
- 9) 誤嚥性肺炎と口腔ケア Aspiration pneumonia and oral health care.
- 10) 障害児の摂食機能 Feeding function of disabled children.
- 11) 小児の摂食機能の発達と障害 Development and disabilities of feeding in children.
- 12) 子供の食の問題と母親の育児負担との関係 Relationship between children's eating problem and mother's parenting burden.
- 13) 原始反射の再出現が摂食機能に与える影響 Effects of reappearance of primitive reflexes on eating function and prognosis.
- 14) 口唇口蓋裂児の吸啜時の舌運動の解析 Analysis of tongue movements during sucking by infants with cleft lip and palate.
- 15) 地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成システムの構築 Development of cultivation program for dentist for the regional comprehension system.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) International Association for Disability and Oral Health 23rd iADH Congress 研究奨励賞, 佐川敬一郎,

Tongue function is important for masticatory performance in the elderly people -A cross-sectional survey of community-dwelling elderly-, 2016年4月18日.

- 2) International Association for Disability and Oral Health 23rd iADH Congress 最優秀ポスター賞, 古屋裕康, Approach to resuming oral food intake in patients receiving gastrostomy tube feeding at home, 2016年4月18日.
- 3) 老年歯科医学会 第27回学術大会優秀口演賞, 佐川敬一朗, 地域における嚥下調整食の実態調査, 2016年6月18日.

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 摂食嚥下研修会「症例検討会」, 日本歯科大学附属病院, 2017年2月23日, 日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科.
- 2) 摂食嚥下研修会「評価と対応法」～食べるを正しく評価するために～, 日本歯科大学附属病院, 2016年11月24日, 日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科.
- 3) 摂食嚥下研修会「地域で食べるを支える」～いつまでも口から食べるために～, 日本歯科大学附属病院, 2016年5月26日, 日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科.
- 4) こども摂食嚥下研修会「食べる機能と摂食指導(実習)」, 日本歯科大学附属病院, 2017年2月9日, 日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科.
- 5) こども摂食嚥下研修会「食べる機能の発達と障害」, 日本歯科大学附属病院, 2016年11月17日, 日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科.
- 6) こども摂食嚥下研修会「小児の食べる機能障害への医科的対応」, 日本歯科大学附属病院, 2016年7月7日, 日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科.
- 7) こども摂食嚥下研修会「コミュニケーション能力に応じた摂食指導」, 日本歯科大学附属病院, 2016年6月2日, 日本歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科.
- 8) 医療・介護専門職向け 研修セミナー 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 摂食・嚥下研修会, 小金井宮地楽器ホール, 2016年5月23日, 2016年9月6日, 2017年3月7日 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 9) 管理栄養士, 栄養士, その他医療・介護専門職向け 研修セミナー 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 食の研修センター“食べる”を支える研修会 エネルギー付加だけじゃない! 摂食嚥下障害患者のための中鎖脂肪酸(MCT)の活用法, 多摩クリニック, 2016年7月23日, 2016年10月8日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 10) 障害児にかかわる方向け 研修セミナー 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 摂食・嚥下研修会「食べるを支える」～発達期障害の理解を深める!～, 多摩クリニック, 2016年7月4日, 2016年10月13日, 2017年1月31日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 11) 多摩摂食支援歯科ネット, 多摩クリニック, 2016年5月19日, 2016年7月21日, 2016年9月15日, 2016年11月17日, 2017年3月2日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.

6. 国際交流状況

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション分野において世界的に有名なアメリカ レッドランズ大学のマイケル・グロハー教授の嚥下障害研修および症例検討会に参加するとともに、研究打ち合わせのため、アメリカ レッドランズ大学を訪問した、平成 28 年 7 月 30 日～8 月 5 日。
- 2) アメリカ レッドランズ大学のマイケル・グロハー教授を招聘し、摂食・嚥下障害コースの受講及び研究打ち合わせを金沢で行った（外国人招聘事業）、平成 28 年 6 月 8 日～6 月 10 日。
- 3) 韓国政府および韓国歯科医師会が来日し、多摩クリニックにて見学研修を行った、平成 29 年 2 月 27 日。
- 4) シンガポールの医療・福祉職、食品関係のメーカーが日本での摂食嚥下リハビリテーションの現状を視察する目的で、多摩クリニックにて見学を行った、平成 29 年 3 月 7 日。
- 5) 中山医学院 Chuan-Hang Yu 教授が、摂食嚥下障害の診断および診療方法を学び、摂食嚥下リハビリテーションを台湾で広めることを目的に、多摩クリニックにおいて見学研修を行った、平成 29 年 3 月 2 日～4 月 28 日。
- 6) 台湾高雄医学大学口腔医学院の医療関係者、学生との摂食嚥下リハビリテーションの知識交流を図るため講義を行った、平成 28 年 5 月 2 日～5 月 6 日。

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本医療研究開発機構研究費、長寿科学総合研究事業（継続）、平成 26～28 年度、地域包括ケアにおける摂食嚥下および栄養支援のための評価ツールの開発とその有用性に関する検討、菊谷 武（代表）、神崎恒一、長島文夫、原 純也（分担）、24,352,000 円、平成 28 年度 7,460,000 円。
- 2) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金、基盤研究（C）（継続）、平成 26～28 年度、口腔のサルコペニアに対する評価法および対応法に関する研究、高橋賢晃（代表）、菊谷 武、田村文誉（分担）、5,070,000 円、平成 28 年度 520,000 円。
- 3) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金、基盤研究（C）（継続）、平成 27～29 年度、経口摂取は胃瘻患者の認知機能および身体機能の改善に寄与できるか？、田村文誉（代表）、八重垣健、菊谷 武、町田麗子、水上美樹（分担）、4,680,000 円、平成 28 年度 910,000 円。
- 4) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金、基盤研究（C）（継続）、平成 27～29 年度、地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成システムの構築、須田牧夫（代表）、菊谷 武、田村文誉、町田麗子（分担）、4,810,000 円、平成 28 年度 780,000 円。
- 5) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金、若手研究（B）（継続）、平成 27～29 年度、ユビキタス地域在宅歯科医療・介護連携システムの構築、戸原 雄（代表）、3,900,000 円、平成 28 年度 1,040,000 円。
- 6) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金、若手研究（B）（継続）、平成 27～29 年度、軽度認知症高齢者の食行動の異常に関する研究、小川賀子（代表）、3,900,000 円、平成 28 年度 600,000 円。
- 7) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金、研究活動スタート支援（新規）、平成 28～29 年度、患者および家族の QOL の変化から見た在宅歯科医療のエビデンス構築、古屋裕康（代表）、2,990,000 円、平成 28 年度 1,560,000 円。
- 8) 厚生労働省老人保健健康増進等事業（新規）、平成 28 年度、通所介護及び通所リハビリテーションを利用する要介護高齢者に対する効果的な栄養改善及び口腔機能向上サービス等に関する調査研究事業、菊谷 武（代表）、大島克郎、渡邊 裕、杉山みち子、田中弥生、前田佳予子、高野直久、久保山裕子、鷺見よしみ、大野 彩（分担）、13,082,000 円、平成 28 年度 13,082,000 円。

- 9) 厚生労働科学研究成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（新規），平成 28～29 年度，妊産婦及び乳幼児の栄養管理の支援のあり方に関する研究，楠田 聡（代表），田村文誉（分担），9,000,000 円，平成 28 年度 600,000 円。

8. 研究業績

A. 著書

1. 菊谷 武（分担執筆）：PART4 家族のお悩み相談室 Q&A, 100-101, 103, 齋藤郁子 編著，おうちで作る介護食クッキング入門，日本医療企画，東京，2016，ISBN：978-4-86439-489-5.
 2. 菊谷 武（分担執筆）：11 歯ぐきが腫れて歯がすこし動く，65-69, 葛谷雅文，伴 信太郎 編著，加齢症状で悩む？！患者さんに応える医学，プリメド社，大阪，2016，ISBN：978-4-938866-56-3.
 3. 1) 菊谷 武，田村文誉（共著）：Introduction なぜ，歯科診療室で口腔機能を見ることが重要なのか？，8-12, 菊谷 武，田村文誉，水上美樹 編著，月刊デンタルハイジーン別冊 わかる・気づく・対応できる！診療室からはじめる口腔機能へのアプローチ，医歯薬出版，東京，2016.
 - 2) 田村文誉，水上美樹，町田麗子，尾関麻衣子（分担執筆）：Chapter 1 子どもの口腔機能の発達を知ろう，13-44, 菊谷 武，田村文誉，水上美樹 編著，月刊デンタルハイジーン別冊 わかる・気づく・対応できる！診療室からはじめる口腔機能へのアプローチ，医歯薬出版，東京，2016.
 - 3) 菊谷 武，尾関麻衣子（分担執筆）：Chapter 2 成人期以降（高齢者）の口腔機能を知ろう，45-91, 菊谷 武，田村文誉，水上美樹 編著，月刊デンタルハイジーン別冊 わかる・気づく・対応できる！診療室からはじめる口腔機能へのアプローチ，医歯薬出版，東京，2016.
 - 4) 菊谷 武（分担執筆）：Column 「菓が飲みにくい」と言われたら～菓は必ず“コップ一杯の水”で飲むもの？，90-91, 菊谷 武，田村文誉，水上美樹 編著，月刊デンタルハイジーン別冊 わかる・気づく・対応できる！診療室からはじめる口腔機能へのアプローチ，医歯薬出版，東京，2016.
 - 5) 菊谷 武，水上美樹（分担執筆）：Chapter 3 いざ実践へ！診療室で口腔機能を見るためのシミュレーションをしよう，93-101, 菊谷 武，田村文誉，水上美樹 編著，月刊デンタルハイジーン別冊 わかる・気づく・対応できる！診療室からはじめる口腔機能へのアプローチ，医歯薬出版，東京，2016.
4. 田村文誉，菊谷 武（共著）：7 歯科が行う栄養管理，44-52, 公益社団法人日本歯科衛生士会 監修，歯科衛生士のための口腔機能管理マニュアル—高齢者編，医歯薬出版，東京，2016，ISBN：978-4-263-42221-2.
 5. 1) 菊谷 武（分担執筆）：臨床編Ⅱ 摂食・嚥下障害に対する歯科的対応 1 章 口腔領域からの摂食・嚥下障害への対応 1. 機能的補綴的対応 ②咀嚼機能・嚥下機能に着眼した補綴装置，141, 向井美蕙，山田好秋 編，歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学，医歯薬出版，東京，2016，ISBN：978-4-263-45622-4.
 - 2) 菊谷 武（分担執筆）：臨床編Ⅱ 摂食・嚥下障害に対する歯科的対応 1 章 口腔領域からの摂食・嚥下障害への対応 1. 機能的補綴的対応 ③PAP, PLP, 141-145, 向井美蕙，山田好秋 編，歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学，医歯薬出版，東京，2016，ISBN：978-4-263-45622-4.
 - 3) 菊谷 武（分担執筆）：臨床編Ⅱ 摂食・嚥下障害に対する歯科的対応 1 章 口腔領域からの摂食・嚥下障害への対応 1. 機能的補綴的対応 ④Swalloid, 146, 向井美蕙，山田好秋 編，歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学，医歯薬出版，東京，2016，ISBN：978-4-263-

45622-4.

6. 菊谷 武 (共著) : 実践! オーラルフレイル対応マニュアル, 平野浩彦, 飯島勝矢, 菊谷 武, 渡邊 裕, 戸原 玄 編, 平野浩彦 監修, 公益財団法人東京都福祉保健財団, 東京, 2016, ISBN : 978-4-902042-55-9.
7. 佐々木力丸 : 社会教育 DVD [高齢者の健康] 介護従事者 (看護師, 管理栄養士, 介護士) 向け 防げるか? 認知症, 中村育子 監修, 映学社, 東京, 2016.
8. 佐々木力丸 : 社会教育 DVD [高齢者の健康] 介護従事者向け 長寿の鍵は食にあり, 中村育子 監修, 映学社, 東京, 2016.
9. 1) 田村文誉 (分担執筆) : 解説編 食べる機能と栄養を考える 5 食べ方と体のこと, 30-35, 田村文誉, 水上美樹 編著, 上手に食べるために 3—摂食機能にあわせた食事と栄養のヒント—, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-44483-2.
2) 田村文誉 (分担執筆) : Q&A こんな時どうするの?, 52-53, 56-57, 58-59, 64-65, 67, 田村文誉, 水上美樹 編著, 上手に食べるため 3—摂食機能にあわせた食事と栄養のヒント—, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-44483-2.
10. 1) 菊谷 武 (分担執筆) : 生活期 (施設) でのアプローチ, 364-365, 才藤栄一, 植田耕一郎 監修, 摂食嚥下リハビリテーション 第 3 版, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-44447-4.
2) 田村文誉 (分担執筆) : 摂食嚥下障害への対策, 334-336, 才藤栄一, 植田耕一郎 監修, 摂食嚥下リハビリテーション 第 3 版, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-44447-4.
11. 1) 高橋賢晃, 菊谷 武 (分担執筆) : 第 2 章—介護・入院時の制度としての対応 Q.11 口腔ケア・マネジメント (「口腔衛生管理体制加算」「口腔衛生管理加算」に基づく) について教えてください, 鴨井久和 菊谷 武 監修, 38-39, 多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50, 一世出版, 東京, 2016.
2) 高橋賢晃, 菊谷 武 (分担執筆) : 第 2 章—介護・入院時の制度としての対応 Q.12 介護保険施設における歯科の対応 (経口維持加算) について教えてください, 40-41, 鴨井久和 菊谷 武 監修, 多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50, 一世出版, 東京, 2016.
3) 菊谷 武 (分担執筆) : 第 3 章—口腔ケアにおける機能検査 Q.14 医療面接時にできる, 運動機能と口腔機能の評価 (体幹機能と構音機能) について教えてください, 46-47, 鴨井久和 菊谷 武 監修, 多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50, 一世出版, 東京, 2016.
4) 菊谷 武 (分担執筆) : 第 3 章—口腔ケアにおける機能検査 Q.15 チェアサイドで可能な嚥下機能検査について教えてください, 48-49, 鴨井久和 菊谷 武 監修, 多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50, 一世出版, 東京, 2016.
5) 菊谷 武 (分担執筆) : 第 3 章—口腔ケアにおける機能検査 Q.16 日常臨床でわかる, 頬・舌・口唇の評価法について教えてください, 50-51, 鴨井久和 菊谷 武 監修, 多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50, 一世出版, 東京, 2016.
6) 菊谷 武 (分担執筆) : 第 4 章—栄養評価と食環境指導 Q.21 嚥下障害患者に適した食形態について教えてください, 62-63, 鴨井久和 菊谷 武 監修, 多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50, 一世出版, 東京, 2016.
7) 高橋賢晃 (分担執筆) : 第 4 章—栄養評価と食環境指導 Q.24 歯科医師, 歯科衛生士が参加するミールラウンドについて教えてください, 68-69, 鴨井久和 菊谷 武 監修, 多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50, 一世出版, 東京, 2016.
12. 高橋賢晃, 菊谷 武 (分担執筆) : 7 ミールラウンド—食事場面のチェックポイント ミールラウ

- ンドにおける評価ポイント, 167-172, 藤谷順子, 小城明子 編, 臨床栄養別冊 JCN セレクト 12 摂食嚥下障害の栄養食事指導マニュアル, 医歯薬出版, 東京, 2016.
13. 菊谷 武 (単著): 「食べる」介護がまるごとわかる本, メディカ出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-8404-4154-4.
 14. 菊谷 武 (分担執筆): 常用歯科辞典, 中原 泉, 藤井一維, 編集代表, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-45790-0.
 15. 菊谷 武 (単著): 図解 介護のための口腔ケア, 講談社, 東京, 2016, ISBN : 978-4-06-282413-2.
 16. 菊谷 武 (分担執筆): 第7章 高齢患者と口腔インプラント治療 1 高齢者へのインプラントの適用 1) 高齢者の特徴, 287-290, 赤川安正, 松浦正朗, 矢谷博文, 渡邊文彦 編集, よくわかる口腔インプラント学 第3版, 医歯薬出版, 東京, 2017, ISBN : 978-4-263-45800-6.
 17. 菊谷 武 (共著): 歯科衛生士講座 高齢者歯科学 第3版, 森戸光彦, 植田耕一郎, 柿木保明, 菊谷 武, 小正 裕, 佐藤裕二 編, 永末書店, 東京, 2017, ISBN : 978-4-8160-1312-6.
 18. 菊谷 武, 鰐原賀子 (分担執筆): chapter4 脳血管疾患 (脳卒中), 10-11, 生活習慣病 (NCDs) の予防・治療に役立つお口のケア, 公益財団法人 8020 推進財団, 東京, 2016.
 19. 田村文誉 (分担執筆): 第14章 小児の摂食嚥下障害, 291-312, 伊藤元信, 吉畑 博代 編, 言語治療ハンドブック, 医歯薬出版, 東京, 2017, ISBN : 978-4-263-21744-3.
 20. 田村文誉 (共著): レット症候群のための歯と口腔の機能向上ハンドブック, 一般社団法人日本障害者歯科学会「レット症候群患者の口腔機能障害の把握と歯科医療支援」研究班, 2016.

B. 原 著

1. Tohara T, Kikutani T, Tamura F, Yoshida M, Kuboki T : Multicentered epidemiological study of factors associated with total bacterial count in the saliva of older people requiring nursing care, ©Geriatrics & Gerontology International, 2017 ; 17 : 219-225, doi : 10.1111/ggi.12695.
2. *矢島悠里, 菊谷 武, 田村文誉, 河合美佐子, 野沢与志津, 濱田美影 : 地域在住高齢者における摂取食品の変化と関連因子の検討, ○老年歯科, 2016 ; 31 (3) : 363-370. (学位論文)
3. *Shindo H, Kikutani T, Yoshida M, Yajima Y, Tamura F : Signs for identifying risk factors for aspiration pneumonia in elderly people needing nursing care, ○Medical Research Archives, 2016 ; 4 (7) : KEI-Journals, doi : <http://dx.doi.org/10.18103/mra.v4i7.754>. (学位論文)
4. 松尾浩一郎, 谷口裕重, 中川量晴, 金澤 学, 古屋純一, 津賀一弘, 池邊一典 (7th), 上田貴之 (8th), 田村文誉 (9th), 永尾 寛 (10th), 山本 健 (11th), 櫻井 薫 (12th), 水口俊介 (13th) (著者 13名) : 急性期病院入院高齢者における口腔機能低下と低栄養との関連性, ○老年歯学, 2016 ; 31 (2) : 123-132.
5. 田村文誉, 木本茂成, 山崎要一 : 保護者が感じている子どもの食の問題と歯科医療の役割, ○小児歯科学雑誌, 2017 ; 55 (1) : 18-28.
6. *Furuya H, Tamura T, Yoshida M, Hirano H, Iijima K, Kikutani T : Tongue Muscle Mass and Strength Relate to Whole-Body Muscle in the Community-Dwelling Elderly, ○口腔リハビリ誌, 2016 ; 29 (1) : 1-8. (学位論文)
7. 戸原 雄, 菊谷 武, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田中康貴, 田村文誉 : 市販咀嚼訓練食品を用いた咀嚼能力評価, ○日摂食嚥下リハ会誌, 2017 ; 21 (1) : 3-10.
8. *Sagawa K, Kikutani T, Tamura F, Yoshida M : Factors related to skeletal muscle mass in the frail elderly, ©Odontology, 2017 ; 105 (1) : 91-95, doi : 10.1007/s10266-015-0231-4. (学位論文)
9. Mitsuoka K, Kikutani T, Sato I : Morphological relationship between the superior cervical ganglion and

- cervical nerves in Japanese cadaver donors, ©Brain Behav, 2016; 7 (2) : e00619, doi : 10.1002/brb3.619.
10. Watanabe Y, Hirano H, Arai H, Morishita S, Ohara Y, Eda Hiro A, Murakami M (7th), Shimada H (8th), Kikutani T (9th), Suzuki T (10th) (10 authors) : Relationship Between Frailty and Oral Function in Community-Dwelling Elderly Adults, ©J Am Geriatr Soc, 2017; 65 (1) : 66-76, doi : 10.1111/jgs.14355.
 11. Okabe Y, Furuta M, Akifusa S, Takeuchi K, Adachi M, Kinoshita T, Kikutani T (7th), Nakamura S (8th), Yamashita Y (9th) (9 authors) : Swallowing Function and Nutritional Status in Japanese Elderly People Receiving Home-care Services : A 1-year Longitudinal Study, ©J Nutr Health Aging, 2016 ; 20 (7) : 697-704, doi : 10.1007/s12603-015-0645-2.
 12. Ohno T, Tamura F, Kikutani T, Morita T, Sumi Y : Change in Food Intake Status of Terminally Ill Cancer Patients during Last Two Weeks of Life : A Continuous Observation, ©J Palliat Med, 2016 ; 19 (8) : 879-82, doi : 10.1089/jpm.2015.0495.
 13. Htun NC, Ishikawa-Takata K, Kuroda A, Tanaka T, Kikutani T, Obuchi SP, Hirano H (7th), Iijima K (8th) (8 authors) : Screening for Malnutrition in Community Dwelling Older Japanese : Preliminary Development and Evaluation of the Japanese Nutritional Risk Screening Tool (NRST), ©J Nutr Health Aging, 2016 ; 20 (2) : 114-20, doi : 10.1007/s12603-015-0555-3.

C. 総説・解説

1. 菊谷 武 : シリーズ 身近な臨床・これからの歯科医のための臨床講座 85 地域で“食べる”を支えるということ, 日本歯科医師会雑誌, 69 (4) : 43-49, 2016.
2. 田村文誉 : 口から食育を考える 子供の食の発達支援, 小児歯科臨床, 21 (11) : 37-40, 2016.
3. 田村文誉 : 論説 食べる力を育てる—摂食指導の基礎・基本—, 肢体不自由教育, (912) : 6-17, 2016.
4. 服部佳功, 枝広あや子, 渡邊 裕, 平野浩彦, 古屋純一, 中島純子, 田村文誉, 北川 昇, 堀 一浩, 原 哲也, 吉川峰加, 西 恭宏, 永尾 寛, 市川哲雄, 櫻井 薫 : 認知症患者の歯科治療に対する疑問と問題点—Clinical Question 調査から—, 老年歯学, 31 (1) : 3-8, 2016.
5. 水口俊介, 津賀一弘, 池邊一典, 上田貴之, 田村文誉, 永尾 寛, 古屋純一, 松尾浩一郎, 山本健, 金澤 学, 渡邊 裕, 平野浩彦, 菊谷 武, 櫻井 薫 : 高齢期における口腔機能低下—学会見解論文 2016 年度版—, 老年歯学, 31 (2) : 81-98, 2016.
6. 菊谷 武, 古屋裕康 : オーラルフレイルを知る 老年歯科学からの提言 3. 食べることの障害としてのオーラルフレイル, 日本老年医学会雑誌, 53 (4) : 341-346, 2016.
7. 菊谷 武 : 歯科診療室におけるオーラルフレイルへの対応, 老年歯学, 31 (4) : 412-416, 2017.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 菊谷 武 : 特別解説 各種補助床を有効活用するための歯科医師との連携, 歯科技工, 44 (5) : 605-609, 2016.
2. 町田麗子, 田村文誉, 児玉実穂, 高橋賢晃, 保母妃美子, 磯田友子, 元開早絵, 水上美樹, 菊谷武 : 在宅訪問における重症心身障害児の摂食機能療法の必要性, 障歯誌, 37 (1) : 61-65, 2016.
3. 辰野 隆, 鈴木健太郎, 蒲池史郎, 町田麗子, 田村文誉 : 地域歯科医師会による摂食支援事業に対する障害者施設職員の意識調査, 障歯誌, 37 (1) : 54-60, 2016.
4. 児玉実穂, 代田あづさ, 土屋貴子 : 妊娠中こそオーラルケアが大事です!, たまご TOPICS, たまごクラブ, Jun : 42-43, 2016.
5. 菊谷 武, 須田牧夫, 関 (保母) 妃美子 : クリニカル・アドバンス PAP 臨床のヒントと舌圧測

- 定の位置づけ, DENTAL DIAMOND, 41 (5) : 230-236, 2016.
6. 須田牧夫:私の工具箱 歯科訪問診療時の感染予防に ディスポーザブルクリーンボックス, The Quintessence, 35 (5) : 1142, 2016.
 7. 菊谷 武:「食べる」を支える訪問歯科 8 認知症と歯科—I 食べることや口腔ケアにこんなに影響する, 医療と介護 Next2, 2 (2) : 52-53, 2016.
 8. 菊谷 武:「食べる」を支える訪問歯科 9 認知症と歯科—II 地域医療の最前線として早期発見も手厚いケアも, 医療と介護 Next3, 2 (3) : 50-51, 2016.
 9. 菊谷 武:「食べる」を支える訪問歯科 10 認知症と歯科—III ステージに応じて適切な介助が必要になる, 医療と介護 Next4, 2 (4) : 56-57, 2016.
 10. 菊谷 武:「食べる」を支える訪問歯科 11 摂食機能を正しく評価するポイント, 医療と介護 Next5, 2 (5) : 58-59, 2016.
 11. 菊谷 武:「食べる」を支える訪問歯科 最終回 思い悩みながら「口から食べたい」を支える, 医療と介護 Next6, 2 (6) : 52-53, 2016.
 12. 菊谷 武: Part.4 特別インタビュー②誤嚥性肺炎予防と食べられる口づくりに向け歯科医師と管理栄養士が連携しよう, ヘルスケア・レストラン, 24 (5) : 24-25, 2016.
 13. 菊谷 武: 診療研究 お家に行こう! ~訪問歯科診療のススメ~ (1), 月刊保団連, 1219: 44-47, 2016.
 14. 菊谷 武: Event report いろいろレストラン・キッズ, ヘルスケア・レストラン, 24 (7) : 86-87, 2016.
 15. 菊谷 武: 歯の数だけでは決まらない そしゃく障害, 週刊朝日 MOOK いい歯医者 2016, 16-19, 2016.
 16. 菊谷 武: 特別鼎談 栄養食事指導が変わった今こそチャンス 嚥下調整食で在宅療養者への道を拓こう, ヘルスケア・レストラン, 24 (8) : 25-30, 2016.
 17. 菊谷 武: 医療界ヒット商品最前線 株式会社ジェイ・エム・エス「JMS 舌圧測定器 TPM-01」, MEDICAL QOL, 42-45, 2016.
 18. 菊谷 武: 歯医者さんの専門分野別 Q&A 訪問診療, 本気で探す 頼りになるいい歯医者さん, 114-115, 2016.
 19. 菊谷 武: 特集 オーラルフレイルの現状と課題 4.オーラルフレイル—要介護高齢者への評価と介入, PROGRESS IN MEDICINE, 31-35, 2016.
 20. 菊谷 武: 食べる力を取り戻そう, 聖教新聞, 12, 2016年9月21日付.
 21. 菊谷 武: 舌の筋トレ知ってますか?, 日本経済新聞, 7, 2016年10月1日付.
 22. 菊谷 武: 「口腔ケア」が認知症を防ぐ, 週刊文春, 126-128, 2016年11月17日号.
 23. 菊谷 武: 摂食嚥下障害, 井上恵美, 酒井寛史, 杉村 健, 岡本直裡, 加納さゆり 編, 週刊朝日 MOOK 完全保存版新「名医」の最新治療 2017, 193-195, 2016.
 24. 田村文誉: 摂食嚥下障害のある在宅重症心身障害児への支援, 地域リハビリテーション, 11 (7) : 435-440, 2016.
 25. 田村文誉, 山田裕之: Q&A 食事指導を始めるときの心構え, DENTAL DIAMOND11, 147-148, 2016.
 26. 児玉実穂: マタニティ歯科総論, Zoom Up, 2-6, 2017.
 27. 菊谷 武: 舌を鍛えて「寝たきり」予防!, 週刊文春, 37-40, 2017年2月23日号.
 28. 菊谷 武: 特集 オーラルフレイル予防と健康づくり 高齢者支援におけるオーラルフレイルの位置づけ~要介護高齢者に対する食の支援~, 介護福祉・健康づくり, 3 (2) : 91-95, 2017.
 29. 菊谷 武: 探る「口の周りの筋肉鍛える」, 読売新聞, 16, 2017年3月9日付.

30. 菊谷 武：“住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアシステムの現場から “食べる”を支える口腔リハビリテーション多摩クリニックの取り組み, DENTAL DIAMOND 1, 42 (1) : 162-165, 2017.
31. 田村文誉, 水上美樹, 山田裕之, 菊谷 武：“住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアシステムの現場から 小児の摂食外来, DENTAL DIAMOND 2, 42 (2) : 2-6, 2017.
32. 佐川敬一郎, 尾関麻衣子, 戸原 雄, 須田牧夫, 菊谷 武：“住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアシステムの現場から 外来診療, DENTAL DIAMOND 3, 42 (4) : 158-161, 2017.
33. 菊谷 武：多職種連携—衣食住を中心に：認知症患者さんの「食」と多職種連携— 2 認知症になったらまず歯科へ, 認知症の最新医療, 7 (1) : 29-31, 2017.
34. 元開早絵, 小川賀子, 菊谷 武：在宅療養中胃瘻患者の経口摂取に対する意見の相違に関する検討—胃瘻患者, 家族および担当介護支援専門員へのアンケート調査結果を通じて—, 老年歯学, 31 (4) : 417-424, 2017.
35. 菊谷 武：たけしの健康エンターテイメント！みんなの家庭の医学, 朝日放送, 2016年9月25日. 【テレビ出演】
36. 菊谷 武：あさイチ, NHK総合大阪, 2016年10月26日. 【テレビ出演】
37. 菊谷 武：中居正広のミになる図書館, テレビ朝日, 2016年11月15日. 【テレビ出演】
38. 菊谷 武：健康カプセル！ゲンキの時間, CBC (TBS 系列), 2017年3月12日. 【テレビ出演】
39. 田村文誉：口腔ケアで叶えるイキイキ生活, げんきなカラダ, JR 共済, http://social.ja-kyosai.or.jp/genkinakarada/care/care_002.html.
40. 児玉実穂：今日から始める歯磨き習慣／きれいなママの歯が赤ちゃんの歯を守る！, AERA Woman, AERA アプリ, 2016年5月より配信. 【アプリ中の記事】
41. 児玉実穂：「マタニティ歯科相談室」, ORALcom, ライオン株式会社ホームページ. https://www.oralcom.net/maternity/m_qa/m_other/page:4.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 山田裕之, 小方清和, 松田英恵, 鈴木厚子, 佐藤潤子：入院患児の肺炎予防と小児歯科の役割—後ろ向き調査による検証—, 小児歯科学雑誌, 54 (2) : 192, 2016.
2. 松田英恵, 小方清和, 山田裕之, 鈴木厚子, 佐藤潤子：多動性障害児のエナメル上皮腫に対し保存的外科療法を用いた一例, 小児歯科学雑誌, 54 (2) : 214, 2016.
3. Shimazu K, Karibe H, Yamada H, Ogata K : Influence of Saliva Contamination on Adhesion in Class V Restorations, 小児歯科学雑誌, 54 (2) : 284, 2016.
4. Sagawa K, Furuya H, Ohara Y, Yoshida M, Hirano H, Iijima K, Kikutani T : Tongue function is important for masticatory performance in the elderly people, 23rd iADH Congress in Conjunction with the SCDA 28th Annual Meeting, 2016.
5. Yajima Y, Yoshida M, Tamura F, Kikutani T : Relationship between tongue strength and life prognosis in elderly people needing at-home nursing care, 23rd iADH Congress in conjunction with the SCDA 28th Annual Meeting, 2016.
6. Furuya H, Yajima Y, Sagawa K, Tamura F, Kikutani T : Approach to resuming oral food intake in patients receiving gastrostomy tube feeding at home, 23rd iADH Congress in Conjunction with the SCDA 28th Annual

Meeting, 2016.

7. 後藤優子, 勝部真由, 五味麻里, 戸原 雄, 五十嵐公美, 森光朋子: 倫理的な意思決定を考える～摂食嚥下機能障害についての基礎知識とロールプレイを通して～, 日本精神看護学会第 26 回学術大会・総会プログラム・抄録集, 76, 2016.
8. 橋本久美, 高島良代, 西脇恵子, 下嶋哲也, 須釜慎子, 水上美樹, 西澤加代子, 菊谷 武: 特別支援学校との連携: 3 年間の活動の経過と課題, 第 17 回日本言語聴覚学会プログラム・抄録集, 17: 235, 2016.
9. 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武: 当クリニックを受診した摂食嚥下障害患者における高齢者総合的機能評価, 日本老年医学会雑誌, 53 (臨時増刊号): 95-96, 2016.
10. 佐川敬一朗, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武: 地域における嚥下調整食の実態調査, 老年歯学, 31 (2): 153-154, 2016.
11. 中川量晴, 松尾浩一郎, 町田奈美, 金澤 学, 古屋純一, 谷口裕重, 津賀一弘, 池邊一典, 上田貴之, 田村文誉, 永尾 寛, 山本 健, 櫻井 薫, 水口俊介: 入院患者における口腔衛生状態と栄養状態—日本老年歯科医学会学術委員会主導研究(プロジェクト藤田)—, 老年歯学, 31 (2): 162-163, 2016.
12. 仲澤裕次郎, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田中祐子, 田村文誉, 菊谷 武: 地域健康高齢者の口腔機能とフレイルとの関連について, 老年歯学, 31 (2): 164-165, 2016.
13. 元開早絵, 田村文誉, 菊谷 武: 在宅療養中胃瘻患者の実態調査, 老年歯学, 31 (2): 172-173, 2016.
14. 谷口裕重, 松尾浩一郎, 町田奈美, 金澤 学, 中川量晴, 古屋純一, 津賀一弘, 池邊一典, 上田貴之, 田村文誉, 永尾 寛, 山本 健, 櫻井 薫, 水口俊介: 入院患者における舌圧と栄養, 握力との関連—日本老年歯科医学会学術委員会主導研究(プロジェクト藤田)—, 老年歯学, 31 (2): 177-178, 2016.
15. 白部麻樹, 平野浩彦, 小原由紀, 飯島勝矢, 菊谷 武, 本川佳子, 村上正治, 枝広あや子, 渡邊裕: 地域在住高齢者の歯周疾患実態調査報告—口腔の状態と機能, および全身との関連—, 老年歯学, 31 (2): 191, 2016.
16. 森下志穂, 平野浩彦, 渡邊 裕, 枝広あや子, 小原由紀, 村上正治, 菊谷 武: 軽度認知障害(MCI)高齢者の口腔機能低下に関する研究, 老年歯学, 31 (2): 191-192, 2016.
17. 辰野 隆, 鈴木健太郎, 宮原隆雄, 加島正浩, 田村文誉, 菊谷 武: 口腔機能向上プログラムによる効果, 老年歯学, 31 (2): 193-194, 2016.
18. 高橋徳昭, 奥山秀樹, 三上隆浩, 占部秀徳, 木村年秀, 南 温, 高橋 健, 岡林志伸, 植田耕一郎, 菊谷 武, 平野浩彦: 摂食嚥下障害を有する高齢者に対する地域支援体制の取組収集・分析に関する調査—第 1 報 個別事例調査—, 老年歯学, 31 (2): 194, 2016.
19. 三上隆浩, 奥山秀樹, 高橋徳昭, 占部秀徳, 木村年秀, 南 温, 高橋 健, 岡林志伸, 植田耕一郎, 菊谷 武, 平野浩彦: 摂食嚥下障害を有する高齢者に対する地域支援体制の取組収集・分析に関する調査—第 2 報 全国アンケート調査—, 老年歯学, 31 (2): 195, 2016.
20. 古賀登志子, 清水けふ子, 丸山みどり, 餌取恵美, 蛭谷剛文, 山口幸一, 佐々木力丸: サービス担当者会議に参加することによりチームとして質の高い在宅医療での口腔機能管理の提供, 老年歯学, 31 (2): 203, 2016.
21. 丸山みどり, 蛭谷剛文, 山口幸一, 佐々木力丸, 清水けふ子, 古賀登志子, 餌取恵美: 嚥下機能低下しながらも誤嚥性肺炎にならず適切な食支援により経口摂取への支援の取組みの一症例, 老年歯学, 31 (2): 217-218, 2016.

22. 葉山莉香, 上枝麻友, 菊谷 武, 松香芳三: 経口摂取が可能となり, 胃瘻から脱却した一症例, 老年歯学, 31 (2): 257-258, 2016.
23. 関野 愉, 内山恵理, 菊谷 武, 田村文誉, 沼部幸博: 介護老人福祉施設における口腔ケアの実際, 老年歯学, 31 (2): 278-279, 2016.
24. 佐川敬一朗: 入院中から継続的な介入を行い在宅にて経口移行可能なレベルまで改善した誤嚥性肺炎患者の一例, 日本老年歯科医学術第 27 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 242, 2016.
25. 古屋裕康: 嚥下代償法獲得により一部経口摂取が可能となった症例, 日本老年歯科医学術第 27 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 250, 2016.
26. 安藤亜奈美: 多職種連携による取り組みが経口摂取に有効であった症例, 日本老年歯科医学術第 27 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 257, 2016.
27. 高橋賢晃: 両側舌下神経麻痺患者における摂食嚥下障害に対しての PAP の効果, 日本老年歯科医学術第 27 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 265, 2016.
28. 保母妃美子: 全身の廃用と骨棘による嚥下機能低下により栄養障害および誤嚥性肺炎を発症した 1 症例, 日本老年歯科医学術第 27 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 273, 2016.
29. 佐々木力丸: 胃瘻患者に対し摂食機能評価を行い経口摂取が可能となった症例, 日本老年歯科医学術第 27 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 275, 2016.
30. 戸原 雄: 認知機能の向上に伴って咀嚼機能の向上が認められた一例, 日本老年歯科医学術第 27 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 277, 2016.
31. 菊谷 武: 在宅訪問による摂食嚥下リハビリテーションにより腸瘻抜去に至った 1 例, 日本老年歯科医学術第 27 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 279, 2016.
32. 菊谷 武: 運動障害性咀嚼障害を伴う高齢者の食形態の決定, 日本補綴歯科学会誌, 8 (2): 126-131, 2016.
33. 田中祐子, 有友たかね, 水上美樹, 菊谷 武: 歯科訪問診療時における摂食嚥下障害患者に対する支援, 日本歯科衛生学会雑誌, 11 (1): 136, 2016.
34. 戸原 雄, 田中康貴, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武: 市販咀嚼訓練食品を用いた咀嚼機能評価の試み, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム集, 56, 2016.
35. 佐川敬一朗, 原 純也, 松野さおり, 田村文誉, 菊谷 武: 東京都北多摩南部医療圏における嚥下調整食の事態調査嚥下調整食の実態調査, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 86, 2016.
36. 戸原 雄, 田中康貴, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武: 市販咀嚼訓練食品を用いた咀嚼機能評価の試み, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム集, 286, 2016.
37. 布施まどか, 佐々木力丸, 田代晴基: 摂食嚥下障害を伴う多発性骨髄腫患者に対し, 歯科衛生士が関わり機能改善に至った 1 例, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 288, 2016.
38. 松野さおり, 原 純也, 佐々木佳奈恵, 佐川敬一朗, 江藤美佳, 阿部久美子, 道脇幸博, 菊谷 武: 地域連携推進のための調査報告, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 346, 2016.
39. 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武: EAT-10 を用いた地域在住高齢者における嚥下障害の実態調査, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 374, 2016.
40. 楊 秀慶, 田村文誉: 舌突出型嚥下に対する可撤式装置 Hidey の効果, 第 22 回日本摂食嚥下リハ

ビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 394, 2016.

41. 佐川敬一朗, 原 純也, 松野さおり, 矢島悠里, 五十嵐公美, 蝦原賀子, 田村文誉, 菊谷 武 : 東京都北多摩南部医療圏における嚥下調整食の実態調査, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 489, 2016.
42. 高橋樹世, 佐々木力丸 : 多職種で食事観察評価を行う経口維持の取り組みが栄養状態に及ぼす効果, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 528, 2016.
43. 有友たかね, 矢島悠里, 保母妃美子, 磯田友子, 佐川敬一朗, 田中祐子, 田村文誉, 菊谷 武 : 口腔細菌数を指標とした口腔衛生指導が非経口摂取患者の経口摂取再開に奏功した一例, 第 23 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム集, 573, 2016.
44. 町田麗子, 児玉実穂, 高橋賢晃, 須釜慎子, 元開早絵, 磯田友子, 水上美樹, 田村文誉 : 重症心身障害児に対する訪問摂食嚥下リハビリテーションの効果, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 613, 2016.
45. 川名弘剛, 高橋賢晃, 田村文誉, 菊谷 武 : 精神疾患を有する咽頭・喉頭ジストニアにおける摂食嚥下機能障害の 1 症例, 障歯誌, 37 (3) : 53, 2016.
46. 宮山友紀, 梅津糸由子, 児玉実穂, 岡山浩美, 新見嘉邦, 落合真美, 奈良輪智恵 : 福祉センター歯科の最近 5 年間の初診患者の実態調査, 障歯誌, 37 (3) : 281, 2016.
47. 小坂美樹, 小方清和, 横山雄士, 田村文誉 : 在宅療養中の重症心身障害児を地域で支える訪問歯科医療連携システムの構築, 障歯誌, 37 (3) : 377, 2016.
48. 磯田友子, 水上美樹, 田村文誉, 菊谷 武 : ネマリンミオパチーの高口蓋に対する舌接触補助床の装着が有効であった一症例, 障歯誌, 37 (3) : 339, 2016.
49. 戸原 雄, 菊谷 武, 五十嵐公美 : 摂食嚥下専門クリニックにおける ICT (Medical Care Station) を用いた多職種連携, 第 30 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, 41, 2016.
50. 西澤加代子, 水上美樹, 須釜慎子, 高島良代, 橋本久美, 田村文誉, 菊谷武 : 知的障害特別支援学校における教育支援員指導のかかわり—第 1 報 歯科における 4 年間の指導について—, 第 80 回全国学校歯科保健研究大会大会要項, 53, 2016.
51. 水上美樹, 西澤加代子, 須釜慎子, 高島良代, 橋本久美, 田村文誉, 菊谷 武 : 知的障害特別支援学校における教育支援員指導のかかわり—第 2 報 初回摂食指導評価における実態—, 第 80 回全国学校歯科保健研究大会大会要項, 54, 2016.
52. 大原寛之, 東口高志, 菊谷 武, 丸山道生, 葛谷雅文, 松岡政三, 真田弘美, 鎌倉やよい, 伊藤彰博, 森 直治 : 「ワイプとひとくち栄養法」による誤嚥性肺炎予防の効果—日本医療開発機構科学研究費補助金事業より—, 第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 382, 2017.
53. 佐川敬一朗, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武 : 地域における嚥下調整食の実態調査および嚥下調整食支援ホームページの作成に関する報告, 第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 426, 2017.
54. 戸原 雄, 菊谷 武, 田村文誉, 五十嵐公美, 尾関麻衣子 : 在宅高齢者の安全な経口摂取を支えるための ICT を用いた多職種連携の有効性の検討, 第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 759, 2017.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. Tamura F : Dysphagia treatment for disabled children and long-term care patients in Japan, 高雄医学大学口腔医学院, 2016 年 5 月 2-7 日.

2. Tamura F : The Roles of dentists and oral hygienists in dysphagia evaluation and treatment, International Symposium of the 8th Research Day, 高雄医学大学 ; 台湾, 2016 年 5 月 6 日.
3. 田村文誉 : 「口から食育を考えるシンポジウム」子どもの食の発達支援, 第 10 回アジア小児歯科学会, シンポジウム, 東京都文京区, 2016 年 5 月 28 日.
4. 戸原 雄 : 第 4 回全国医療介護連携ネットワーク研究会シンポジウム第 第一部 地域で広まる ICT~多職種連携システム : 広まる活用と高まる未来への期待~, 第 27 回日本在宅医療学会学術大会, シンポジウム, 神奈川県横浜市, 2016 年 6 月 4 日.
5. 菊谷 武 : 地域で食べるを支えるということ~在宅で食べ続けるためにできる支援~, 第 10 回日本緩和医療薬学会年会, シンポジウム 17 - 3, 静岡県浜松市, 2016 年 6 月 5 日.
6. 菊谷 武 : 2. 口腔ケアを重視する, 第 58 回日本老年医学会学術集会, 高齢者のディベートセッション 9 くり返す高齢者の誤嚥性肺炎 : 予防のエビデンス, 石川県金沢市, 2016 年 6 月 10 日.
7. 菊谷 武 : 新しい咀嚼機能評価法と食形態の決定, 第 17 回日本言語聴覚学会, ランチョンセミナー5, 京都府京都市, 2016 年 6 月 11 日.
8. 菊谷 武 : 歯科診療室からオーラルフレイルを考える, 日本老年歯科医学会第 27 回学術大会, シンポジウム 1, 徳島県徳島市, 2016 年 6 月 18 日.
9. 田村文誉 : 口腔機能を診る 2~舌および周辺能力, 日本老年歯科医学会第 27 回学術大会, 入門セミナー3, 徳島県徳島市, 2016 年 6 月 18 日.
10. 菅 武雄, 米山武義, 菊谷 武, 吉田光由, 渡邊 裕, 渡部芳彦, 花形哲夫, 猪原 光, 星野由美, 飯田良平 : 口腔管理の実際 2~口腔咽頭吸引の理論と実際~, 日本老年歯科医学会第 27 回学術大会, ハンズオンセミナー2, 徳島県徳島市, 2016 年 6 月 19 日.
11. 高橋賢晃 : 若手シンポジウム 1 (運動性咀嚼障害に対する口腔移送試験の有用性について), 日本老年歯科医学会第 27 回学術大会, シンポジウム, 徳島県徳島市, 2016 年 6 月 19 日.
12. 高橋賢晃 : 運動性咀嚼障害に対する口腔移送試験の有用性について, 日本老年歯科医学会第 27 回学術大会, 若手ミニシンポジウム 1, 徳島県徳島市, 2016 年 6 月 19 日.
13. 田村文誉 : 外部観察評価・食内容指導, 日本障害者歯科学会摂食嚥下研修会, 東京都小金井市, 2016 年 7 月 17 日.
14. 菊谷 武 : 歯科医療として挑むオーラルフレイル, 第 11 回日本口腔ケア協会学術大会, 特別講演 1, 新潟県新潟市, 2016 年 8 月 21 日.
15. 田村文誉 : 食事外部観察評価, 公益社団法人日本歯科衛生士会 平成 28 年度認定歯科衛生士セミナー, 認定セミナー 摂食嚥下リハビリテーションコース, 東京都千代田区, 2016 年 8 月 28 日.
16. 菊谷 武 : 在宅訪問管理栄養士の現状と今後の期待について (歯科), 第 63 回日本栄養士改善学会学術総会, ワークショップ⑤, 青森県青森市, 2016 年 9 月 8 日.
17. 菊谷 武 : 口腔リハビリテーションについて, 2016 年 IDI 歯科学会, 特別講演 2, 東京都文京区, 2016 年 9 月 11 日.
18. 菊谷 武 : 住み慣れた地域で暮らし続けるために一食の支援からみた取り組み一, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, ランチョンセミナー1, 新潟県新潟市, 2016 年 9 月 23 日.
19. 菊谷 武 : 新しい咀嚼機能法と食形態の決定, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, ランチョンセミナー6, 新潟県新潟市, 2016 年 9 月 24 日.
20. 菊谷 武 : スマイルケア食, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, シンポジウム 4, 新潟県新潟市, 2016 年 9 月 24 日.
21. 須田牧夫 : 歯科衛生士が知っておきたい摂食嚥下, 第 33 回日本障害者歯科学会総会および学術大

- 会，歯科衛生士基礎講座Ⅱ，埼玉県さいたま市，2016年10月1日。
22. 田村文誉：障害者歯科 地域からのメッセージ 「摂食嚥下リハビリテーション専門クリニックにおける地域医療ネットワーク」，第33回日本障害者歯科学会総会および学術大会，シンポジウム，埼玉県さいたま市，2016年10月1日。
 23. 菊谷 武：認知症と歯科—認知症になったらすること，認知症になる前にすること—，第33回日本障害者歯科学会総会および学術大会，市民公開講座，埼玉県さいたま市，2016年10月2日。
 24. 菊谷 武：お家に行こう！—いま求められる，食支援—，第59回秋季日本歯周病学会学術大会，歯科衛生士シンポジウム，新潟県新潟市，2016年10月8日。
 25. 田村文誉：“子どもの摂食嚥下の具体的なアセスメントの実際”，日本健康・栄養システム学会，栄養ケア・マネジメント研修会，神奈川県，2016年10月9日。
 26. 菊谷 武：地域で「食べる」を支えるということ，第23回日本歯科医学会総会，シンポジウム10，福岡県福岡市，2016年10月23日。
 27. 田村文誉：地域連携最前線：国民目標の到達目標を考える，第23回日本歯科医学会総会，シンポジウム6，福岡県福岡市，2016年10月23日。
 28. 田村文誉：摂食嚥下機能に遅れや障害のある子への支援，第34回日本小児歯科学会九州地方大会および総会，特別講演Ⅱ，宮崎県宮崎市，2016年10月30日。
 29. 菊谷 武：地域で“食べる”を支えるということ，第61回日本口腔外科学会，教育講演3，千葉県千葉市，2016年11月27日。
 30. 田村文誉：解説：子どもの食の問題に関するFAQの活用に向けて，日本歯科医学会，歯科医療関係者向け研修会，東京都千代田区，2016年11月27日。
 31. 高橋賢晃：認知症を伴う摂食嚥下障害に対する食支援，日本歯科大学歯学会第3回ウインターミーティング，シンポジウム，新潟県新潟市，2016年12月10日。
 32. 田村文誉：子どもと大人の「食べる」と「歯と口の健康」子どもの食べる機能を育むために，平成28年度口腔保健シンポジウム（厚生労働省），パネルディスカッション，神奈川県横浜市，2017年3月18日。

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 町田麗子：特別支援学校で「食べる・飲む」を育てる，平成28年度城北特別支援学校教員研修，東京都足立区，2016年4月5日。
2. 菊谷 武：食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか，2016コサカ臨床医様向けセミナー<日本歯科医師会生涯研修事業認定研修会>，東京都練馬区（2016年4月21日），第25回ライオンNew Yearセミナー，大阪府大阪市（2016年4月24日），金沢歯科医師会学術講演会，石川県金沢市（2016年7月24日），日本口腔インプラント学会認定講習会研修会，東京都港区（2016年9月1日），第69回栃木県歯科医師学会，栃木県宇都宮市（2016年11月3日），沖縄県歯科医師会平成28年度歯科医療従事者技術向上支援研修会，沖縄県中頭郡（2017年2月26日）。
3. 田村文誉：「経管栄養時に家庭でできる摂食訓練～摂食指導リーフレットの活用法～」間接訓練，東京療育ネット摂食指導講習会，東京都国分寺市，2016年4月23日。
4. 元開早絵：平成28年度摂食指導学習会，平成28年度都立多摩桜の丘学園保護者研修会，東京都多摩市，2016年4月27日。
5. 菊谷 武：食べるのが困難になった高齢者に歯科は何ができるのか？，一般社団法人日本老年歯科医学会なら支部共催セミナー「第3回在宅療養支援歯科診療所の施設基準講習会」，奈良県奈良市，2016年5月8日。

6. 菊谷 武：咀嚼機能が支える高齢長寿社会，第4回日本老年医学会プレスセミナー，東京都千代田区，2016年5月9日。
7. 田村文誉：訪問歯科診療での摂食嚥下リハビリテーション，TDSG，大阪府豊中市，2016年5月14日。
8. 町田麗子：家でできる「食べる・飲む」の育て方，平成28年度保護者研修会，千葉県富里市（2016年5月19日），平成28年度てんとう虫講演会，東京都中央区（2016年8月7日）。
9. 戸原 雄：みんなで覚えよう！嚥下のスクリーニング，日本精神科看護協会主催学術講演会，ルミエール府中，2016年5月26日。
10. 菊谷 武：低栄養の評価と歯科医療，高輪会訪問部門歯科医師・歯科衛生士対象勉強会，東京都品川区，2016年5月26日。
11. 菊谷 武：嚥下食における地域連携，第3回東京都栄養士会，東京都世田谷区，2016年5月28日。
12. 須田牧夫：摂食嚥下機能障害とは～高齢者への対応～，学校法人北斗文化学園特定非営利活動アイケアネット産学連携地域包括ケア推進プロジェクト研修会，北海道札幌市，2016年5月30日。
13. 戸原 雄：生活における舌の機能その評価とリハビリテーション，青葉区歯科医師会学術講演会，東京都青葉区，2016年6月11日。
14. 菊谷 武：「食べること」を支える，三鷹市医師会地域ケア会議，東京都三鷹市，2016年6月13日。
15. 菊谷 武：地域連携における食支援の必要性，品川・大田医療福祉栄養士の会講演会，東京都大田区，2016年6月21日。
16. 菊谷 武：ケースプレゼンテーションの進め方，東京都立心身障害者口腔保健センター評価医養成研修，東京都新宿区，2016年6月23日。
17. 菊谷 武：口から食べる，口のお手入れの重要性，多摩府中給食施設協議会フード展示会&市民公開講座，東京都調布市，2016年6月24日。
18. 児玉実穂：妊産婦の口腔環境の変化と口腔管理～マイナス1歳からの口腔管理～，ママとこどもの健康フォーラム，茨城県猿島群，2016年6月25日。
19. 菊谷 武：咀嚼嚥下の理解と食べる機能を引き出す栄養食事指導のポイント，ヘルスケア・レストラン特別セミナー，東京都新宿区（2016年6月25日），福岡県福岡市（2016年6月27日），大阪府大阪市（2016年7月23日）。
20. 菊谷 武：お家に行こう！～お家に行き行って行う事，お家に行く前に行う事～，2016モリタ友の会クリニカルカルチャー講演会，東京都千代田区（2016年6月26日），平成28年度新潟県歯科医学会，新潟県新潟市（2016年11月6日）。
21. 菊谷 武：地域における摂食支援～嚥下調整食連携の必要性～，さっぽろNST講演会，北海道札幌市，2016年6月26日。
22. 田村文誉：食べる機能を育てる，世田谷区保健所健康推進課 平成28年度第2回特定求職施設講習会，東京都世田谷区，2016年6月27日。
23. 菊谷 武：食べ続けるために，宮城県大崎歯科医師会食をサポートするみなさまと共に「食べる」を考える講演会，宮城県大崎市，2016年7月3日。
24. 児玉実穂：妊婦の口腔内環境変化と安心安全な歯科治療～マイナス1歳からの口腔管理～，7月講演会，静岡県藤枝市，2016年7月14日。
25. 菊谷 武：美味しい食事のための「食べる」介護～食事の困った！にお答えします～，船橋市市民講演会，千葉県船橋市，2016年7月15日。

26. 菊谷 武：摂食・嚥下障害と栄養ケア，公益社団法人埼玉県栄養士会第1回生涯教育研修会，埼玉県さいたま市，2016年7月16日。
27. 須田牧夫：摂食嚥下障害者の診査，対応方法について，学校法人北斗文化学園特定非営利活動アイケアネット産学連携地域包括ケア推進プロジェクト研修会，北海道札幌市，2016年7月23日。
28. 児玉実穂：重症心身障害児（者）のオーラルケア，平成28年度訪問看護師等育成研修（レベルアップ編），東京都新宿区，2016年7月25日。
29. 町田麗子：食べる機能を育む，平成28年度教職員研修会，千葉県富里市，2016年7月28日。
30. 児玉実穂：重度障害児の口腔ケア（オーラルケア）について，第10回看護師（特別支援学校）スキルアップ講習会，東京都渋谷区，2016年7月29日。
31. 須田牧夫：口腔咽頭吸引の基礎知識，日本歯科大学東京短期大学みなぎ会，東京都千代田区，2016年7月31日。
32. 町田麗子：1. 食べる機能の発達と障害，2. 摂食嚥下機能障害への対応，平成28年度都立学校形態別調理講習会，東京都文京区，2016年8月1日。
33. 町田麗子：ダウン症の子どもへの摂食指導，実践セミナーダウン症への理解と障害発達をふまえたサポート，東京都北区，2016年8月4日。
34. 菊谷 武：認知症と歯科～認知症になる前にすること，認知症になってからすること～，船橋市歯と口の健康に関する市民講演会，千葉県船橋市（2016年8月6日），石川県口腔インプラント研究会市民公開講座，石川県金沢市（2016年10月16日），東京都滝乃川歯科医師会口腔ケアサポートセミナー，東京都北区（2016年10月26日），小金井市市民公開講座，東京都小金井市（2016年11月3日），小平市市民公開講座，東京都小平市（2016年11月7日），平成28年度公益社団法人東京都八南歯科医師会八王子支部講演会，東京都八王子市（2017年1月8日，2017年3月18日）。
35. 須田牧夫：認知症患者への摂食機能療法について，学校法人北斗文化学園特定非営利活動アイケアネット産学連携地域包括ケア推進プロジェクト研修会，北海道小樽市，2016年8月10日。
36. 菊谷 武：嚥下食における地域での食支援，東京都委託事業栄養指導従事者教育事業，東京都新宿区，2016年8月19日。
37. 鰐原賀子：お口のリハビリで健康！！，家族介護者講習，東京都武蔵野市，2016年8月21日。
38. 菊谷 武：地域で食べるを支えるということ，日本精神医学会認定栄養士研修会，東京都港区（2016年8月22日），小笠掛川歯科医師会主催平成28年度多職種連携口腔機能研修会，静岡県掛川市（2016年9月10日），八尾市歯科医師会市民公開講座，大阪府八尾市（2017年2月4日）。
39. 菊谷 武：摂食嚥下障害摂食嚥下障害者への口腔管理と制度の理解，公益社団法人日本歯科衛生士会平成28年度認定歯科衛生士セミナー，東京都千代田区，2016年8月27日。
40. 高橋賢晃：今，在宅は管理栄養士に何を求めているのか，日本在宅栄養管理学会関西中国四国ブロック研修会，岡山県岡山市，2016年8月28日。
41. 菊谷 武：地域で食べるを支えるー歯科医院で取り組む対オーラルフレイル戦略ー，全国在宅療養支援歯科診療所連絡会，東京都文京区，2016年8月28日。
42. 元開早絵：平成28年度摂食指導学習会，平成28年度都立多摩桜の丘学園教職員研修会，東京都多摩市，2016年8月29日。
43. 古屋裕康：在宅における摂食嚥下障害への対応，佐々訪問看護ステーション職員研修会，東京都西東京都，2016年8月30日。
44. 菊谷 武：在宅訪問管理栄養士の現状と今後の期待について（歯科），第63回日本栄養改善学会学術総会，青森県青森市，2016年9月8日。

45. 菊谷 武：いつまでも口からおいしく食べるために，調布市歯科医師会主催介護予防講演会，東京都調布市，2016年9月9日。
46. 田村文誉：上手に食べるお手伝い～発達に応じた摂食支援～，船橋市役所健康政策課主催講演会，千葉県船橋市，2016年9月10日。
47. 菊谷 武：お家へ行こう！—地域における食支援，歯科医療情報推進機構学会，東京都文京区，2016年9月11日。
48. 高橋賢晃：訪問診療における摂食嚥下の評価と対応法について，第5回訪問協力医研修会，東京都杉並区，2016年9月21日。
49. 菊谷 武：在宅における摂食嚥下障害への対応，北区歯科医師会 平成28年度北区摂食嚥下機能支援評価要請研修会，東京都北区，2016年9月25日。
50. 菊谷 武：認知症と歯科保健，町田市歯科保健研修会，東京都町田市，2016年9月26日。
51. 菊谷 武：地域で「食べる」を支えるということ—地域における食支援連携の必要性—，第146回実践栄養指導勉強会，東京都東村山市，2016年9月27日。
52. 菊谷 武：地域で行う食支援，フードシステムソリューション (F-SYS) 2016 病院・施設セミナー，東京都江東区，2016年9月28日。
53. 菊谷 武：摂食嚥下機能低下患者に対する栄養食事指導，平成28年度福祉保健局・病院経営本部専門性向上研修職種職務専門研修，東京都文京区，2016年9月30日。
54. 鰐原賀子：口から食べる，大切な食事...諦めていませんか？介護中の食事，東京都特別互助組合研修会，東京都杉並区，2016年10月3日。
55. 菊谷 武：認知症の人の食べるを支援する，関西看護ケア研究会，東京都大田区，2016年10月8日。
56. 菊谷 武：病態別摂食嚥下障害，平成28年度認定歯科衛生士セミナー摂食嚥下リハビリテーションコース，東京都千代田区，2016年10月9日。
57. 田村文誉：上手に食べられるかな？～お子さんの口の発達と食べ方～，公益社団法人西東京市歯科医師会第6回子育てフェスタ@西東京，東京都西東京市，2016年10月11日。
58. 戸原 雄：摂食機能障害における脳神経との解剖的理解，船橋歯科医師会主催学術講演会，千葉県船橋市，2016年10月11日。
59. 菊谷 武：オーラルフレイルを知り，多職種・住民に何を伝えるか，静岡県浜松市歯科医師会地域歯科保健推進研修会，静岡県浜松市，2016年10月11日。
60. 菊谷 武：「認知症と歯科～認知症になる前にすること，認知症になってからすること」，平成28年度世田谷区「多職種と学医療連携研修」，東京都世田谷区，2016年10月14日。
61. 菊谷 武：食べることで生きる力を与えたい～口腔ケア最前線，熊本県栄養士会平成28年度秋季研修会，熊本県，2016年10月15日。
62. 高橋賢晃：地域における食支援，山梨県高齢者食支援研修事業，山梨県甲府市（10月16日），山梨県中央市（10月23日）。
63. 菊谷 武：認知症の摂食嚥下リハビリテーション，昭和大学スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門研究生研修会，東京都品川区，2016年10月20日。
64. 戸原 雄：咀嚼訓練により短期間で咀嚼機能が向上した一例，平成28年度中野区在宅療養(摂食・えんげ機能)支援事業事例検討会，中野区医師会館，2016年10月25日。
65. 菊谷 武：オーラルフレイルとは，小金井市委託事業，東京都小金井市，2016年10月25日。
66. 町田麗子：特別支援学校で「食べる・飲む」を育てる，平成28年度教職員研修会，東京都目黒区，2016年10月28日。

67. 児玉実穂：妊娠中の口腔環境の変化と管理・治療—マイナス1歳からの口腔管理，第12回市民公開講座，千葉県船橋市，2016年10月30日。
68. 戸原 雄：外部観察とスクリーニング，日本介護歯科衛生士養成協会主催講演会，東京都昭島市，2016年11月6日。
69. 菊谷 武：摂食嚥下について，NST研究会，東京都日野市，2016年11月6日。
70. 町田麗子：乳幼児の食べる機能の発達，発育について，平成28年度荒川区看護師会研修，東京都荒川区，2016年11月8日。
71. 菊谷 武：食形態連携の必要性，東京都多摩府中保健所 平成28年度摂食嚥下機能支援基盤整備事業摂食嚥下機能支援研修会，東京都府中市，2016年11月8日。
72. 菊谷 武：「地域で“食べる”を支えるということ」～食形態連携による地域での取り組み～，第61回日本病院会東京支部栄養部会研究会，東京都港区，2016年11月8日。
73. 田村文誉：障害のある人の口腔機能に合わせた食支援と口腔ケア，新宿区健康部健康づくり推進係口腔機能向上指導者養成講座，東京都新宿区，2016年11月9日。
74. 高橋賢晃：いつまでも口から食べるために，足立保健所東部保健センター講習会，新宿区足立区，2016年11月9日，12月14日。
75. 町田麗子：こどもの食を育む一問題点と対応一，歯を守る市民の会乳幼児・保育園・幼稚園専門部会研修会，長野県長野市，2016年11月10日。
76. 須田牧夫：西多摩圏域における摂食嚥下機能支援の進め方について，平成28年度西多摩保健医療圏摂食嚥下機能支援協議会，東京都青梅市，2016年11月10日。
77. 高橋賢晃：いつまでもおいしく食べるために歯科ができること～訪問歯科診療と食べる飲み込みむリハビリ～，福祉・介護・健康フェア2016，新潟県新潟市，2016年11月13日。
78. 菊谷 武：いつまでもおいしく食べられるために—いまでできること，これからすること—，8020健康社会フォーラム2016，青森県青森市，2016年11月13日。
79. 須田牧夫：高齢者の摂食嚥下機能支援～食べること，飲み込むことが困難な方に出会ったら～，平成28年度摂食嚥下機能支援基盤整備研修会，東京都福生市，2016年11月17日。
80. 菊谷 武：嚥下専門医による食べる機能に関する相談，府中市摂食嚥下専門相談，東京都府中市，2016年11月17日。
81. 佐々木力丸：「口から食べる」を支える，第3回ねたきり高齢者担当医講習会，東京都大田区，2016年11月18日。
82. 須田牧夫：「こまっていますか？高齢者への対応」～患者の加齢変化への対応方法とは～，東京都日本歯科大学校友会芝支部会，東京都港区，2016年11月18日。
83. 菊谷 武：咀嚼機能評価から考える栄養管理，第7回「摂食・嚥下リハビリテーションと栄養ケアセミナー」，東京都品川区，2016年11月19日。
84. 高橋賢晃：口腔リハビリテーションと地域連携を知る，特別区保健師会東部ブロック研究会，葛飾区保健所，2016年11月21日。
85. 菊谷 武：介護予防事業の現状と課題，平成28年度第2回東京都介護予防推進会議，東京都板橋区，2016年11月21日。
86. 佐川敬一郎：地域で摂食嚥下障害を支える，日野市摂食・嚥下機能支援推進事業説明会，東京都日野市，2016年11月22日。
87. 菊谷 武：認知症と歯科，世田谷区歯科医師会会員向け講演会，東京都世田谷区，2016年11月22日。
88. 菊谷 武：口腔ケア，平成28年度回復期リハビリテーション看護師認定コース第10期，東京都

港区, 2016年11月24日.

89. 戸原 雄: 事例検討会, 東京都摂食・嚥下機能支援事業における研修, 東京都千代田区, 2016年11月25日.
90. 戸原 雄: 摂食機能障害における脳神経との関係の理解, 船橋摂食嚥下臨床研究会講演会, 千葉県船橋市, 2016年11月26日.
91. 須田牧夫: 第1回要介護高齢者に対する安全に食べるための総合的アプローチ～摂食嚥下障害者への対応方法とは～, 平成28年高齢者における口腔リハビリテーションセミナーNPO 法人アイケア・ネット, 北海道札幌市, 2016年11月26日.
92. 菊谷 武: 摂食嚥下機能低下への介入, 公益社団法人東京都栄養士会医療事業部平成28年臨床栄養1日セミナー, 東京都文京区, 2016年11月26日.
93. 菊谷 武: 知らないではすまされない食支援の基礎知識, 長野県歯科衛生士会第4回専門的口腔ケア研修会, 長野県佐久市, 2016年11月27日.
94. 佐々木力丸: 摂食嚥下評価について, 荒川区歯科医師会学術講演会, 東京都荒川区, 2016年11月30日.
95. 須田牧夫: 「高齢者への対応, 素朴な疑問?」～高齢患者の歯科対応とは～, 東京都日本歯科大学校友会豊島支部会, 東京都豊島区, 2016年11月30日.
96. 菊谷 武: 「スマイルケア食」の現状と課題について, 平成28年度地場食材活用栄養改善事業「スマイルケア食の普及・推進研修会」, 東京都中央区, 2016年11月30日.
97. 町田麗子: 摂食嚥下障害児への支援, 地域栄養活動妊産婦からこども, 東京都港区, 2016年12月2日.
98. 菊谷 武: 認知症の人の「食べる」を支援する, 看護ケア研究会看護実践セミナー, 東京都大田区, 2016年12月3日.
99. 田村文誉: 子どもの食と歯科のかかわり, 昭和大学同窓会城西支部, 東京都中野区, 2016年12月3日.
100. 佐々木力丸: 高齢者・障害者・認知症患者に対する口腔ケア及び食事指導について, 東京民主医療機関連合会, 東京都豊島区, 2016年12月4日.
101. 菊谷 武: 口腔機能向上・ケア研修ステップアップ講座, 社会福祉法人品川区社会福祉協議会平成28年度品川福祉カレッジ, 東京都品川区, 2016年12月6日.
102. 菊谷 武: 地域で考える摂食嚥下機能支援シンポジウムシンポジスト専門クリニックの取組み, 平成28年度北多摩南部保健医療圏摂食嚥下機能支援連絡会シンポジウム, 東京都武蔵野市, 2016年12月8日.
103. 須田牧夫: 「見たことありませんか? こんな口腔症状」～口腔所見でわかる全身疾患と対応方法について～, 東京都武蔵野市歯科医師会学術講演会, 東京都武蔵野市, 2016年12月9日.
104. 菊谷 武: オーラルフレイル～その概念と歯科診療室での対応～, 長野県歯科医師会有病者歯科保健推進研修事業, 長野県長野市, 2016年12月15日.
105. 菊谷 武: 訪問歯科ガイダンス (5) 「オーラルフレイル」について, 兵庫県歯科医師会在宅歯科診療研修会, 兵庫県神戸市, 2016年12月18日.
106. 児玉実穂: 妊娠中の口腔環境の変化と管理・治療～マイナス1歳からの口腔管理～, 臨床歯科保健勉強会, 千葉県千葉市, 2016年12月18日.
107. 菊谷 武: おいしく安全に食べる, 小金井市ヘルパー・介護職員向け研修会, 東京都小金井市, 2016年12月19日.
108. 佐々木力丸: 摂食嚥下障害の見分け方, 口腔ケア方法について, 特別養護老人ホーム芳香苑研修

会，東京都江東区，2017年1月13日。

109. 菊谷 武：乳幼児の口腔の発達，高輪会訪問部門歯科医師・歯科衛生士対象勉強会，東京都品川区，2017年1月15日。
110. 戸原 雄：ワークショップ「ミールラウンドを始めよう！」，第4回日本老年歯科医学会岡山支部セミナー，岡山県瀬戸内市，2017年1月15日。
111. 高橋賢晃：地域・在宅高齢者の食べる楽しみを支援する，平成28年度岡山県医療介護総合確保基金事業「要介護高齢者の低栄養を防ぐための医師・歯科医師と管理栄養士による口腔栄養関連サービス推進事業」第4，5回セミナー，岡山県瀬戸内市（1月15日），岡山県岡山市（2月12日）。
112. 菊谷 武：事例検討会まとめ，平成28年度北区摂食嚥下機能支援評価要請研修会，東京都北区，2017年1月17日。
113. 元開早絵：食べるを正しく評価するために，特別養護老人ホームうきま幸朋苑職員研修会，東京都北区，2017年1月19日。
114. 菊谷 武：摂食えん下障害患者に対する栄養指導，特別区職員研修所 平成28年度専門研修「栄養士」，東京都千代田区，2017年1月20日。
115. 菊谷 武：歯科診療室からオーラルフレイルを考える，香川デンタルスタディクラブ一日例会，香川県（2017年1月22日），TRAD デンタルフェア2017，神奈川県横浜市（2017年2月11日）。
116. 戸原 雄：在宅歯科医療の基礎，青森県三八歯科衛生士会研修会，青森県八戸市，2017年1月22日。
117. 戸原 雄：症例検討，中野区在宅療養（摂食・えん下機能）支援事業事例検討会，東京都中野区，2017年1月24日。
118. 菊谷 武：見る目を養う食べる機能の評価と対応法～多職種が連携した支援～，平成28年度愛知県瀬戸保健所歯科口腔保健推進研修会，愛知県瀬戸市，2017年1月26日。
119. 菊谷 武：オーラルフレイルを知り，多職種住民に何を伝えるか，静岡県歯科医師会地域歯科保健推進研修会，静岡県浜松市，2017年1月26日，3月12日。
120. 田村文誉：子どもの摂食機能障害とその対応について，公益社団法人長野県歯科医師会，長野県長野市，2017年1月26日。
121. 須田牧夫：第2回認知症高齢者の摂食嚥下障害に対する方策とは～現場で活かせる手技について～，平成28年高齢者における口腔リハビリテーションセミナーNPO 法人アイケア・ネット，北海道札幌市，2017年1月29日。
122. 田村文誉：重症児の摂食嚥下リハビリテーション，愛媛県重症心身障害児を守る会愛媛県重症心身障害児（者）の在宅支援研修事業，愛媛県今治市，2017年1月29日。
123. 菊谷 武：地域連携における摂食嚥下支援と誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアについて，平成28年度食生活・口腔ケア支援者研修，神奈川県鎌倉市，2017年2月2日。
124. 須田牧夫：口腔機能評価について～摂食嚥下障害に対する評価と対応方法～，武蔵野歯科医師会歯科衛生士研修会，東京都武蔵野市，2017年2月3日。
125. 菊谷 武：「介護と歯科医療」「食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか」，厚生労働省後援歯科技工士生涯研修，東京都千代田区，2017年2月5日。
126. 田村文誉：障害児の口腔機能に合わせた摂食支援と口腔ケア，新宿区職員研修会，東京都新宿区，2017年2月6日。
127. 須田牧夫：平成28年度西多摩地区摂食嚥下機能支援事例，平成28年度西多摩地区摂食嚥下機能支援事例検討会，東京都福生市，2017年2月9日。
128. 菊谷 武：お家に行こう！～訪問診療へ行く前にすること，訪問診療に行ってからすること～，

平成 28 年度第 2 回伊勢地区歯科医師会学術講演会，三重県伊勢市，2017 年 2 月 12 日。

129. 戸原 雄：ワークショップ「ミールラウンドを始めよう！」，第 4 回日本老年歯科医学会岡山支部セミナー，岡山県岡山市，2017 年 2 月 12 日。
130. 佐々木力丸：摂食嚥下機能評価とその対応，老健しらさぎ研修会，東京都足立区，2017 年 2 月 12 日。
131. 菊谷 武：摂食嚥下機能に合わせた食形態の提案～地域における食支援を通して～，八王子集団給食協議会講演会，東京都八王子市，2017 年 2 月 13 日。
132. 菊谷 武：オーラルフレイルって知ってますか？～歯科医療が挑むオーラルフレイル対策～，東久留米市三師会西東京市三師会共催三師会会員向け講演会，東京都東久留米市（2017 年 2 月 15 日），栃木県下都賀歯科医師会栃木歯学研究会，東京都小金井市（2017 年 3 月 9 日）。
133. 菊谷 武：住み慣れた地域で暮らし続けるために～食の支援から見た取り組み～，東京都多摩保健所平成 28 年度課題別地域保健医療推進プラン研修会，東京都多摩市（2017 年 2 月 16 日），八王子市摂食・嚥下機能支援研修会，東京都八王子市（2017 年 2 月 17 日），平成 28 年度多摩摂食支援歯科ネット第 5 回研修会，東京都小金井市（2017 年 3 月 2 日）。
134. 元開早絵：食べる機能の障害とその対応方法，社会福祉法人あいのお福祉会竹の塚あかしの杜職員研修会，東京都足立区，2017 年 2 月 16 日。
135. 佐々木力丸：口腔ケアと食事介助方法について，特別養護老人ホーム浅草研修会，東京都台東区，2017 年 2 月 17 日。
136. 菊谷 武：口腔サルコペニアと PAP/PLP を用いた摂食嚥下機能改善について，福井県歯科医師会学術講演会，福井県福井市，2017 年 2 月 19 日。
137. 田村文誉：食べる機能を育む，一般社団法人横浜市歯科医師会「平成 28 年度横浜市食育プロモーション支援事業」食育フォーラム，神奈川県横浜市，2017 年 2 月 19 日。
138. 須田牧夫：高齢者への口腔ケアの重要性について“高齢者の口腔機能維持・管理”，一般社団法人東京都女性薬剤師会講演会，東京都墨田区，2017 年 2 月 19 日。
139. 佐々木力丸：摂食嚥下障害の見分け方，口腔ケア方法について，特別養護老人ホーム菊かおる園職員研修会，東京都豊島区，2017 年 2 月 22 日。
140. 田村文誉：知っておきたい障害者（児）の摂食嚥下の介助～実技偏，武蔵野市／公益社団法人東京都武蔵野市歯科医師会，東京都武蔵野市，2017 年 2 月 23 日。
141. 元開早絵：食べる機能の障害とその対応方法，社会福祉法人あいのお福祉会足立あかしあ園保護者学習会，東京都足立区，2017 年 2 月 24 日。
142. 田村文誉：重い障がいのある子供のために経管栄養から経口摂取への移行，一般社団法人 Kukurū（くくる）重い障がいのある方の地域生活を豊かにする講座事業，沖縄県宜野湾市，2017 年 2 月 26 日。
143. 田村文誉：子どもの食の問題と歯科とのかかわり，日本大学松戸歯学部大学院セミナー，千葉県松戸市，2017 年 3 月 1 日。
144. 鰐原賀子：摂食嚥下機能判定の基本，平成 28 年度厚生労働省栄養ケア活動支援「在宅高齢者療養指導基礎研修」，東京都稲城市，2017 年 3 月 1 日。
145. 元開早絵：胃電図測定結果報告咀嚼機能について，エコー療育園職員学習会，宮城県仙台市，2017 年 3 月 1 日。
146. 佐々木力丸：摂食嚥下機能について，その評価と対応，老人保健施設千寿の郷研修会，東京都足立区，2017 年 3 月 2 日。
147. 菊谷 武：オーラルフレイルって知ってます？，岡崎げんき館市民会議市民フォーラム 2017，愛

知県岡崎市，2017年3月4日。

148. 田村文誉：発達期が原因の摂食嚥下障害のひとの加齢に伴う課題，一般社団法人山梨県歯科医師会「障がい者施設入居者に対する口腔ケア推進研修会」，山梨県甲府市，2017年3月4日。
149. 菊谷 武：地域で“食べる”を支えるということ～専門職が果たす役割，北海道医療大学障害学習事業同窓会コラボ☆講演会，北海道札幌市，2017年3月11日。
150. 田村文誉：摂食嚥下障害の基礎知識と小児在宅医療ネットワークについて，川越市委託事業（障害者（児）歯科保健事業）川越市歯科医師会，埼玉県川越市，2017年3月21日。
151. 高橋賢晃：訪問診療における摂食嚥下の評価と対応法について，第6回訪問協力医研修会，東京都杉並区，2017年3月22日。
152. 須田牧夫：「高齢者のリスクマネジメント」～訪問歯科診療時の注意事項をふまえて～，東京都葛飾区歯科医師会講演会，東京都葛飾区，2017年3月22日。
153. 菊谷 武：摂食・嚥下困難がある高齢者の『食えること』を支えるために，平成28年度歯及び口腔の健康づくり推進研修，神奈川県鎌倉市，2017年3月23日。
154. 菊谷 武：長寿の鍵は口にあり～オーラルフレイルってしてますか？，西東京市歯科医師会講演会，東京都西東京市，2017年3月24日。
155. 須田牧夫：高齢者のリスクマネジメント～摂食嚥下障害とは～，ハピネス都筑職員研修会，横浜市都筑区，2017年3月24日。
156. 菊谷 武：医療「口腔リハビリテーション」，一般社団法人日本介護支援専門員協会 平成28年度会員レベルアップ研修会，東京都千代田区，2017年3月25日。
157. 菊谷 武：嚥下調整食の分類と課題，第21回東海嚥下食研究会，愛知県名古屋市，2017年3月26日。
158. 菊谷 武：歯科的アプローチの実際，第160回国治研セミナー嚥下障害基礎・入門編，神奈川県横浜市，2017年3月26日。
159. 高橋賢晃：地域包括ケアシステムについて，東京都台東区歯科医師会，浅草歯科医師会合同講演会，東京都台東区，2017年3月29日。

● 口腔リハビリテーション多摩クリニック Tama Oral Rehabilitation Clinic

1. 所属構成員等

口腔リハビリテーション科

教 授 菊谷 武 (口腔リハビリテーション多摩クリニック院長)
田村 文誉 (口腔リハビリテーション科科長)
講 師 須田 牧夫 (口腔リハビリテーション科多摩クリニック医長)
助 教 戸原 雄, 保母妃美子
非常勤歯科医師 佐川敬一朗, 古屋 裕康, 山田 裕之
臨床 教授 Michael Groher, 鈴木 文晴, 松本 宜明, 米山 武義
臨床 准 教授 今井 庸子, 五島 朋幸, 花形 哲夫, 吉田 光由
臨床 講 師 鈴木 亮, 西方 浩一, 池田 登顕, 南雲 健吾, 三好 真人,
佐々木由香, 兵頭 洋子, 下嶋 哲也, 沼田 淳子, 喜屋武ちひろ

スペシャルニーズ歯科

教 授 砂田 勝久 (歯科麻酔学講座)
篠原健一郎 (歯科麻酔学講座)
小森 成 (矯正歯科)
准 教 授 石垣 佳希 (口腔外科)
中村 仁也 (歯科麻酔・全身管理科)
講 師 梅津糸由子 (小児歯科)
村松 健司 (小児歯科)
山崎てるみ (小児歯科)
筒井友花子 (歯科麻酔学講座)
助 教 安田 麻子 (歯科麻酔・全身管理科)
北詰 栄里 (口腔外科)
酒井 有沙 (歯科麻酔学講座)
松崎 祐樹 (小児歯科)
新見 嘉邦 (小児歯科)

内科

教 授 佐々木裕芳

高齢者歯科学

特 任 助 教 有友たかね

医療職員

歯 科 衛 生 士 水上 美樹, 西澤加代子, 田中 祐子, 富樫加奈子, 久保山絵梨,
菊池 真依, 鈴木いずみ
管 理 栄 養 士 尾関麻衣子
言 語 聴 覚 士 高島 良代, 橋本 久美

事務職員 谷村 龍三, 中角 浩之, 前川 岳, 町田 保子, 栗崎 瑞季
大学院生 岡澤 仁志, 新藤 広基, 矢島 悠里, 仲澤裕次郎, 磯田 友子,
五十嵐公美, 光岡 一行

2. 研究テーマ

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション Dysphagia rehabilitation.
- 2) 口腔ケア Oral health Care.
- 3) 高齢者に対する歯科診療 Dental treatment for Elderly People.
- 4) 歯科訪問診療 Home Visiting Dental Care.
- 5) 咀嚼器官の運動障害が咀嚼機能に与える影響 Masticatory function affected by masticatory disorders with motor disorder.
- 6) レット症候群の摂食機能 Feeding of Rett syndrome.
- 7) コミュニケーション障害患者のリハビリテーション Speech and language therapy in communication disorders.
- 8) 高次脳機能障害患者の社会復帰支援 Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
- 9) 誤嚥性肺炎と口腔ケア Aspiration pneumonia and oral health care.
- 10) 障害児の摂食機能 Feeding function of disabled children.
- 11) 小児の摂食機能の発達と障害 Development and disabilities of feeding in children.
- 12) 子供の食の問題と母親の育児負担との関係 Relationship between children's eating problem and mother's parenting burden.
- 13) 原始反射の再出現が摂食機能に与える影響 Effects of reappearance of primitive reflexes on eating function and prognosis.
- 14) 口唇口蓋裂児の吸啜時の舌運動の解析 Analysis of tongue movements during sucking by infants with cleft lip and palate.
- 15) 地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成システムの構築 Development of cultivation program for dentist for the regional comprehension system.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) International Association for Disability and Oral Health 23rd iADH Congress 研究奨励賞, 佐川敬一朗, Tongue function is important for masticatory performance in the elderly people -A cross-sectional survey of community-dwelling elderly-, 2016年4月18日.
- 2) International Association for Disability and Oral Health 23rd iADH Congress 最優秀ポスター賞, 古屋裕康, Approach to resuming oral food intake in patients receiving gastrostomy tube feeding at home, 2016年4月18日.
- 3) 老年歯科医学会 第27回学術大会優秀口演賞, 佐川敬一朗, 地域における嚥下調整食の実態調査, 2016年6月18日.

4. 学位取得者

- 1) 菊池真依, 都内歯科衛生士専門学校における有病者の口腔ケアに関する教育の実施状況について, 平成28年8月19日, 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構.
- 2) 新藤広基, 老人ホームにおける誤嚥性肺炎予防に関する研究, 平成29年2月6日, 日本歯科大

学.

- 3) 矢島悠里, 高齢者の口腔機能がサルコペニアと生命予後に及ぼす影響, 平成 29 年 2 月 6 日, 日本歯科大学.
- 4) 岡澤仁志, 在宅療養高齢者家族の介護負担に関連する因子の検討, 平成 29 年 2 月 24 日, 日本歯科大学.

5. 主催学会等

- 1) 医療・介護専門職向け 研修セミナー 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 摂食・嚥下研修会, 小金井宮地楽器ホール, 2016 年 5 月 23 日, 2016 年 9 月 6 日, 2017 年 3 月 7 日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 2) 管理栄養士, 栄養士, その他医療・介護専門職向け 研修セミナー 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 食の研修センター“食べる”を支える研修会, 多摩クリニック, 2016 年 7 月 23 日, 2016 年 10 月 8 日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 3) 障害児にかかわる方向け 研修セミナー 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 摂食・嚥下研修会「食べるを支える」～発達期障害の理解を深める!～, 多摩クリニック, 2016 年 7 月 4 日, 2016 年 10 月 13 日, 2017 年 1 月 31 日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 4) 多摩摂食支援歯科ネット, 多摩クリニック, 2016 年 5 月 19 日, 2016 年 7 月 21 日, 2016 年 9 月 15 日, 2016 年 11 月 17 日, 2017 年 3 月 2 日, 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック.

6. 国際交流状況

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション分野において世界的に有名なアメリカ レッドランズ大学のマイケル・グロハー教授の嚥下障害研修および症例検討会に参加するとともに, 研究打ち合わせのため, アメリカ レッドランズ大学を訪問した, 平成 28 年 7 月 30 日～8 月 5 日.
- 2) アメリカ レッドランズ大学のマイケル・グロハー教授を招聘し, 摂食・嚥下障害コースの受講及び研究打ち合わせを金沢で行った (外国人招聘事業), 平成 28 年 6 月 8 日～6 月 10 日.
- 3) 韓国政府および韓国歯科医師会が来日し, 多摩クリニックにて見学研修を行った, 平成 29 年 2 月 27 日.
- 4) シンガポールの医療・福祉職, 食品関係のメーカーが日本での摂食嚥下リハビリテーションの現状を視察する目的で, 多摩クリニックにて見学を行った, 平成 29 年 3 月 7 日.
- 5) 中山医学院 Chuan-Hang Yu 教授が, 摂食嚥下障害の診断および診療方法を学び, 摂食嚥下リハビリテーションを台湾で広めることを目的に, 多摩クリニックにおいて見学研修を行った, 平成 29 年 3 月 2 日～4 月 28 日.
- 6) 台湾高雄医学大学口腔医学院の医療関係者, 学生との摂食嚥下リハビリテーションの知識交流を図るため講義を行った, 平成 28 年 5 月 2 日～5 月 6 日.

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本医療研究開発機構研究費, 長寿科学総合研究事業 (継続), 平成 26～28 年度, 地域包括ケアにおける摂食嚥下および栄養支援のための評価ツールの開発とその有用性に関する検討, 菊谷武 (代表), 神崎恒一, 長島文夫, 原 純也 (分担), 24,352,000 円, 平成 28 年度 7,460,000 円.
- 2) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 26～28 年度, 口腔の

サルコペニアに対する評価法および対応法に関する研究, 高橋賢晃 (代表), 菊谷 武, 田村文誉 (分担), 5,070,000 円, 平成 28 年度 520,000 円.

- 3) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 27~29 年度, 経口摂取は胃瘻患者の認知機能および身体機能の改善に寄与できるか?, 田村文誉 (代表), 八重垣健, 菊谷 武, 町田麗子, 水上美樹 (分担), 4,680,000 円, 平成 28 年度 910,000 円.
- 4) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 27~29 年度, 地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成システムの構築, 須田牧夫 (代表), 菊谷 武, 田村文誉, 町田麗子 (分担), 4,810,000 円, 平成 28 年度 780,000 円.
- 5) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 若手研究 (B) (継続), 平成 27~29 年度, ユビキタス地域在宅歯科医療・介護連携システムの構築, 戸原 雄 (代表), 3,900,000 円, 平成 28 年度 1,040,000 円.
- 6) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 研究活動スタート支援 (新規), 平成 28~29 年度, 患者および家族の QOL の変化から見た在宅歯科医療のエビデンス構築, 古屋裕康 (代表), 2,990,000 円, 平成 28 年度 1,560,000 円.
- 7) 厚生労働省老人保健健康増進等事業 (新規), 平成 28 年度, 通所介護及び通所リハビリテーションを利用する要介護高齢者に対する効果的な栄養改善及び口腔機能向上サービス等に関する調査研究事業, 菊谷 武 (代表), 大島克郎, 渡邊 裕, 杉山みち子, 田中弥生, 前田佳予子, 高野直久, 久保山裕子, 鷺見よしみ, 大野 彩 (分担), 13,082,000 円, 平成 28 年度 13,082,000 円.
- 8) 厚生労働科学研究成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 (新規), 平成 28~29 年度, 妊産婦及び乳幼児の栄養管理の支援のあり方に関する研究, 楠田 聡 (代表), 田村文誉 (分担), 9,000,000 円, 平成 28 年度 600,000 円.

8. 研究業績

A. 著 書

1. 1) 菊谷 武 (分担執筆): PART4 家族のお悩み相談室 Q&A, 100-101, 103, 齋藤郁子 編著, おうちで作る介護食クッキング入門, 日本医療企画, 東京, 2016, ISBN: 978-4-86439-489-5.
2) 尾関麻衣子 (分担執筆): PART4 家族のお悩み相談室 Q&A, 98-99, 102, 齋藤郁子 編著, おうちで作る介護食クッキング入門, 日本医療企画, 東京, 2016, ISBN: 978-4-86439-489-5.
2. 菊谷 武 (分担執筆): 11 歯ぐきが腫れて歯がすこし動く, 65-69, 葛谷雅文, 伴 信太郎 編著, 加齢症状で悩む?! 患者さんに応える医学, プリメド社, 大阪, 2016, ISBN: 978-4-938866-56-3.
3. 1) 菊谷 武, 田村文誉 (共著): Introduction なぜ, 歯科診療室で口腔機能を見ることが重要なのか?, 8-12, 菊谷 武, 田村文誉, 水上美樹 編著, 月刊デンタルハイジーン別冊 わかる・気づく・対応できる! 診療室からはじめる口腔機能へのアプローチ, 医歯薬出版, 東京, 2016.
2) 田村文誉, 水上美樹, 町田麗子, 尾関麻衣子 (分担執筆): Chapter 1 子どもの口腔機能の発達を知ろう, 13-44, 菊谷 武, 田村文誉, 水上美樹 編著, 月刊デンタルハイジーン別冊 わかる・気づく・対応できる! 診療室からはじめる口腔機能へのアプローチ, 医歯薬出版, 東京, 2016.
3) 菊谷 武, 尾関麻衣子 (分担執筆): Chapter 2 成人期以降 (高齢者) の口腔機能を知ろう, 45-91, 菊谷 武, 田村文誉, 水上美樹 編著, 月刊デンタルハイジーン別冊 わかる・気づく・対応できる! 診療室からはじめる口腔機能へのアプローチ, 医歯薬出版, 東京, 2016.
4) 菊谷 武 (分担執筆): Column 「薬が飲みにくい」と言われたら~薬は必ず“コップ一杯の水”で飲むもの?, 90-91, 菊谷 武, 田村文誉, 水上美樹 編著, 月刊デンタルハイジーン別

- 冊 わかる・気づく・対応できる！診療室からはじめる口腔機能へのアプローチ, 医歯薬出版, 東京, 2016.
- 5) 菊谷 武, 水上美樹 (分担執筆): Chapter 3 いざ実践へ！診療室で口腔機能を見るためのシミュレーションをしよう, 93-101, 菊谷 武, 田村文誉, 水上美樹 編著, 月刊デンタルハイジーン別冊 わかる・気づく・対応できる！診療室からはじめる口腔機能へのアプローチ, 医歯薬出版, 東京, 2016.
 4. 田村文誉, 菊谷 武 (共著): 7 歯科が行う栄養管理, 44-52, 公益社団法人日本歯科衛生士会 監修, 歯科衛生士のための口腔機能管理マニュアルー高齢者, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-42221-2.
 5. 1) 小森 成 (分担執筆): 臨床編Ⅱ 摂食・嚥下障害に対する歯科的対応 1 章 口腔領域からの摂食・嚥下障害への対応 1. 機能的補綴的対応 ①小児の装置〔口蓋床 (Hotz 床), 軟口蓋拳上装置 (PLP)], 138, 向井美蕙, 山田好秋 編, 歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-45622-4.
 - 2) 菊谷 武 (分担執筆): 臨床編Ⅱ 摂食・嚥下障害に対する歯科的対応 1 章 口腔領域からの摂食・嚥下障害への対応 1. 機能的補綴的対応 ②咀嚼機能・嚥下機能に着眼した補綴装置, 141, 向井美蕙, 山田好秋 編, 歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-45622-4.
 - 3) 菊谷 武 (分担執筆): 臨床編Ⅱ 摂食・嚥下障害に対する歯科的対応 1 章 口腔領域からの摂食・嚥下障害への対応 1. 機能的補綴的対応 ③PAP, PLP, 141-145, 向井美蕙, 山田好秋 編, 歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-45622-4.
 - 4) 菊谷 武 (分担執筆): 臨床編Ⅱ 摂食・嚥下障害に対する歯科的対応 1 章 口腔領域からの摂食・嚥下障害への対応 1. 機能的補綴的対応 ④Swalloid, 146, 向井美蕙, 山田好秋 編, 歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-45622-4.
 6. 菊谷 武 (共著): 実践！オーラルフレイル対応マニュアル, 平野浩彦, 飯島勝矢, 菊谷 武, 渡邊 裕, 戸原 玄 編, 平野浩彦 監修, 公益財団法人東京都福祉保健財団, 東京, 2016, ISBN : 978-4-902042-55-9.
 7. 1) 水上美樹 (分担執筆): 解説編 食形態の考え方, 2-9, 田村文誉, 水上美樹 編著, 上手に食べるために3 ―摂食機能にあわせた食事と栄養のヒント―, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-44483-2.
 - 2) 田村文誉 (分担執筆): 解説編 食べる機能と栄養を考える 5 食べ方と体のこと, 30-35, 田村文誉, 水上美樹 編著, 上手に食べるために3 ―摂食機能にあわせた食事と栄養のヒント―, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-44483-2.
 - 3) 尾関麻衣子 (分担執筆): 解説編 食べる機能と栄養を考える 6 調理のコツと工夫, 36-41, 田村文誉, 水上美樹 編著, 上手に食べるために3 ―摂食機能にあわせた食事と栄養のヒント―, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-44483-2.
 - 4) 水上美樹 (分担執筆): Q&A こんな時どうするの?, 46-47, 54-55, 60-63, 66, 田村文誉, 水上美樹 編著, 上手に食べるために3 ―摂食機能にあわせた食事と栄養のヒント―, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-44483-2.
 - 5) 田村文誉 (分担執筆): Q&A こんな時どうするの?, 52-53, 56-57, 58-59, 64-65, 67, 田村文誉, 水上美樹 編著, 上手に食べるために3 ―摂食機能にあわせた食事と栄養のヒント―,

- 医歯薬出版，東京，2016，ISBN：978-4-263-44483-2.
8. 1) 水上美樹（分担執筆）：口腔衛生管理，185-187，才藤栄一，植田耕一郎 監修，摂食嚥下リハビリテーション 第3版，医歯薬出版，東京，2016，ISBN：978-4-263-44447-4.
 - 2) 菊谷 武（分担執筆）：生活期（施設）でのアプローチ，364-365，才藤栄一，植田耕一郎 監修，摂食嚥下リハビリテーション 第3版，医歯薬出版，東京，2016，ISBN：978-4-263-44447-4.
 - 3) 田村文誉（分担執筆）：摂食嚥下障害の対策，334-336，才藤栄一，植田耕一郎 監修，摂食嚥下リハビリテーション 第3版，医歯薬出版，東京，2016，ISBN：978-4-263-44447-4.
 9. 1) 高橋賢晃，菊谷 武（分担執筆）：第2章—介護・入院時の制度としての対応 Q.11 口腔ケア・マネジメント（「口腔衛生管理体制加算」「口腔衛生管理加算」に基づく）について教えてください，鴨井久和，菊谷 武 監修，38-39，多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50，一世出版，東京，2016.
 - 2) 高橋賢晃，菊谷 武（分担執筆）：第2章—介護・入院時の制度としての対応 Q.12 介護保険施設における歯科の対応（経口維持加算）について，40-41，鴨井久和，菊谷 武 監修，多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50，一世出版，東京，2016.
 - 3) 菊谷 武（分担執筆）：第3章—口腔ケアにおける機能検査 Q.14 医療面接時にできる，運動機能と口腔機能の評価（体幹機能と構音機能）について教えてください，46-47，鴨井久和，菊谷 武 監修，多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50，一世出版，東京，2016.
 - 4) 菊谷 武（分担執筆）：第3章—口腔ケアにおける機能検査 Q.15 チェアサイドで可能な嚥下機能検査について教えてください，48-49，鴨井久和，菊谷 武 監修，多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50，一世出版，東京，2016.
 - 5) 菊谷 武（分担執筆）：第3章—口腔ケアにおける機能検査 Q.16 日常臨床でわかる，頬・舌・口唇の評価法について教えてください，50-51，鴨井久和，菊谷 武 監修，多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50，一世出版，東京，2016.
 - 6) 菊谷 武（分担執筆）：第4章—栄養評価と食環境指導 Q.21 嚥下障害患者に適した食形態について教えてください，62-63，鴨井久和，菊谷 武 監修，多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50，一世出版，東京，2016.
 - 7) 高橋賢晃（分担執筆）：第4章—栄養評価と食環境指導 Q.24 歯科医師，歯科衛生士が参加するミールラウンドについて教えてください，68-69，鴨井久和，菊谷 武 監修，多職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50，一世出版，東京，2016.
 10. 1) 高橋賢晃，菊谷 武（分担執筆）：7 ミールラウンド—食事場面のチェックポイント ミールラウンドにおける評価ポイント，167-172，藤谷順子，小城明子 編，臨床栄養別冊 JCN セレクト 12 摂食嚥下障害の栄養食事指導マニュアル，医歯薬出版，東京，2016.
 - 2) 尾関麻衣子（分担執筆）：2 コード別 摂食嚥下障害の栄養食事指導 嚥下調整食 2-1 在宅，31-37，藤谷順子，小城明子 編，臨床栄養別冊 JCN セレクト 12 摂食嚥下障害の栄養食事指導マニュアル，医歯薬出版，東京，2016.
 11. 菊谷 武（単著）：「食べる」介護がまるごとわかる本，メディカ出版，東京，2016，ISBN：978-4-8404-4154-4.
 12. 菊谷 武（分担執筆）：常用歯科辞典，中原 泉，藤井一維 編集代表，医歯薬出版，東京，2016，ISBN：978-4-263-45790-0.
 13. 菊谷 武（単著）：図解 介護のための口腔ケア，株式会社講談社，東京，2016，ISBN：978-4-06-282413-2.

14. 菊谷 武 (分担執筆) : 第 7 章 高齢患者と口腔インプラント治療, 287-290, 赤川安正, 松浦正朗, 矢谷博文, 渡邊文彦 編集, よくわかる口腔インプラント学 第 3 版, 医歯薬出版, 東京, 2017, ISBN : 978-4-263-45800-6.
15. 菊谷 武 (共著) : 歯科衛生士講座 高齢者歯科学 第 3 版, 森戸光彦, 植田耕一郎, 柿木保明, 菊谷 武, 小正 裕, 佐藤裕二 編, 永末書店, 東京, 2017, ISBN : 978-4-8160-1312-6.
16. 菊谷 武, 鰐原賀子 (分担執筆) : chapter4 脳血管疾患 (脳卒中), 10-11, 生活習慣病 (NCDs) の予防・治療に役立つお口のケア, 公益財団法人 8020 推進財団, 東京, 2016.
17. 田村文誉 (分担執筆) : 第 14 章 小児の摂食嚥下障害, 291-312, 伊藤元信, 吉畑博代 編, 言語治療ハンドブック, 医歯薬出版, 東京, 2017, ISBN : 978-4-263-21744-3.
18. 田村文誉 (共著) : レット症候群のための歯と口腔の機能向上ハンドブック, 一般社団法人日本障害者歯科学会「レット症候群患者の口腔機能障害の把握と歯科医療支援」研究班, 2016.

B. 原 著

1. 水上美樹, 浅野一恵, 小城明子, 鈴木崇之, 曾根 翠, 弘中祥司, 藤谷順子, 武原 格 : 発達期障害に対する発達期嚥下調整食分類の統一にむけて 一特別支援学校, 入所施設, 通所施設の実態調査からの課題一, ○日摂食嚥下リハ会誌, 2016 ; 20 (2) : 70-79.
2. Tohara T, Kikutani T, Tamura F, Yoshida M, Kuboki T : Multicentered epidemiological study of factors associated with total bacterial count in the saliva of older people requiring nursing care, ©Geriatrics & Gerontology International, 2017 ; 17 : 219-225, doi : 10.1111/ggi.12695.
3. *矢島悠里, 菊谷 武, 田村文誉, 河合美佐子, 野沢与志津, 濱田美影 : 地域在住高齢者における摂取食品の変化と関連因子の検討, ○老年歯科, 2016 ; 31 (3) : 363-370. (学位論文)
4. *Shindo H, Kikutani T, Yoshida M, Yajima Y, Tamura F : Signs for identifying risk factors for aspiration pneumonia in elderly people needing nursing care, ○Medical Research Archives, 2016 ; 4 (7) : KEI-Journals, doi : <http://dx.doi.org/10.18103/mra.v4i7.754>. (学位論文)
5. 松尾浩一郎, 谷口裕重, 中川量晴, 金澤 学, 古屋純一, 津賀一弘, 池邊一典 (7th), 上田貴之 (8th), 田村文誉 (9th), 永尾 寛 (10th), 山本 健 (11th), 櫻井 薫 (12th), 水口俊介 (13th) (著者 13 名) : 急性期病院入院高齢者における口腔機能低下と低栄養との関連性, ○老年歯学, 2016 ; 31 (2) : 123-132.
6. 田村文誉, 木本茂成, 山崎要一 : 保護者が感じている子どもの食の問題と歯科医療の役割, ○小児歯科学雑誌, 2017 ; 55 (1) : 18-28.
7. *Furuya H, Tamura T, Yoshida M, Hirano H, Iijima K, Kikutani T : Tongue Muscle Mass and Strength Relate to Whole-Body Muscle in the Community-Dwelling Elderly, ○口腔リハビリ誌, 2016 ; 29 (1) : 1-8. (学位論文)
8. 戸原 雄, 菊谷 武, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田中康貴, 田村文誉 : 市販咀嚼訓練食品を用いた咀嚼能力評価, ○日摂食嚥下リハ会誌, 2017 ; 21 (1) : 3-10.
9. *Sagawa K, Kikutani T, Tamura F, Yoshida M : Factors related to skeletal muscle mass in the frail elderly, ©Odontology, 2017 ; 105 (1) : 91-95, doi : 10.1007/s10266-015-0231-4. (学位論文)
10. Mitsuoka K, Kikutani T, Sato I : Morphological relationship between the superior cervical ganglion and cervical nerves in Japanese cadaver donors, ©Brain Behav, 2016 ; 7 (2) : e00619, doi : 10.1002/brb3.619.
11. Watanabe Y, Hirano H, Arai H, Morishita S, Ohara Y, Edahiro A, Murakami M (7th), Shimada H (8th), Kikutani T (9th), Suzuki T (10th) (10 authors) : Relationship Between Frailty and Oral Function in Community-Dwelling Elderly Adults, ©J Am Geriatr Soc, 2017 ; 65 (1) : 66-76, doi : 10.1111/jgs.14355.

12. Okabe Y, Furuta M, Akifusa S, Takeuchi K, Adachi M, Kinoshita T, Kikutani T (7th), Nakamura S (8th), Yamashita Y (9th) (9 authors) : Swallowing Function and Nutritional Status in Japanese Elderly People Receiving Home-care Services : A 1-year Longitudinal Study, ◎J Nutr Health Aging, 2016 ; 20 (7) : 697-704, doi : 10.1007/s12603-015-0645-2.
13. Ohno T, Tamura F, Kikutani T, Morita T, Sumi Y : Change in Food Intake Status of Terminally Ill Cancer Patients during Last Two Weeks of Life : A Continuous Observation, ◎J Palliat Med, 2016 ; 19 (8) : 879-82, doi : 10.1089/jpm.2015.0495.
14. Htun NC, Ishikawa-Takata K, Kuroda A, Tanaka T, Kikutani T, Obuchi SP, Hirano H (7th), Iijima K (8th) (8 authors) : Screening for Malnutrition in Community Dwelling Older Japanese : Preliminary Development and Evaluation of the Japanese Nutritional Risk Screening Tool (NRST), ◎J Nutr Health Aging, 2016 ; 20 (2) : 114-20, doi : 10.1007/s12603-015-0555-3.

C. 総説・解説

1. 菊谷 武：シリーズ 身近な臨床・これからの歯科医のための臨床講座 85 地域で“食べる”を支えるということ，日本歯科医師会雑誌，69 (4) : 43-49, 2016.
2. 田村文誉：口から食育を考える 子供の食の発達支援，小児歯科臨床，21 (11) : 37-40, 2016.
3. 田村文誉：論説 食べる力を育てる—摂食指導の基礎・基本—，肢体不自由教育，(912) : 6-17, 2016.
4. 服部佳功，枝広あや子，渡邊 裕，平野浩彦，古屋純一，中島純子，田村文誉，北川 昇，堀 一浩，原 哲也，吉川峰加，西 恭宏，永尾 寛，市川哲雄，櫻井 薫：認知症患者の歯科治療に対する疑問と問題点—Clinical Question 調査から—，老年歯学，31 (1) : 3-8, 2016.
5. 水口俊介，津賀一弘，池邊一典，上田貴之，田村文誉，永尾 寛，古屋純一，松尾浩一郎，山本健，金澤 学，渡邊 裕，平野浩彦，菊谷 武，櫻井 薫：高齢期における口腔機能低下—学会見解論文 2016 年度版—，老年歯学，31 (2) : 81-98, 2016.
6. 有友たかね：地域包括ケアシステムにおける歯科衛生士の役割—多摩地区における活動を通じて—，障歯誌，37 (2) : 115-118, 2016.
7. 菊谷 武，古屋裕康：オーラルフレイルを知る 老年歯科学からの提言 3. 食べることの障害としてのオーラルフレイル，日本老年医学会雑誌，53 (4) : 341-346, 2016.
8. 菊谷 武：歯科診療室におけるオーラルフレイルへの対応，老年歯学，31 (4) : 412-416, 2017.

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 菊谷 武：特別解説 各種補助床を有効活用するための歯科医師との連携，歯科技工，44 (5) : 605-609, 2016.
2. 町田麗子，田村文誉，児玉実穂，高橋賢晃，保母妃美子，磯田友子，元開早絵，水上美樹，菊谷武：在宅訪問における重症心身障害児の摂食機能療法の必要性，障歯誌，37 (1) : 61-65, 2016.
3. 辰野 隆，鈴木健太郎，蒲池史郎，町田麗子，田村文誉：地域歯科医師会による摂食支援事業に対する障害者施設職員の意識調査，障歯誌，37 (1) : 54-60, 2016.
4. 菊谷 武，須田牧夫，関（保母）妃美子：クリニカル・アドバンス PAP 臨床のヒントと舌圧測定的位置づけ，DENTAL DIAMOND，41 (5) : 230-236, 2016.
5. 須田牧夫：私の工具箱 歯科訪問診療時の感染予防に ディスポーザブルクリーンボックス，The Quintessence，35 (5) : 1142, 2016.
6. 菊谷 武：「食べる」を支える訪問歯科 8 認知症と歯科—I 食べることや口腔ケアにこんなに影

- 響する, 医療と介護 Next2, 2 (2) : 52-53, 2016.
7. 菊谷 武:「食べる」を支える訪問歯科 9 認知症と歯科—II 地域医療の最前線として早期発見も手厚いケアも, 医療と介護 Next3, 2 (3) : 50-51, 2016.
 8. 菊谷 武:「食べる」を支える訪問歯科 10 認知症と歯科—III ステージに応じて適切な介助が必要になる, 医療と介護 Next4, 2 (4) : 56-57, 2016.
 9. 菊谷 武:「食べる」を支える訪問歯科 11 摂食機能を正しく評価するポイント, 医療と介護 Next5, 2 (5) : 58-59, 2016.
 10. 菊谷 武:「食べる」を支える訪問歯科 最終回 思い悩みながら「口から食べたい」を支える, 医療と介護 Next6, 2 (6) : 52-53, 2016.
 11. 菊谷 武: Part.4 特別インタビュー②誤嚥性肺炎予防と食べられる口づくりに向け歯科医師と管理栄養士が連携しよう, ヘルスケア・レストラン, 24 (5) : 24-25, 2016.
 12. 菊谷 武: 診療研究 お家に行こう! ~訪問歯科診療のススメ~ (1), 月刊保団連, 1219 : 44-47, 2016.
 13. 菊谷 武: Event report いろいろレストラン・キッズ, ヘルスケア・レストラン, 24 (7) : 86-87, 2016.
 14. 菊谷 武: 歯の数だけでは決まらない そしゃく障害, 週刊朝日 MOOK いい歯医者 2016, 16-19, 2016.
 15. 菊谷 武: 特別鼎談 栄養食事指導が変わった今こそチャンス 嚥下調整食で在宅療養者への道を拓こう, ヘルスケア・レストラン, 24 (8) : 25-30, 2016.
 16. 菊谷 武: 医療界ヒット商品最前線 株式会社ジェイ・エム・エス「JMS 舌圧測定器 TPM-01」, MEDICAL QOL, 42-45, 2016.
 17. 菊谷 武: 歯医者さんの専門分野別 Q&A 訪問診療, 本気で探す 頼りになるいい歯医者さん, 114-115, 2016.
 18. 菊谷 武: 特集 オーラルフレイルの現状と課題 4. オーラルフレイル—要介護高齢者への評価と介入, PROGRESS IN MEDICINE, 31-35, 2016.
 19. 菊谷 武: 食べる力を取り戻そう, 聖教新聞, 12, 2016年9月21日付.
 20. 菊谷 武: 舌の筋トレ知ってますか?, 日本経済新聞, 7, 2016年10月1日付.
 21. 菊谷 武: 「口腔ケア」が認知症を防ぐ, 週刊文春, 126-128, 2016年11月17日号.
 22. 菊谷 武: 摂食嚥下障害, 井艸恵美, 酒井寛史, 杉村 健, 岡本直裡, 加納さゆり 編, 週刊朝日 MOOK 完全保存版新「名医」の最新治療 2017, 193-195, 2016.
 23. 田村文誉: 摂食嚥下障害のある在宅重症心身障害児への支援, 地域リハビリテーション, 11 (7) : 435-440, 2016.
 24. 田村文誉, 山田裕之: Q&A 食事指導を始めるときの心構え, DENTAL DIAMOND11, 147-148, 2016.
 25. 水上美樹: クッキー教室交流会, トピックス, デンタルハイジーン, 36 (11) : 1217, 2016.
 26. 水上美樹: 発達期嚥下調整食分類の統一にむけた実態調査からみえたこと, 弘中祥司 編, 発達期の嚥下調整食, Medical rehabilitation, 202 : 27-32, 2016.
 27. 菊谷 武: 舌を鍛えて「寝たきり」予防!, 週刊文春, 37-40, 2017年2月23日号.
 28. 菊谷 武: 特集 オーラルフレイル予防と健康づくり 高齢者支援におけるオーラルフレイルの位置づけ~要介護高齢者に対する食の支援~, 介護福祉・健康づくり, 3 (2) : 91-95, 2017.
 29. 菊谷 武: 探る「口の周りの筋肉鍛える」, 読売新聞, 16, 2017年3月9日付.
 30. 菊谷 武: “住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアシステムの現場から “食べる”を支える口腔リハビリテーション多摩クリニックの取り組み, DENTAL DIAMOND 1, 42 (1) :

162-165, 2017.

31. 田村文誉, 水上美樹, 山田裕之, 菊谷 武: “住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアシステムの現場から 小児の摂食外来, DENTAL DIAMOND 2, 42 (2): 2-6, 2017.
32. 佐川敬一朗, 尾関麻衣子, 戸原 雄, 須田牧夫, 菊谷 武: “住み慣れた街で生きる”を支援する 地域包括ケアシステムの現場から 外来診療, DENTAL DIAMOND 3, 42 (4): 158-161, 2017.
33. 菊谷 武: 多職種連携—衣食住を中心に: 認知症患者さんの「食」と多職種連携—2 認知症になったらまず歯科へ, 認知症の最新医療, 7 (1): 29-31, 2017.
34. 元開早絵, 小川賀子, 菊谷 武: 在宅療養中胃瘻患者の経口摂取に対する意見の相違に関する検討—胃瘻患者, 家族および担当介護支援専門員へのアンケート調査結果を通じて—, 老年歯学, 31 (4): 417-424, 2017.
35. 菊谷 武: たけしの健康エンターテイメント! みんなの家庭の医学, 朝日放送, 2016年9月25日. 【テレビ出演】
36. 菊谷 武: あさいチ, NHK 総合大阪, 2016年10月26日. 【テレビ出演】
37. 菊谷 武: 中居正広のミになる図書館, テレビ朝日, 2016年11月15日. 【テレビ出演】
38. 菊谷 武: 健康カプセル! ゲンキの時間, CBC (TBS 系列), 2017年3月12日. 【テレビ出演】
39. 田村文誉: 口腔ケアで叶えるイキイキ生活, げんきなカラダ, JR 共済, http://social.ja-kyosai.or.jp/genkinakarada/care/care_002.html.
40. 田中祐子, 水上美樹, 西澤加代子, 有友たかね: 歯科衛生士のお仕事, 日歯 8020 テレビ, 日本歯科医師会ホームページ, <https://www.jda.or.jp/tv/83.html>.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 山田裕之, 小方清和, 松田英恵, 鈴木厚子, 佐藤潤子: 入院患児の肺炎予防と小児歯科の役割—後ろ向き調査による検証—, 小児歯科学雑誌, 54 (2): 192, 2016.
2. 松田英恵, 小方清和, 山田裕之, 鈴木厚子, 佐藤潤子: 多動性障害児のエナメル上皮腫に対し保存的外科療法を用いた一例, 小児歯科学雑誌, 54 (2): 214, 2016.
3. Shimazu K, Karibe H, Yamada H, Ogata K: Influence of Saliva Contamination on Adhesion in Class V Restorations, 小児歯科学雑誌, 54 (2): 284, 2016.
4. Sagawa K, Furuya H, Ohara Y, Yoshida M, Hirano H, Iijima K, Kikutani T: Tongue function is important for masticatory performance in the elderly people, 23rd iADH Congress in Conjunction with the SCDA 28th Annual Meeting, 2016.
5. Yajima Y, Yoshida M, Tamura F, Kikutani T: Relationship between tongue strength and life prognosis in elderly people needing at-home nursing care, 23rd iADH Congress in conjunction with the SCDA 28th Annual Meeting, 2016.
6. Furuya H, Yajima Y, Sagawa K, Tamura F, Kikutani T: Approach to resuming oral food intake in patients receiving gastrostomy tube feeding at home, 23rd iADH Congress in Conjunction with the SCDA 28th Annual Meeting, 2016.
7. 後藤優子, 勝部真由, 五味麻里, 戸原 雄, 五十嵐公美, 森光朋子: 倫理的な意思決定を考える—摂食嚥下機能障害についての基礎知識とロールプレイを通して—, 日本精神看護学会第 26 回学術大会・総会プログラム・抄録集, 76, 2016.

8. 橋本久美, 西脇恵子, 高島良代, 窪 舞 : 感情表現の訓練について—広汎性発達障害児 1 例における検討, 第 42 回日本コミュニケーション学会学術講演会予稿集, 42 : 83, 2016.
9. 高島良代, 西脇恵子, 橋本久美, 窪 舞 : 自閉症を伴うダウン症候群児 1 症例におけるコミュニケーション態度の特徴, 第 42 回日本コミュニケーション学会学術講演会予稿集, 42 : 101, 2016.
10. 橋本久美, 高島良代, 西脇恵子, 下嶋哲也, 須釜慎子, 水上美樹, 西澤加代子, 菊谷 武 : 特別支援学校との連携 : 3 年間の活動の経過と課題, 第 17 回日本語聴覚学会プログラム・抄録集, 17 : 235, 2016.
11. 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武 : 当クリニックを受診した摂食嚥下障害患者における高齢者総合的機能評価, 日本老年医学会雑誌, 53 (臨時増刊号) : 95-96, 2016.
12. 佐川敬一朗, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武 : 地域における嚥下調整食の実態調査, 老年歯学, 31 (2) : 153-154, 2016.
13. 中川量晴, 松尾浩一郎, 町田奈美, 金澤 学, 古屋純一, 谷口裕重, 津賀一弘, 池邊一典, 上田貴之, 田村文誉, 永尾 寛, 山本 健, 櫻井 薫, 水口俊介 : 入院患者における口腔衛生状態と栄養状態—日本老年歯科医学会学術委員会主導研究 (プロジェクト藤田) —, 老年歯学, 31 (2) : 162-163, 2016.
14. 仲澤裕次郎, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田中祐子, 田村文誉, 菊谷 武 : 地域健康高齢者の口腔機能とフレイルとの関連について, 老年歯学, 31 (2) : 164-165, 2016.
15. 元開早絵, 田村文誉, 菊谷 武 : 在宅療養中胃瘻患者の実態調査, 老年歯学, 31 (2) : 172-173, 2016.
16. 谷口裕重, 松尾浩一郎, 町田奈美, 金澤 学, 中川量晴, 古屋純一, 津賀一弘, 池邊一典, 上田貴之, 田村文誉, 永尾 寛, 山本 健, 櫻井 薫, 水口俊介 : 入院患者における舌圧と栄養, 握力との関連—日本老年歯科医学会学術委員会主導研究 (プロジェクト藤田) —, 老年歯学, 31 (2) : 177-178, 2016.
17. 白部麻樹, 平野浩彦, 小原由紀, 飯島勝矢, 菊谷 武, 本川佳子, 村上正治, 枝広あや子, 渡邊裕 : 地域在住高齢者の歯周疾患実態調査報告—口腔の状態と機能, および全身との関連—, 老年歯学, 31 (2) : 191, 2016.
18. 森下志穂, 平野浩彦, 渡邊 裕, 枝広あや子, 小原由紀, 村上正治, 菊谷 武 : 軽度認知障害 (MCI) 高齢者の口腔機能低下に関する研究, 老年歯学, 31 (2) : 191-192, 2016.
19. 辰野 隆, 鈴木健太郎, 宮原隆雄, 加島正浩, 田村文誉, 菊谷 武 : 口腔機能向上プログラムによる効果, 老年歯学, 31 (2) : 193-194, 2016.
20. 高橋徳昭, 奥山秀樹, 三上隆浩, 占部秀徳, 木村年秀, 南 温, 高橋 健, 岡林志伸, 植田耕一郎, 菊谷 武, 平野浩彦 : 摂食嚥下障害を有する高齢者に対する地域支援体制の取組収集・分析に関する調査—第 1 報 個別事例調査—, 老年歯学, 31 (2) : 194, 2016.
21. 三上隆浩, 奥山秀樹, 高橋徳昭, 占部秀徳, 木村年秀, 南 温, 高橋 健, 岡林志伸, 植田耕一郎, 菊谷 武, 平野浩彦 : 摂食嚥下障害を有する高齢者に対する地域支援体制の取組収集・分析に関する調査—第 2 報 全国アンケート調査—, 老年歯学, 31 (2) : 195, 2016.
22. 葉山莉香, 上枝麻友, 菊谷 武, 松香芳三 : 経口摂取が可能となり, 胃瘻から脱却した一症例, 老年歯学, 31 (2) : 257-258, 2016.
23. 関野 愉, 内山恵理, 菊谷 武, 田村文誉, 沼部幸博 : 介護老人福祉施設における口腔ケアの実際, 老年歯学, 31 (2) : 278-279, 2016.
24. 佐川敬一朗 : 入院中から継続的な介入を行い在宅にて経口移行可能なレベルまで改善した誤嚥性肺炎患者の一例, 日本老年歯科医学術第 27 回総会・学術大会プログラム・抄録集, 242, 2016.

25. 古屋裕康：嚥下代償法獲得により一部経口摂取が可能となった症例，日本老年歯科医学術第 27 回総会・学術大会プログラム・抄録集，250，2016.
26. 保母妃美子：全身の廃用と骨棘による嚥下機能低下により栄養障害および誤嚥性肺炎を発症した 1 症例，日本老年歯科医学術第 27 回総会・学術大会プログラム・抄録集，273，2016.
27. 戸原 雄：認知機能の向上に伴って咀嚼機能の向上が認められた一例，日本老年歯科医学術第 27 回総会・学術大会プログラム・抄録集，277，2016.
28. 菊谷 武：在宅訪問による摂食嚥下リハビリテーションにより腸痙攣に陥った 1 例，日本老年歯科医学術第 27 回総会・学術大会プログラム・抄録集，279，2016.
29. 菊谷 武：運動障害性咀嚼障害を伴う高齢者の食形態の決定，日本補綴歯科学会誌，8 (2) : 126-131，2016.
30. 田中祐子，有友たかね，水上美樹，菊谷 武：歯科訪問診療時における摂食嚥下障害患者に対する支援，日本歯科衛生学会雑誌，11 (1) : 136，2016.
31. 戸原 雄，田中康貴，矢島悠里，五十嵐公美，田村文誉，菊谷 武：市販咀嚼訓練食品を用いた咀嚼機能評価の試み，第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム集，56，2016.
32. 佐川敬一朗，原 純也，松野さおり，田村文誉，菊谷 武：東京都北多摩南部医療圏における嚥下調整食の事態調査嚥下調整食の実態調査，第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，86，2016.
33. 戸原 雄，田中康貴，矢島悠里，五十嵐公美，田村文誉，菊谷 武：市販咀嚼訓練食品を用いた咀嚼機能評価の試み，第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム集，286，2016.
34. 松野さおり，原 純也，佐々木佳奈恵，佐川敬一朗，江藤美佳，阿部久美子，道脇幸博，菊谷 武：地域連携推進のための調査報告，第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，346，2016.
35. 五十嵐公美，田村文誉，菊谷 武：EAT-10 を用いた地域在住高齢者における嚥下障害の実態調査，第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，374，2016.
36. 楊 秀慶，田村文誉：舌突出型嚥下に対する可撤式装置 Hidey の効果，第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，394，2016.
37. 佐川敬一朗，原 純也，松野さおり，矢島悠里，五十嵐公美，蝦原賀子，田村文誉，菊谷 武：東京都北多摩南部医療圏における嚥下調整食の実態調査，第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，489，2016.
38. 有友たかね，矢島悠里，保母妃美子，磯田友子，佐川敬一朗，田中祐子，田村文誉，菊谷 武：口腔細菌数を指標とした口腔衛生指導が非経口摂取患者の経口摂取再開に奏功した一例，第 23 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム集，573，2016.
39. 町田麗子，児玉実穂，高橋賢晃，須釜慎子，元開早絵，磯田友子，水上美樹，田村文誉：重症心身障害児に対する訪問摂食嚥下リハビリテーションの効果，第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，613，2016.
40. 川名弘剛，高橋賢晃，田村文誉，菊谷 武：精神疾患を有する咽頭・喉頭ジストニアにおける摂食嚥下機能障害の 1 症例，障歯誌，37 (3) : 53，2016.
41. 宮山友紀，梅津糸由子，児玉実穂，岡山浩美，新見嘉邦，落合真美，奈良輪智恵：福祉センター歯科の最近 5 年間の初診患者の実態調査，障歯誌，37 (3) : 281，2016.
42. 小坂美樹，小方清和，横山雄士，田村文誉：在宅療養中の重症心身障害児を地域で支える訪問歯

科医療連携システムの構築, 障歯誌, 37 (3) : 377, 2016.

43. 磯田友子, 水上美樹, 田村文誉, 菊谷 武 : ネマリンミオパチーの高口蓋に対する舌接触補助床の装着が有効であった一症例, 障歯誌, 37 (3) : 339, 2016.
44. 戸原 雄, 菊谷 武, 五十嵐公美 : 摂食嚥下専門クリニックにおける ICT (Medical Care Station) を用いた多職種連携, 第 30 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, 41, 2016.
45. 西澤加代子, 水上美樹, 須釜槇子, 高島良代, 橋本久美, 田村文誉, 菊谷 武 : 知的障害特別支援学校における教育支援員指導のかかわり—第 1 報 歯科における 4 年間の指導について—, 第 80 回全国学校歯科保健研究大会大会要項, 53, 2016.
46. 水上美樹, 西澤加代子, 須釜槇子, 高島良代, 橋本久美, 田村文誉, 菊谷 武 : 知的障害特別支援学校における教育支援員指導のかかわり—第 2 報 初回摂食指導評価における実態—, 第 80 回全国学校歯科保健研究大会大会要項, 54, 2016.
47. 大原寛之, 東口高志, 菊谷 武, 丸山道生, 葛谷雅文, 松岡政三, 真田弘美, 鎌倉やよい, 伊藤彰博, 森 直治 : 「ワイプとひとくち栄養法」による誤嚥性肺炎予防の効果—日本医療開発機構科学研究費補助金事業より—, 第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 382, 2017.
48. 佐川敬一郎, 矢島悠里, 五十嵐公美, 田村文誉, 菊谷 武 : 地域における嚥下調整食の実態調査および嚥下調整食支援ホームページの作成に関する報告, 第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 426, 2017.
49. 戸原 雄, 菊谷 武, 田村文誉, 五十嵐公美, 尾関麻衣子 : 在宅高齢者の安全な経口摂取を支えるための ICT を用いた多職種連携の有効性の検討, 第 32 回日本静脈経腸栄養学会学術集会, 759, 2017.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. Tamura F : Dysphagia treatment for disabled children and long-term care patients in Japan, 高雄医学大学口腔医学院, 2016 年 5 月 2-7 日.
2. Tamura F : The roles of dentists and oral hygienists in dysphagia evaluation and treatment, International Symposium of the 8th Research Day, 高雄医学大学 ; 台湾, 2016 年 5 月 6 日.
3. 田村文誉 : 「口から食育を考えるシンポジウム」子どもの食の発達支援, 第 10 回アジア小児歯科学会, シンポジウム, 東京都文京区, 2016 年 5 月 28 日.
4. 戸原 雄 : 第 4 回全国医療介護連携ネットワーク研究会シンポジウム第一部 地域で広まる ICT ~多職種連携システム : 広まる活用と高まる未来への期待~, 第 27 回日本在宅医療学会学術大会, シンポジウム, 神奈川県横浜市, 2016 年 6 月 4 日.
5. 菊谷 武 : 地域で食べるを支えるということ~在宅で食べ続けるためにできる支援~, 第 10 回日本緩和医療薬学会年会, シンポジウム 17 - 3, 静岡県浜松市, 2016 年 6 月 5 日.
6. 菊谷 武 : 2. 口腔ケアを重視する, 第 58 回日本老年医学会学術集会, 高齢者のディベートセッション 9 くり返す高齢者の誤嚥性肺炎 : 予防のエビデンス, 石川県金沢市, 2016 年 6 月 10 日.
7. 菊谷 武 : 新しい咀嚼機能評価法と食形態の決定, 第 17 回日本言語聴覚学会, ランチョンセミナー 5, 京都府京都市, 2016 年 6 月 11 日.
8. 菊谷 武 : 歯科診療室からオーラルフレイルを考える, 日本老年歯科医学会第 27 回学術大会, シンポジウム 1, 徳島県徳島市, 2016 年 6 月 18 日.
9. 田村文誉 : 口腔機能を診る 2~舌および周辺能力, 日本老年歯科医学会第 27 回学術大会, 入門セミナー 3, 徳島県徳島市, 2016 年 6 月 18 日.

10. 菅 武雄, 米山武義, 菊谷 武, 吉田光由, 渡邊 裕, 渡部芳彦, 花形哲夫, 猪原 光, 星野由美, 飯田良平: 口腔管理の実際 2～口腔咽頭吸引の理論と実際～, 日本老年歯科医学会第 27 回学術大会, ハンズオンセミナー2, 徳島県徳島市, 2016 年 6 月 19 日.
11. 田村文誉: 外部観察評価・食内容指導, 日本障害者歯科学会摂食嚥下研修会, 東京都小金井市, 2016 年 7 月 17 日.
12. 菊谷 武: 歯科医療として挑むオーラルフレイル, 第 11 回日本口腔ケア協会学術大会, 特別講演 1, 新潟県新潟市, 2016 年 8 月 21 日.
13. 田村文誉: 食事外部観察評価, 公益社団法人日本歯科衛生士会 平成 28 年度認定歯科衛生士セミナー, 認定セミナー 摂食嚥下リハビリテーションコース, 東京都千代田区, 2016 年 8 月 28 日.
14. 菊谷 武: 在宅訪問管理栄養士の現状と今後の期待について (歯科), 第 63 回日本栄養士改善学会学術総会, ワークショップ⑤, 青森県青森市, 2016 年 9 月 8 日.
15. 菊谷 武: 口腔リハビリテーションについて, 2016 年 IDI 歯科学会, 特別講演 2, 東京都文京区, 2016 年 9 月 11 日.
16. 菊谷 武: 住み慣れた地域で暮らし続けるために一食の支援からみた取り組み一, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, ランチョンセミナー1, 新潟県新潟市, 2016 年 9 月 23 日.
17. 菊谷 武: 新しい咀嚼機能法と食形態の決定, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, ランチョンセミナー6, 新潟県新潟市, 2016 年 9 月 24 日.
18. 菊谷 武: スマイルケア食, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, シンポジウム 4, 新潟県新潟市, 2016 年 9 月 24 日.
19. 須田牧夫: 歯科衛生士が知っておきたい摂食嚥下, 第 33 回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 歯科衛生士基礎講座Ⅱ, 埼玉県さいたま市, 2016 年 10 月 1 日.
20. 田村文誉: 障害者歯科 地域からのメッセージ 「摂食嚥下リハビリテーション専門クリニックにおける地域医療ネットワーク」, 第 33 回日本障害者歯科学会総会および学術大会, シンポジウム, 埼玉県さいたま市, 2016 年 10 月 1 日.
21. 菊谷 武: 認知症と歯科—認知症になったらすること, 認知症になる前にすること—, 第 33 回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 市民公開講座, 埼玉県さいたま市, 2016 年 10 月 2 日.
22. 菊谷 武: お家に行こう!—いま求められる, 食支援—, 第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会, 歯科衛生士シンポジウム, 新潟県新潟市, 2016 年 10 月 8 日.
23. 田村文誉: “子どもの摂食嚥下の具体的なアセスメントの実際”, 日本健康・栄養システム学会, 栄養ケア・マネジメント研修会, 神奈川県, 2016 年 10 月 9 日.
24. 菊谷 武: 地域で「食べる」を支えるということ, 第 23 回日本歯科医学会総会, シンポジウム 10, 福岡県福岡市, 2016 年 10 月 23 日.
25. 田村文誉: 地域連携最前線: 国民目標の到達目標を考える, 第 23 回日本歯科医学会総会, シンポジウム 6, 福岡県福岡市, 2016 年 10 月 23 日.
26. 田村文誉: 摂食嚥下機能に遅れや障害のある子への支援, 第 34 回日本小児歯科学会九州地方大会および総会, 特別講演Ⅱ, 宮崎県宮崎市, 2016 年 10 月 30 日.
27. 菊谷 武: 地域で“食べる”を支えるということ, 第 61 回日本口腔外科学会, 教育講演 3, 千葉県千葉市, 2016 年 11 月 27 日.
28. 田村文誉: 解説: 子どもの食の問題に関する FAQ の活用に向けて, 日本歯科医学会, 歯科医療関係者向け研修会, 東京都千代田区, 2016 年 11 月 27 日.
29. 田村文誉: 子どもと大人の「食べる」と「歯と口の健康」子どもの食べる機能を育むために, 平

成 28 年度口腔保健シンポジウム (厚生労働省), パネルディスカッション, 神奈川県横浜市, 2017 年 3 月 18 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 磯田友子: 肢体不自由児の摂食指導, 平成 28 年度東京都立八王子東特別支援学校新転任者研修会, 東京都八王子市, 2016 年 4 月 6 日.
2. 菊谷 武: 食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか, 2016 コサカ臨床医様向けセミナー<日本歯科医師会生涯研修事業認定研修会>, 東京都練馬区 (2016 年 4 月 21 日), 第 25 回ライオン New Year セミナー, 大阪府大阪市 (2016 年 4 月 24 日), 金沢歯科医師会学術講演会, 石川県金沢市 (2016 年 7 月 24 日), 日本口腔インプラント学会認定講習会研修会, 東京都港区 (2016 年 9 月 1 日), 第 69 回栃木県歯科医師学会, 栃木県宇都宮市 (2016 年 11 月 3 日), 沖縄県歯科医師会平成 28 年度歯科医療従事者技術向上支援研修会, 沖縄県中頭郡 (2017 年 2 月 26 日).
3. 田村文誉: 「経管栄養時に家庭でできる摂食訓練~摂食指導リーフレットの活用術~」 間接訓練, 東京療育ネット摂食指導講習会, 東京都国分寺市, 2016 年 4 月 23 日.
4. 菊谷 武: 食べることが困難になった高齢者に歯科は何ができるのか?, 一般社団法人日本老年歯科医学会奈良支部共催セミナー「第 3 回在宅療養支援歯科診療所の施設基準講習会」, 奈良県奈良市, 2016 年 5 月 8 日.
5. 菊谷 武: 咀嚼機能が支える高齢長寿社会, 第 4 回日本老年医学会プレスセミナー, 東京都千代田区, 2016 年 5 月 9 日.
6. 田村文誉: 訪問歯科診療での摂食嚥下リハビリテーション, TDSG, 大阪府豊中市, 2016 年 5 月 14 日.
7. 有友たかね: 口腔ケアって大切ななの?, 第 25 回在宅医療・緩和ケアカンファレンス研修会, 東京都三鷹市, 2016 年 5 月 12 日.
8. 橋本久美: ことばの発達とコミュニケーション, 第 1 回 Happy Terrace Kids 勉強会, 千葉県柏市, 2016 年 5 月 21 日.
9. 戸原 雄: みんなで覚えよう! 嚥下のスクリーニング, 日本精神科看護協会主催学術講演会, ルミエール府中, 2016 年 5 月 26 日.
10. 菊谷 武: 低栄養の評価と歯科医療, 高輪会訪問部門歯科医師・歯科衛生士対象勉強会, 東京都品川区, 2016 年 5 月 26 日.
11. 菊谷 武: 嚥下食における地域連携, 第 3 回東京都栄養士会, 東京都世田谷区, 2016 年 5 月 28 日.
12. 須田牧夫: 摂食嚥下機能障害とは~高齢者への対応~, 学校法人北斗文化学園特定非営利活動アイケアネット産学連携地域包括ケア推進プロジェクト研修会, 北海道札幌市, 2016 年 5 月 30 日.
13. 磯田友子: 食べる機能の発達, 平成 28 年度東京都立小平特別支援学校全校研修会, 東京都小平市, 2016 年 5 月 31 日.
14. 有友たかね: 口腔から健康アップ, 平成 28 年度小金井市介護予防リーダー研修会, 東京都小金井市, 2016 年 5 月 31 日.
15. 戸原 雄: 生活における舌の機能その評価とリハビリテーション, 青葉区歯科医師会学術講演会, 東京都青葉区, 2016 年 6 月 11 日.
16. 菊谷 武: 「食べること」を支える, 三鷹市医師会地域ケア会議, 東京都三鷹市, 2016 年 6 月 13 日.
17. 菊谷 武: 地域連携における食支援の必要性, 品川・大田医療福祉栄養士の会講演会, 東京都大

- 田区, 2016年6月21日.
18. 菊谷 武: ケースプレゼンテーションの進め方, 東京都立心身障害者口腔保健センター評価医養成研修, 東京都新宿区, 2016年6月23日.
 19. 菊谷 武: 口から食べる, 口のお手入れの重要性, 多摩府中給食施設協議会フード展示会&市民公開講座, 東京都調布市, 2016年6月24日.
 20. 児玉実穂: 妊産婦の口腔環境の変化と口腔管理~マイナス1歳からの口腔管理~, ママとこどもの健康フォーラム, 茨城県猿島群, 2016年6月25日.
 21. 菊谷 武: 咀嚼嚥下の理解と食べる機能を引き出す栄養食事指導のポイント, ヘルスケア・レストラン特別セミナー, 東京都新宿区 (2016年6月25日), 福岡県福岡市 (2016年6月27日), 大阪府大阪市 (2016年7月23日).
 22. 菊谷 武: お家に行こう! ~お家に行き行って行う事, お家に行く前に行う事~, 2016モリタ友の会クリニカルカルチャー講演会, 東京都千代田区 (2016年6月26日), 平成28年度新潟県歯科医学会, 新潟県新潟市 (2016年11月6日).
 23. 菊谷 武: 地域における摂食支援~嚥下調整食連携の必要性~, さっぽろNST講演会, 北海道札幌市, 2016年6月26日.
 24. 田村文誉: 食べる機能を育てる, 世田谷区保健所健康推進課平成28年度第2回特定求職施設講習会, 東京都世田谷区, 2016年6月27日.
 25. 菊谷 武: 食べ続けるために, 宮城県大崎歯科医師会食をサポートするみなさまと共に「食べる」を考える講演会, 宮城県大崎市, 2016年7月3日.
 26. 尾関麻衣子: 脳血管疾患や認知症の方の“口から食べる”支援—多職種連携を通じて—, 第3回特定給食施設栄養管理講習会, 東京都町田市, 2016年7月4日.
 27. 水上美樹: 重症心身障害児・者に対する口腔ケア ~より良い口腔ケアを行うために~, 第21回重症心身障害児(者)QOL向上懇話会, 東京都, 2016年7月8日.
 28. 児玉実穂: 妊婦の口腔内環境変化と安心安全な歯科治療~マイナス1歳からの口腔管理~, 7月講演会, 静岡県藤枝市, 2016年7月14日.
 29. 菊谷 武: 美味しい食事のための「食べる」介護~食事の困った!にお答えします~, 船橋市市民講演会, 千葉県船橋市, 2016年7月15日.
 30. 菊谷 武: 摂食・嚥下障害と栄養ケア, 公益社団法人埼玉県栄養士会第1回生涯教育研修会, 埼玉県さいたま市, 2016年7月16日.
 31. 有友たかね: さあ、はじめよう!在宅訪問診療, 日本デンタルショー(株)モリタ講演会, 東京都江東区, 2016年7月16日.
 32. 須田牧夫: 摂食嚥下障害者の診査, 対応方法について, 学校法人北斗文化学園特定非営利活動アイケアネット産学連携地域包括ケア推進プロジェクト研修会, 北海道札幌市, 2016年7月23日.
 33. 児玉実穂: 重症心身障害児(者)のオーラルケア, 平成28年度訪問看護師等育成研修(レベルアップ編), 東京都新宿区, 2016年7月25日.
 34. 須田牧夫: 口腔咽頭吸引の基礎知識, 日本歯科大学東京短期大学みなぎき会, 東京都千代田区, 2016年7月31日.
 35. 町田麗子: 1. 食べる機能の発達と障害, 2. 摂食嚥下機能障害への対応, 平成28年度都立学校形態別調理講習会, 東京都文京区, 2016年8月1日.
 36. 菊谷 武: 認知症と歯科~認知症になる前にすること, 認知症になってからすること~, 船橋市歯と口の健康に関する市民講演会, 千葉県船橋市 (2016年8月6日), 石川県口腔インプラント研究会市民公開講座, 石川県金沢市 (2016年10月16日), 東京都滝乃川歯科医師会口腔ケアサ

- ポートセミナー，東京都北区（2016年10月26日），小金井市市民公開講座，東京都小金井市（2016年11月3日），小平市市民公開講座，東京都小平市（2016年11月7日），平成28年度公益社団法人東京都八南歯科医師会八王子支部講演会，東京都八王子市（2017年1月8日，2017年3月18日）。
37. 須田牧夫：認知症患者への摂食機能療法について，学校法人北斗文化学園特定非営利活動イケアネット産学連携地域包括ケア推進プロジェクト研修会，北海道小樽市，2016年8月10日。
 38. 菊谷 武：嚥下食における地域での食支援，東京都委託事業栄養指導従事者教育事業，東京都新宿区，2016年8月19日。
 39. 菊谷 武：地域で食べるを支えるということ，日本精神医学会認定栄養士研修会，東京都港区（2016年8月22日），小笠掛川歯科医師会主催平成28年度多職種連携口腔機能研修会，静岡県掛川市（2016年9月10日），八尾市歯科医師会市民公開講座，大阪府八尾市（2017年2月4日）。
 40. 高島良代：口蓋裂言語 構音の特徴について，若手のための夏の口唇裂・口蓋裂矯正治療勉強会，東京都千代田区，2016年8月25日。
 41. 菊谷 武：摂食嚥下障害摂食嚥下障害者への口腔管理と制度の理解，公益社団法人日本歯科衛生士会平成28年度認定歯科衛生士セミナー，東京都千代田区，2016年8月27日。
 42. 菊谷 武：地域で食べるを支える一歯科医院で取り組む対オーラルフレイル戦略一，全国在宅療養支援歯科診療所連絡会，東京都文京区，2016年8月28日。
 43. 古屋裕康：在宅における摂食嚥下障害への対応，佐々訪問看護ステーション職員研修会，東京都西東京都，2016年8月30日。
 44. 菊谷 武：在宅訪問管理栄養士の現状と今後の期待について（歯科），第63回日本栄養改善学会学術総会，青森県青森市，2016年9月8日。
 45. 菊谷 武：いつまでも口からおいしく食べるために，調布市歯科医師会主催介護予防講演会，東京都調布市，2016年9月9日。
 46. 田村文誉：上手に食べるお手伝い～発達に応じた摂食支援～，船橋市役所健康政策課主催講演会，千葉県船橋市，2016年9月10日。
 47. 菊谷 武：お家へ行こう！一地域における食支援，歯科医療情報推進機構学会，東京都文京区，2016年9月11日。
 48. 有友たかね：介護の実践～口腔ケアのポイントを学ぼう～，平成28年度小平市家族介護教室，東京都小平市，2016年9月15日。
 49. 菊谷 武：在宅における摂食嚥下障害への対応，北区歯科医師会平成28年度北区摂食嚥下機能支援評価要請研修会，東京都北区，2016年9月25日。
 50. 菊谷 武：認知症と歯科保健，町田市歯科保健研修会，東京都町田市，2016年9月26日。
 51. 菊谷 武：地域で「食べる」を支えるということ一地域における食支援連携の必要性一，第146回実践栄養指導勉強会，東京都東村山市，2016年9月27日。
 52. 菊谷 武：地域で行う食支援，フードシステムソリューション（F-SYS）2016病院・施設セミナー，東京都江東区，2016年9月28日。
 53. 菊谷 武：摂食嚥下機能低下患者に対する栄養食事指導，平成28年度福祉保健局・病院経営本部専門性向上研修職種職務専門研修，東京都文京区，2016年9月30日。
 54. 菊谷 武：認知症の人の食べるを支援する，関西看護ケア研究会，東京都大田区，2016年10月8日。
 55. 菊谷 武：病態別摂食嚥下障害，平成28年度認定歯科衛生士セミナー摂食嚥下リハビリテーションコース，東京都千代田区，2016年10月9日。

56. 水上美樹, 田中祐子: 摂食嚥下訓練, 平成 28 年度認定歯科衛生士セミナー摂食嚥下リハビリテーションコース, 東京都千代田区, 2016 年 10 月 9 日.
57. 水上美樹, 田中祐子: 問題解決力の実践, 平成 28 年度認定歯科衛生士セミナー摂食嚥下リハビリテーションコース, 東京都千代田区, 2016 年 10 月 10 日.
58. 田村文誉: 上手に食べられるかな? ~お子さんの口の発達と食べ方~, 公益社団法人西東京市歯科医師会第 6 回子育てフェスタ@西東京, 東京都西東京市, 2016 年 10 月 11 日.
59. 戸原 雄: 摂食機能障害における脳神経との解剖的理解, 船橋歯科医師会主催学術講演会, 千葉県船橋市, 2016 年 10 月 11 日.
60. 菊谷 武: オーラルフレイルを知り, 多職種・住民に何を伝えるか, 静岡県浜松市歯科医師会地域歯科保健推進研修会, 静岡県浜松市, 2016 年 10 月 11 日.
61. 磯田友子: 咬まない・詰め込む, 指しゃぶりなどへのアドバイス, 「子どもの食べる機能を育てよう」, 平成 28 年度国分寺市健康講座, 東京都国分寺市, 2016 年 10 月 13 日.
62. 菊谷 武: 食べることで生きる力を与えたい~口腔ケア最前線, 熊本県栄養士会 平成 28 年度秋季研修会, 熊本県, 2016 年 10 月 15 日.
63. 菊谷 武: 認知症の摂食嚥下リハビリテーション, 昭和大学スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門研究生研修会, 東京都品川区, 2016 年 10 月 20 日.
64. 戸原 雄: 咀嚼訓練により短期間で咀嚼機能が向上した一例, 平成 28 年度中野区在宅療養(摂食・えんげ機能)支援事業事例検討会, 中野区医師会館, 2016 年 10 月 25 日.
65. 新藤広基: 神経疾患疑い患者に対する在宅での長期にわたる 摂食嚥下リハビリテーション症例, 平成 28 年度中野区在宅療養(摂食・えんげ機能)支援事業事例検討会, 東京都中野区, 2016 年 10 月 25 日.
66. 菊谷 武: オーラルフレイルとは, 小金井市委託事業, 東京都小金井市, 2016 年 10 月 25 日.
67. 水上美樹: 摂食嚥下リハビリテーションの考え方—摂食・嚥下の観察・評価と訓練および咽頭部吸引の必要性—, 平成 28 年度年度厚生労働省助成事業 予防・在宅歯科医療等対応教員養成講習会(歯科衛生士専任教員講習会V), 東京都, 2016 年 10 月 29 日.
68. 戸原 雄: 外部観察とスクリーニング, 日本介護歯科衛生士養成協会主催講演会, 東京都昭島市, 2016 年 11 月 6 日.
69. 菊谷 武: 摂食嚥下について, NST 研究会, 東京都日野市, 2016 年 11 月 6 日.
70. 菊谷 武: 食形態連携の必要性, 東京都多摩府中保健所 平成 28 年度摂食嚥下機能支援基盤整備事業摂食嚥下機能支援研修会, 東京都府中市, 2016 年 11 月 8 日.
71. 菊谷 武: 「地域で“食べる”を支えるということ」~食形態連携による地域での取り組み~, 第 61 回日本病院会東京支部栄養部会研究会, 東京都港区, 2016 年 11 月 8 日.
72. 田村文誉: 障害のある人の口腔機能に合わせた食支援と口腔ケア, 新宿区健康部健康づくり推進係口腔機能向上指導者養成講座, 東京都新宿区, 2016 年 11 月 9 日.
73. 須田牧夫: 西多摩圏域における摂食嚥下機能支援の進め方について, 平成 28 年度西多摩保健医療圏摂食嚥下機能支援協議会, 東京都青梅市, 2016 年 11 月 10 日.
74. 菊谷 武: いつまでもおいしく食べられるために—いままでできること, これからすること—, 8020 健康社会フォーラム 2016, 青森県青森市, 2016 年 11 月 13 日.
75. 有友たかね: みんなではじめよう口腔ケア, 平成 28 年度口腔保健支援事業 第 1 回口腔ケア実技講習会, 千葉県船橋市, 2016 年 11 月 13 日.
76. 須田牧夫: 高齢者の摂食嚥下機能支援~食べること, 飲み込むことが困難な方に出会ったら~, 平成 28 年度摂食嚥下機能支援基盤整備研修会, 東京都福生市, 2016 年 11 月 17 日.

77. 菊谷 武：嚥下専門医による食べる機能に関する相談，府中市摂食嚥下専門相談，東京都府中市，2016年11月17日。
78. 須田牧夫：「こまっていますか？高齢者への対応」～患者の加齢変化への対応方法とは～，東京都日本歯科大学校友会芝支部会，東京都港区，2016年11月18日。
79. 菊谷 武：咀嚼機能評価から考える栄養管理，第7回「摂食・嚥下リハビリテーションと栄養ケアセミナー」，東京都品川区，2016年11月19日。
80. 有友たかね：口腔ケアのスキルを学ぶ，平成28年度歯科医療連携事業 歯科医療連携講演会，東京都国分寺市，2016年11月19日。
81. 菊谷 武：介護予防事業の現状と課題，平成28年度第2回東京都介護予防推進会議，東京都板橋区，2016年11月21日。
82. 水上美樹：どうしていますか？利用者の食事介助～安心安全に食べるために～，平成28年度障害者歯科保健研修会・施設連絡会，東京，2016年11月22日。
83. 佐川敬一郎：地域で摂食嚥下障害を支える，日野市摂食・嚥下機能支援推進事業説明会，東京都日野市，2016年11月22日。
84. 菊谷 武：認知症と歯科，世田谷区歯科医師会会員向け講演会，東京都世田谷区，2016年11月22日。
85. 水上美樹：在宅訪問歯科診療における口腔ケアの実際—口腔機能へのアプローチ—，平成28年度公益社団法人東京都歯科衛生士会在宅訪問歯科衛生士応援セミナー，東京，2016年11月23日。
86. 菊谷 武：口腔ケア，平成28年度回復期リハビリテーション看護師認定コース第10期，東京都港区，2016年11月24日。
87. 有友たかね：在宅口腔ケアと摂食嚥下の基礎知識，平成28年度小平市在宅医療介護連携推進協議会 テーマ研修会，東京都小平市，2016年11月24日。
88. 戸原 雄：事例検討会，東京都摂食・嚥下機能支援事業における研修，東京都千代田区，2016年11月25日。
89. 戸原 雄：摂食機能障害における脳神経との関係の理解，船橋摂食嚥下臨床研究会講演会，千葉県船橋市，2016年11月26日。
90. 須田牧夫：第1回要介護高齢者に対する安全に食べるための総合的アプローチ～摂食嚥下障害者への対応方法とは～，平成28年高齢者における口腔リハビリテーションセミナーNPO 法人アイケア・ネット，北海道札幌市，2016年11月26日。
91. 菊谷 武：摂食嚥下機能低下への介入，公益社団法人東京都栄養士会医療事業部 平成28年臨床栄養1日セミナー，東京都文京区，2016年11月26日。
92. 菊谷 武：知らないではすまされない食支援の基礎知識，長野県歯科衛生士会第4回専門的口腔ケア研修会，長野県佐久市，2016年11月27日。
93. 水上美樹：障害のある人の口腔機能に合わせた食支援と口腔ケア，口腔機能向上指導者養成講座，東京，2016年11月28日。
94. 須田牧夫：「高齢者への対応，素朴な疑問？」～高齢患者の歯科対応とは～，東京都日本歯科大学校友会豊島支部会，東京都豊島区，2016年11月30日。
95. 菊谷 武：「スマイルケア食」の現状と課題について，平成28年度地場食材活用栄養改善事業「スマイルケア食の普及・推進研修会」，東京都中央区，2016年11月30日。
96. 菊谷 武：認知症の人の「食べる」を支援する，看護ケア研究会看護実践セミナー，東京都大田区，2016年12月3日。
97. 田村文誉：子どもの食と歯科のかかわり，昭和大学同窓会城西支部，東京都中野区，2016年12月

3日.

98. 菊谷 武：口腔機能向上・ケア研修ステップアップ講座，社会福祉法人品川区社会福祉協議会平成28年度品川福祉カレッジ，東京都品川区，2016年12月6日.
99. 菊谷 武：地域で考える摂食嚥下機能支援シンポジウムシンポジスト専門クリニックの取組み，平成28年度北多摩南部保健医療圏摂食嚥下機能支援連絡会シンポジウム，東京都武蔵野市，2016年12月8日.
100. 須田牧夫：「見たことありませんか？こんな口腔症状」～口腔所見でわかる全身疾患と対応方法について～，東京都武蔵野市歯科医師会学術講演会，東京都武蔵野市，2016年12月9日.
101. 菊谷 武：オーラルフレイル～その概念と歯科診療室での対応～，長野県歯科医師会有病者歯科保健推進研修事業，長野県長野市，2016年12月15日.
102. 尾関麻衣子：一栄養士の視点から一嚥下調整食分類と実践，東京精神科病院協会 栄養部門研修会，東京都新宿区，2016年12月16日.
103. 菊谷 武：訪問歯科ガイダンス (5)「オーラルフレイル」について，兵庫県歯科医師会在宅歯科診療研修会，兵庫県神戸市，2016年12月18日.
104. 菊谷 武：おいしく安全に食べる，小金井市ヘルパー・介護職員向け研修会，東京都小金井市，2016年12月19日.
105. 尾関麻衣子：嚙む・飲み込むが困難な人の食事，小金井市介護職員現任研修，東京都小金井市，2016年12月19日.
106. 有友たかね：口腔衛生管理～嚥下障害のある患者への口腔ケア～，斎藤病院院内研修会，東京都府中市，2016年12月19日.
107. 菊谷 武：乳幼児の口腔の発達，高輪会訪問部門歯科医師・歯科衛生士対象勉強会，東京都品川区，2017年1月15日.
108. 有友たかね：在宅高齢者に対する専門的口腔ケアの実際，歯科衛生士集団研修会，東京都千代田区，2017年1月15日.
109. 戸原 雄：ワークショップ「ミールラウンドを始めよう！」，第4回日本老年歯科医学会岡山支部セミナー，岡山県瀬戸内市，2017年1月15日.
110. 菊谷 武：事例検討会まとめ，平成28年度北区摂食嚥下機能支援評価要請研修会，東京都北区，2017年1月17日.
111. 菊谷 武：摂食えん下障害患者に対する栄養指導，特別区職員研修所 平成28年度専門研修「栄養士」，東京都千代田区，2017年1月20日.
112. 菊谷 武：歯科診療室からオーラルフレイルを考える，香川デンタルスタディクラブ一日例会，香川県 (2017年1月22日)，TRAD デンタルフェア2017，神奈川県横浜市 (2017年2月11日).
113. 戸原 雄：在宅歯科医療の基礎，青森県三八歯科衛生士会研修会，青森県八戸市，2017年1月22日.
114. 戸原 雄：症例検討，中野区在宅療養 (摂食・えん下機能) 支援事業事例検討会，東京都中野区，2017年1月24日.
115. 菊谷 武：見る目を養う食べる機能の評価と対応法～多職種が連携した支援～，平成28年度愛知県瀬戸保健所歯科口腔保健推進研修会，愛知県瀬戸市，2017年1月26日.
116. 菊谷 武：オーラルフレイルを知り，多職種住民に何を伝えるか，静岡県歯科医師会地域歯科保健推進研修会，静岡県浜松市，(2017年1月26日，3月12日).
117. 田村文誉：子どもの摂食機能障害とその対応について，公益社団法人長野県歯科医師会，長野県長野市，2017年1月26日.

118. 須田牧夫：第2回認知症高齢者の摂食嚥下障害に対する方策とは～現場で活かせる手技について～，平成28年高齢者における口腔リハビリテーションセミナーNPO 法人アイケア・ネット，北海道札幌市，2017年1月29日。
119. 田村文誉：重症児の摂食嚥下リハビリテーション，愛媛県重症心身障害児を守る会愛媛県重症心身障害児（者）の在宅支援研修事業，愛媛県今治市，2017年1月29日。
120. 有友たかね：口腔ケア，武蔵野徳洲会口腔ケア研修会，東京都西東京市，2017年1月30日。
121. 菊谷 武：地域連携における摂食嚥下支援と誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアについて，平成28年度食生活・口腔ケア支援者研修，神奈川県鎌倉市，2017年2月2日。
122. 尾関麻衣子：摂食嚥下障害に対する栄養指導の実際について，平成28年度食生活・口腔ケア支援者研修，神奈川県鎌倉市，2017年2月2日。
123. 須田牧夫：口腔機能評価について～摂食嚥下障害に対する評価と対応方法～，武蔵野歯科医師会歯科衛生士研修会，東京都武蔵野市，2017年2月3日。
124. 菊谷 武：「介護と歯科医療」「食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか」，厚生労働省後援歯科技工士生涯研修，東京都千代田区，2017年2月5日。
125. 田村文誉：障害児の口腔機能に合わせた摂食支援と口腔ケア，新宿区職員研修会，東京都新宿区，2017年2月6日。
126. 須田牧夫：平成28年度西多摩地区摂食嚥下機能支援事例，平成28年度西多摩地区摂食嚥下機能支援事例検討会，東京都福生市，2017年2月9日。
127. 菊谷 武：歯科診療室からオーラルフレイルを考える，TRAD デンタルフェア2017，神奈川県横浜市，2017年2月11日。
128. 菊谷 武：お家に行こう！～訪問診療へ行く前にすること，訪問診療に行ってからすること～，平成28年度第2回伊勢地区歯科医師会学術講演会，三重県伊勢市，2017年2月12日。
129. 戸原 雄：ワークショップ「ミールラウンドを始めよう！」，第4回日本老年歯科医学会岡山支部セミナー，岡山県岡山市，2017年2月12日。
130. 菊谷 武：摂食嚥下機能に合わせた食形態の提案～地域における食支援を通して～，八王子集団給食協議会講演会，東京都八王子市，2017年2月13日。
131. 菊谷 武：オーラルフレイルって知ってますか？～歯科医療が挑むオーラルフレイル対策～，東久留米市三師会西東京市三師会共催三師会会員向け講演会，東京都東久留米市，2017年2月15日。
132. 菊谷 武：住み慣れた地域で暮らし続けるために～食の支援から見た取り組み～，東京都南多摩保健所平成28年度課題別地域保健医療推進プラン研修会，東京都多摩市（2017年2月16日），八王子市摂食・嚥下機能支援研修会，東京都八王子市（2017年2月17日）。
133. 菊谷 武：口腔サルコペニアとPAP/PLPを用いた摂食嚥下機能改善について，福井県歯科医師会学術講演会，福井県福井市，2017年2月19日。
134. 田村文誉：食べる機能を育む，一般社団法人横浜市歯科医師会「平成28年度横浜市食育プロモーション支援事業」食育フォーラム，神奈川県横浜市，2017年2月19日。
135. 須田牧夫：高齢者への口腔ケアの重要性について“高齢者の口腔機能維持・管理”，一般社団法人東京都女性薬剤師会講演会，東京都墨田区，2017年2月19日。
136. 田村文誉：知っておきたい障害者（児）の摂食嚥下の介助～実技編，武蔵野市／公益社団法人東京都武蔵野市歯科医師会，東京都武蔵野市，2017年2月23日。
137. 田村文誉：重い障がいのある子供のために経管栄養から経口摂取への移行，一般社団法人 Kukurū（くくる）重い障がいのある方の地域生活を豊かにする講座事業，沖縄県宜野湾市，2017年2月

26日.

138. 有友たかね：摂食嚥下障害と口腔ケア，平成28年度厚生労働省栄養ケア活動支援「在宅高齢者療養指導基礎研修」，東京都稲城市，2017年3月1日.
139. 田村文誉：子どもの食の問題と歯科とのかかわり，日本大学松戸歯学部大学院セミナー，千葉県松戸市，2017年3月1日.
140. 菊谷 武：住み慣れた地域で暮らし続けるために一食の支援からの取り組み一，平成28年度多摩摂食支援歯科ネット第5回研修会，東京都小金井市，2017年3月2日.
141. 佐々木力丸：摂食嚥下機能について，その評価と対応，老人保健施設千寿の郷研修会，東京都足立区，2017年3月2日.
142. 有友たかね：口腔ケアの実技・研修，平成28年度口腔保健支援事業 第2回口腔ケア実技講習会，千葉県船橋市，2017年3月2日.
143. 菊谷 武：オーラルフレイルって知ってます？，岡崎げんき館市民会議市民フォーラム2017，愛知県岡崎市，2017年3月4日.
144. 田村文誉：発達期が原因の摂食嚥下障害のひとの加齢に伴う課題，一般社団法人山梨県歯科医師会「障がい者施設入居者に対する口腔ケア推進研修会」，山梨県甲府市，2017年3月4日.
145. 水上美樹：小児期の摂食機能療法一食べる機能の発達を理解する一，熊本県歯科医師会立熊本歯科衛生士専門学校特別講演，熊本県熊本市，2017年3月8日.
146. 菊谷 武：オーラルフレイルって知ってますか？一歯科医療が挑むオーラルフレイル対策一，栃木県下都賀歯科医師会栃木歯学研究会，東京都小金井市，2017年3月9日.
147. 菊谷 武：地域で“食べる”を支えるということ～専門職が果たす役割，北海道医療大学障害学習事業同窓会コラボ☆講演会，北海道札幌市，2017年3月11日.
148. 田村文誉：摂食嚥下障害の基礎知識と小児在宅医療ネットワークについて，川越市委託事業（障害者（児）歯科保健事業）川越市歯科医師会，埼玉県川越市，2017年3月21日.
149. 須田牧夫：「高齢者のリスクマネジメント」～訪問歯科診療時の注意事項をふまえて～，東京都葛飾区歯科医師会講演会，東京都葛飾区，2017年3月22日.
150. 菊谷 武：摂食・嚥下困難がある高齢者の『食えること』を支えるために，平成28年度歯及び口腔の健康づくり推進研修，神奈川県鎌倉市，2017年3月23日.
151. 菊谷 武：長寿の鍵は口にあり～オーラルフレイルってしってますか？，西東京市歯科医師会講演会，東京都西東京市，2017年3月24日.
152. 須田牧夫：高齢者のリスクマネジメント～摂食嚥下障害とは～，ハピネス都筑職員研修会，横浜市都筑区，2017年3月24日.
153. 菊谷 武：医療「口腔リハビリテーション」，一般社団法人日本介護支援専門員協会平成28年度会員レベルアップ研修会，東京都千代田区，2017年3月25日.
154. 菊谷 武：嚥下調整食の分類と課題，第21回東海嚥下食研究会，愛知県名古屋市，2017年3月26日.
155. 菊谷 武：歯科的アプローチの実際，第160回国治研セミナー嚥下障害基礎・入門編，神奈川県横浜市，2017年3月26日.

● 言語聴覚士室 Speech and Language Service

1. 所属構成員等

講師 西脇 恵子
医療職員 高島 良代, 橋本 久美, 窪 舞

2. 研究テーマ

- 1) コミュニケーション障害患者のリハビリテーション Speech and language therapy in communication disorders.
- 2) 高次脳機能障害患者の社会復帰支援 Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
- 3) 構音障害患者の舌運動の疲労 Speech-related tongue fatigue in patients with speech sound disorders.
- 4) 自閉症を伴うダウン症児のコミュニケーション障害 Communication disorder in children with Autism and Down syndrome.
- 5) 自閉症児の表情表出 Facial expression in Autism.
- 6) 特別支援教育における言語聴覚士の役割 The role of speech therapist in special needs education.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) 西脇恵子：Communication Disorders Quarterly の Board member として海外の SLP（言語聴覚士）との交流を行った。
- 2) 西脇恵子：2017年9月に行われる第10回アジア環太平洋音声言語聴覚学会学術大会（APCSLH2017）の Domestic Adversary Staff として準備活動にかかわった。

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著書

1. 西脇恵子（分担執筆）：小児へのアプローチ，370-371，才藤栄一、植田耕一郎監修，摂食嚥下リハビリテーション第3版，医歯薬出版株式会社，東京，2016，ISBN：978-4-263-44447-4.
2. 西脇恵子（分担執筆）：小児の器質性構音障害，91-100，伊藤元信・吉畑博代編集，言語聴覚ハンドブック，医歯薬出版株式会社，東京，2016，ISBN：978-4-263-21744-3.
3. 西脇恵子（分担執筆）：口腔がんおよび中咽頭がんの構音障害，255-259，伊藤元信・吉畑博代編

集，言語聴覚ハンドブック，医歯薬出版株式会社，東京，2016，ISBN：978-4-263-21744-3.

B. 原 著

記載事項なし

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 西脇恵子：明朗と K 子の東京発～昭和歌物語，中央エフエム，9月16日，頭頸部がんのリハビリテーションについて。
2. 西脇恵子：ひだまりが聴こえる，ブースタープロジェクト配給，【劇場公開映画監修】

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 高島良代，橋本久美，窪 舞，西脇恵子：自閉症を伴うダウン症候群児 1 症例におけるコミュニケーション態度の特徴，第 42 回日本コミュニケーション学会講演会予稿集，42 巻：101，2016.
2. 橋本久美，高島良代，窪 舞，西脇恵子：感情表現の訓練について一広汎性発達障害児 1 例における検討，第 42 回日本コミュニケーション学会学術講演会予稿集，42 巻：83，2016.
3. 橋本久美，高島良代，窪 舞，西脇恵子；特別支援学校との連携：3 年間の活動の経過と課題，第 17 回日本言語聴覚学抄録集，17 巻：235，2016.
4. Nishiwaki K, Takashima F, Hashimoto K, Kubo M : Recovery Process of Speech-Related Fatigue in Patients with Speech Sound Disorders, International Association Logopedics and Phoniatrics, 30 : 302-303, 2016.

G. 講 演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 西脇恵子：社会性の障害に対する対応，第 2 回東京都総合高次脳機能障害研究会，教育講演，東京，2016 年 8 月 2 日。

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 西脇恵子：地域包括ケアにおける自助・共助のかかわり，地域包括ケア研修会，東京，2016 年 3 月 12 日。
2. 橋本久美：ことばの発達とコミュニケーション，第 1 回 Happy Terrace Kids 勉強会，千葉県柏市，2016 年 5 月 21 日。
3. 高島良代：口蓋裂言語 構音の特徴について，若手のための夏の口唇裂・口蓋裂矯正治療勉強会，東京，2016 年 8 月 25 日。
4. 西脇恵子：介護予防における言語聴覚士の仕事，地域リハビリテーション初任者研修，東京，2016 年 9 月 16 日。
5. 西脇恵子：摂食嚥下障害のある子どものリハビリテーションにおけるコミュニケーションの問題、

子どもの摂食研修会，東京，2016年11月17日。

6. 西脇恵子：言語聴覚士の社会的活動—災害支援，上智大学アカデミック講座，東京，2016年11月19日。